



取扱説明書

MP3/WMA/AAC CD ヘッドユニット

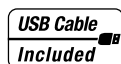
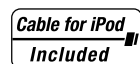
CDA-117Ji



iPhone 3GS
16GB 32GB



iPhone 3G
8GB 16GB



安全にお使いいただくために

各部の名称

基本操作

CD/MP3/WMA/
AAC

USB メモリ / ポータブルオーディオ
プレイヤー / チェンジャー操作

iPhone/iPod

ラジオ

テキスト

サウンド

SETUP
(セットアップ)

IMPRINT
(オプション)

リモコン

取り付けと接続

その他

安全にお使いいただくために

- ご使用の前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。説明書の指示を守らなかったことによる不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
- この説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

分解・改造をしないでください。事故・火災・感電の原因になります。



禁止

電池・ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。



ヒューズ交換は、規定容量（アンペア数）を守ってください。事故・火災の原因になります。



禁止



強制

DC12V マイナスアース車以外に接続しないでください。事故・火災の原因になります。



強制

配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をしてください。感電・ケガの原因になります。



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取らないでください。火災・感電の原因になります。



禁止

前方の視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けしないでください。事故・ケガの原因になります。



禁止

取り付け・アース接続には、ハンドル・ブレーキ・タンクなどのボルトやナットを使わないでください。制動不能・火災の原因になります。



禁止

音や画面が出ない、異物が入った、煙が出る、変な臭いがしたときには、ただちに使用を中止して、お買い上げ店に相談してください。事故・火災・感電の原因になります。



禁止



強制

運転中は操作をしたり、画面を見たりしないでください。事故・ケガの原因になります。操作や画面を見る場合には、安全な場所に停車してください。



禁止

コード類は運転操作の妨げとならないように束ねてください。ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故・故障の原因になります。



⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみが発生が想定される内容を示しています。

説明書に従って、正しく接続してください。火災・事故の原因になります。



禁止

コードをシートレールにはさんだり、突起部に当てたりしないでください。断線やショートにより、感電・火災の原因になります。



通風孔・放熱板をふさがないでください。火災・故障の原因になります。



禁止

付属部品を指定通りに使い、しっかりと取り付けてください。事故・故障の原因になります。



禁止

水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けしないでください。火災・故障の原因になります。



禁止

新旧の電池を混ぜる、指定外の電池を使用する、極性を間違えるなど、しないでください。電池の破裂・液漏れや火災・ケガの原因になります。



取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店に依頼してください。



車外の音が聞こえる音量でお使いください。事故・故障または聴力障害の原因になります。



車以外には使わないでください。感電・ケガの原因になります。



禁止

ディスク挿入口や可動ディスプレイのすきまには、指や異物を入れないでください。ケガ・故障の原因になります。



禁止

取り扱い上のご注意（共通）

本機の近くでは携帯電話や無線機を使わない

雑音や誤動作の原因になる場合があります。電話や無線機は、本機から離れてご使用になることをお勧めします。また、リモコンスターター、カーセキュリティも誤動作の原因になる場合があります。

無理な力を加えない

製品は、精密な部品を用いて精密に組み立てられています。初期の性能を維持するためにやさしく丁寧な取り扱いをお願いいたします。

本機は国内で使う

本機は国内でのみお使いいただけます。外国ではお使いになれません。

お手入れは乾いた布を使う

お手入れは乾いた布か堅く絞った布で拭いてください。ベンジンやシンナーなどの化学薬品は絶対に使わないでください。

極端な温度では使わない

車内の温度が極端に高い（炎天下駐車）ときや低い（厳冬期駐車）ときは、常温になってからお使いください。

結露にご注意

寒い車内を急に暖めると、信号読み取り装置のレンズに露がつき誤動作の原因になります。このようなときは、一時間ほどディスクを取り出しておくで正常に動作します。

音飛びについて

路面状況の悪いところを走行しているときに音飛びを起こすことがあります。プレーヤーには影響ありません。車のサスペンションを通常より硬めにしていたり、サスペンションが壊れている場合は、音飛びする頻度が高くなります。

可動部分の動作中は操作をしない

ディスプレイ開閉など、動作中に操作をしないでください。ケガや故障の原因になることがあります。

温度上昇について

可動ディスプレイの裏面が、暖かくなりますが故障ではありません。手をふれないでください。

可動ディスプレイは必ず閉じる

可動ディスプレイが開ききった状態では、走行しないでください。無理な力が加わり故障の原因になります。

レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは必ずアルパイン専用の「KAE-125C」（別売）を使用してください。「KAE-125C」以外のレンズクリーナーを使用するとレンズの破損や故障の原因となります。

USB 端子についてのご注意

- ・本機 USB 端子は、iPhone/iPod、USB メモリ / ポータブルオーディオプレーヤーのみ接続することができます。その他の USB 対応製品は動作保証対象外となります。
- ・USB 端子をご使用になるときは、必ず本機付属の USB ケーブルをご使用ください。USB ハブには対応していません。
- ・接続する USB メモリによっては、動作しない場合があります。また、一部の機能がご使用になれない場合があります。
- ・本機で再生できる音楽ファイル形式は、MP3/WMA/AAC です。
- ・アーティスト名、曲名などの表示を行うことができますが、文字を正確に表示できない場合があります。



注意

本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。

USB メモリについてのご注意

- ・故障や動作不良をおこさないために次の点を守ってお使いください。また、USB メモリの取扱説明書もよくお読みください。
端子部には手や金属で触れない / 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしない / 分解したり、改造したりしない / 水に濡らさない。
- ・また、以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
高温になった車内や炎天下など気温の高い場所 / 直射日光のあたる場所 / 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所
- ・USB メモリは運転に支障をきたさない場所に固定してください。
- ・USB メモリは高温・低温時には正常に動作しない場合があります。
- ・USB メモリは、USB メモリ規格に準拠したメモリをご使用ください。ただし、規格に準拠した USB メモリを使用しても、USB メモリの種類や状態により正常に動作できない場合があります。
- ・USB メモリの動作保証はしてありません。ご使用の際には、USB メモリの使用条件内でのご利用をお願いいたします。
- ・USB メモリの種類や記録状態、エンコードソフトの設定によっては再生や表示ができない場合があります。
- ・コピープロテクト（著作権保護）されたファイルは再生できません。
- ・USB メモリは、再生が始まるまで時間がかかる場合があります。特にオーディオデータ以外のファイルが USB メモリにある場合、再生するまでの時間やサーチ動作が著しく遅くなる場合があります。
- ・本機で再生可能なファイルの拡張子は“mp3”“wma”“m4a”です。
- ・オーディオデータ以外のファイルに上記の拡張子をつけないでください。本機がオーディオデータと誤認識してしまい、大きな音が出てスピーカーなどを破損する恐れがあります。
- ・大切なデータはパソコン等を用いて、バックアップを取っておくことをお勧めします。

ポータブルオーディオプレーヤーについてのご注意

- ・本機は USB インターフェース付きのポータブルオーディオプレーヤーを操作できます。再生できる音楽ファイル形式は、MP3/WMA です。
- ・ポータブルオーディオプレーヤーの動作保証はしてありません。ご使用の際には、ポータブルオーディオプレーヤーの使用条件内でのご利用をお願いいたします。また、ポータブルオーディオプレーヤーの取扱説明書もよくお読みください。
- ・また、以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
高温になった車内や炎天下など気温の高い場所 / 直射日光のあたる場所 / 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所
- ・ポータブルオーディオプレーヤーは運転に支障をきたさない場所に固定してください。
- ・ポータブルオーディオプレーヤーは高温・低温時には正常に動作しない場合があります。
- ・ポータブルオーディオプレーヤーの種類や記録状態、エンコードソフトの設定によっては再生や表示ができない場合があります。
- ・MSC/MTP 設定が切り換えられるポータブルオーディオプレーヤーでは、MTP に設定してください。
- ・USB Mass Storage でデータが記録されているポータブルオーディオプレーヤーは、本機で再生できない場合があります。
- ・ポータブルオーディオプレーヤー本体の設定により、Mass Storage として動作する場合があります。設定についてはプレーヤーの説明書を参照してください。
- ・大切なデータはパソコン等を用いて、バックアップを取っておくことをお勧めします。

取り扱い上のご注意 (CD)

本機で使用できるディスクについて

ディスクレーベル面に「CD ロゴ」下記マークの入ったものなど JIS 規格に合致したディスクをご使用ください。



CD 規格外ディスクを使用された場合には安定した再生や最良な音質の保証は致しかねます。

また、本機は音楽専用機器で録音した音楽専用の CD-R (CD-Recordable) / CD-RW (CD-ReWritable)、MP3/WMA/AAC ファイル形式の CD-R / CD-RW の再生が可能です。

- ・次のようなディスクは、再生できないことがあります。
指紋やキズが付いている / 車内や製品内に長時間放置した / データ書き込み状態が不安定 / データ書き込みに失敗し再録音した場合など。
- ・MP3/WMA/AAC ファイルは本機対応のフォーマットで記憶したディスクを使用してください。詳しくは 79 ページを参照してください。
- ・音楽ファイルの他に ROM データが混在するディスクを再生する場合、データ領域は無音状態になります。

コンパクトディスク（CD/CD-R/CD-RW）の取り扱い

故障や動作不良を起こさないために次の点を守ってお使いください。

盤面にさわらない／直射日光下に置かない／ラベルを貼らない／ホコリやごみが付いたら拭きとる／バリが無いことを確認する／市販のアクセサリを使わない。

特に CD-R/CD-RW は以下の点について十分に注意してください。

車内や製品内に長時間放置しない。特に直射日光下には絶対放置しない。

高温多湿の環境に弱いため、ディスクが劣化し再生不能となる場合があります。

特殊な形状のディスクは使わない

必ず円形のものをお使いください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因になります。

コンパクトディスクのお手入れ

柔らかいきれいな布で中心から外に向かってやさしく拭き取ってください。

新品のバリに注意

ディスクの側面やセンターホール面にバリ（突起）があるのを勝手にイジェクトします。このような場合は、ボールペンなどで縁をなぞって突起を取り除いてください。

CD-R/CD-RW をご使用のお客様へ

- ・ CD-R/CD-RW が再生できない場合は、クローズセッション（ファイナライズ処理）を行っているかどうか、確認してください。
- ・ 行われていない場合は、クローズセッション（ファイナライズ処理）を行い、再度、お試しください。

CD 規格外ディスクについて

オーディオシステムは音楽 CD 規格に準拠して設計されています。CCCD（コピーコントロール CD）や SACD（スーパーオーディオ CD）などの CD 規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。

MP3/WMA/AAC のご注意

- ・ 本機で再生できる MP3/WMA/AAC は、本機対応のフォーマットで記録された USB メモリまたはディスクのみです。詳しくは、「MP3/WMA/AAC について」（79 ページ）を参照してください。
- ・ DRM（著作権管理 Digital Rights Management）システムの WMA ファイル、iTunes Store で購入した AAC ファイル、コピープロテクト（著作権保護）されたファイルは、本機では再生できません。
- ・ 本機はオーディオデータと MP3/WMA/AAC データが混在するディスクでも再生が可能です。
- ・ 作成したライティングソフト/MP3 変換ソフトによっては再生できない場合があります。
- ・ AAC ファイルを作成したソフトによってはファイル形式と拡張子が異なります。本機では、iTunes を使用してエンコードされた AAC ファイルのみの再生に対応しています。

MP3/WMA のご注意（ポータブルオーディオプレーヤー）

- ・ 本機では Windows Media Player Ver.7、8、9 で同期してプレーヤーに転送した MP3/WMA ファイルを再生することができます。再生可能なファイルの拡張子は“mp3”“wma”です。
- ・ Windows Media Player で同期せずに他の方法でデータを転送した場合は、正常に再生できない場合があります。
- ・ 本機で再生できる MP3/WMA は、本機対応のフォーマットで記録されたデータのみです。詳しくは、「MP3/WMA/AAC について」（79 ページ）を参照してください。
- ・ コピープロテクト（著作権保護）されたファイルは、本機では再生できません。

iPhone/iPod についてのご注意

- ・ iPhone/iPod の機能については、iPhone/iPod ユーザーズガイドを参照してください。
- ・ iPhone/iPod を車内に放置しないでください。高温多湿の環境に弱いため、故障の原因になります。
- ・ 本製品は iPhone/iPod のビデオ再生機能には対応していません。
- ・ 本機で対応している iPod は次の通りです。これ以前のバージョンの動作保証及び性能保証は致しかねます。
iPod touch (2nd generation) : Ver.3.0
iPod nano (4th generation) : Ver.1.0.2
iPod classic (120 GB only) : Ver.2.0.1
iPod touch (1st generation) : Ver.3.0
iPod nano (3rd generation) : Ver.1.1.3 PC
iPod classic (80,160 GB only) : Ver.1.1.2 PC
iPod nano (2nd generation) : Ver.1.1.3
iPod with video : Ver.1.3
iPod nano (1st generation) : Ver.1.3.1
- ・ 本機で対応している iPhone は次の通りです。これ以前のバージョンの動作保証及び性能保証は致しかねます。
iPhone 3GS : Ver. 3.1
iPhone 3G : Ver. 3.0
- ・ ご使用の iPod 製品名を確認するには、アップルのホームページをご覧ください。

本書の見方

本機にはオーディオ調整モード、セットアップモード、サーチモードなど、設定されている時間までに何も操作をしないと操作中のモードが解除されてしまう機能があります。本書では、このような「設定時間がある操作」と「通常操作」をタイトルや手順番号のデザインで区別し、わかりやすく説明しています。

●「通常操作」の場合

「設定時間がない操作」の手順番号

リセットする

初めて使うときや、チェンジャーなどを取り付けたり車のバッテリーを交換したときは、リセットしましょう。

■ Memo

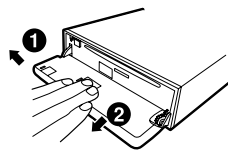
- ・リセットは電源が切れている状態で行なってください。

1 を押す

フロントパネルが開きます。

2 フロントパネルを外す

フロントパネルを左方向 ① にスライドさせ、手前方向 ② に引いて外します。



●「設定時間がある操作」の場合

次手順の操作を開始するまでの時間(秒数)を示しています。
この場合は、60 秒以内に次手順の操作を開始してください。

「設定時間がある操作」の手順番号
手順番号を反転して示しています。

60秒以内に操作

カレンダー／時計を調整する (Clock Adjust)

1 を 2 秒以上押す

SETUP モードになります。

2 を回す

< General >を選びます。



3 を押す

4 を回す

目次



安全にお使いいただくために

警告／注意.....	2
本書の見方.....	6
「通常操作」の場合.....	6
「設定時間がある操作」の場合.....	6
目次.....	7

各部の名称

ボタン名称.....	10
------------	----



基本操作

リセットする.....	11
電源の ON/OFF.....	11
電源を入れる.....	11
電源を切る.....	11
ディスクを挿入する.....	12
ディスクを取り出す.....	12
USB ケーブルを接続する.....	12
iPhone/iPod を接続する（オプション）.....	13
iPhone/iPod を接続する.....	13
iPhone/iPod を外す.....	13
USB メモリを接続する.....	13
USB メモリを外す.....	13
ポータブルオーディオプレーヤーを接続する....	14
ポータブルオーディオプレーヤーを外す.....	14
音楽モードを切りかえる.....	14
カレンダー／時計を調整する	
(Clock Adjust).....	15
カレンダー／時計を表示する.....	15
サブウーハー／バランス／フェダー／バックライ	
ト／ディフェルト／音量を調整する.....	16
サブウーハー調整 (SUBWOOFER).....	16
バランス調整 (BALANCE).....	16
フェダー調整 (FADER).....	16
バックライトを OFF にする (BLACK OUT) ...	16
ディフェルト設定 (DEFEAT).....	16
音量調整 (VOLUME).....	16

CD/MP3/WMA/AAC

聴きたいフォルダを選ぶ	
(MP3/WMA/AAC).....	17
聴きたい曲（ファイル）を選ぶ.....	17
早送り／早戻しをする.....	17
一時停止する.....	17

曲順を変えて聴く M.I.X.（ミックス）.....	17
CD/MP3/WMA/AAC.....	17
解除するには.....	17
繰り返し聴く REPEAT（リピート）.....	18
CD/MP3/WMA/AAC.....	18
解除するには.....	18
聴きたいフォルダまたはファイルを探す	
(MP3/WMA/AAC).....	18
CD テキストから曲を探す（CD）.....	19
クイックサーチ.....	19
サーチポジションメモリー.....	19

USB メモリ / ポータブルオーディオプレーヤー / チェンジャー操作

Bank 機能 (USB メモリ / ポータブルオーディオ	
プレーヤー).....	20
聴きたい曲（ファイル）を選ぶ.....	20
早送り／早戻しをする	
(USB メモリ / チェンジャー).....	20
一時停止する.....	20
聴きたいディスクを選ぶ（チェンジャー）.....	21
6 連奏チェンジャー.....	21
12 連奏チェンジャー.....	21
曲順を変えて聴く M.I.X.（ミックス）.....	21
USB メモリ /	
ポータブルオーディオプレーヤー.....	21
チェンジャー.....	21
解除するには.....	21
繰り返し聴く REPEAT（リピート）.....	22
USB メモリ / ポータブルオーディオプレーヤー...	22
チェンジャー.....	22
解除するには.....	22
聴きたい曲／タイトルを探す (USB メモリ / ポータ	
ブルオーディオプレーヤー).....	23
アルファベット スキップ機能 (USB メモリ /	
ポータブルオーディオプレーヤー).....	24
ダイレクト UP/DOWN 機能 (USB メモリ /	
ポータブルオーディオプレーヤー).....	24
聴きたいフォルダまたはファイルを探す	
(MP3 チェンジャー).....	24
トラック No. から曲を探す	
(CD チェンジャー).....	25
クイックサーチ.....	25
サーチポジションメモリー (USB メモリ /	
ポータブルオーディオプレーヤー).....	25

iPhone/iPod

聴きたい曲（ファイル）を選ぶ.....	26
早送り／早戻しをする	26
一時停止する.....	26
曲順を変えて聴く M.I.X.（ミックス）	26
解除するには.....	26
曲順を変えて聴く M.I.X. ALL （シャッフル・ALL）	27
解除するには.....	27
繰り返し聴く REPEAT（リピート）	27
解除するには.....	27
聴きたい曲を探す	27
ダイレクトサーチ / アルファベット スキップ機能.....	28
サーチポジションメモリー.....	29
ダイレクト UP/DOWN 機能.....	29
クイックサーチ	29

ラジオ

バンドを切りかえる	30
聴きたい放送局を選ぶ	30
自動で選ぶ.....	30
手動で選ぶ（マニュアルモード MANUAL）	30
記憶させた放送局を選ぶ	30
放送局を記憶させる	31
手動で記憶させる	31
自動で記憶させる Auto Memory （オートメモリー）	31
放送局を周波数から探す	31
道路交通情報を受信する TRF （トラフィックインフォメーション）	31

テキスト

テキスト / スクロールとは.....	32
テキストを表示する	32

サウンド

一時的に音量を下げる（ミュート）	34
解除するには.....	34
MX モードの設定.....	34
サウンド設定.....	35
サウンド設定項目一覧	35
HPF の設定.....	36
サブウーハーの接続（Subwoofer）	36
サブウーハーの設定（SUBW. System）	36
サブウーハー出力の位相設定 （SUBW. Phase）	36
サブウーハー出力の設定（SUBW. Channel）	36

イコライザーモードの設定（EQ Mode）	36
タイムコレクション調整単位の設定 （TCR Parameter）	36
パラメトリック EQ の調整と記憶	37
グラフィック EQ の調整と記憶	38
タイムコレクションの設定と記憶	39
タイムコレクション（時間補正）について.....	40

SETUP（セットアップ）

セットアップ（SETUP）する	42
設定項目一覧.....	43
BLUETOOTH BLUETOOTH 接続設定（Bluetooth IN）	43
General 誕生日のオープニングメッセージ設定 （Birthday Set）	43
時刻表示の設定（Clock Mode）	44
カレンダー表示パターンの設定（Calendar）	44
MP3/WMA/AAC 再生データ設定 （Play Mode）	44
操作音設定（Beep）	44
外部割り込みモードの設定（INT Mute）	45
外部入力の設定（AUX+ Setup）	45
外部入力音声レベルの調整（AUX IN GAIN）	45
光デジタル対応オーディオプロセッサと Ai-NET 非 対応 DVD プレーヤーの接続（Digital AUX）	45
外部入力の設定（AUX IN）	46
外部入力の設定（Versatile Link Terminal （KCA-410C）接続時）（AUX IN）	46
外部アンプの接続（Power IC）	47
デモンストレーション機能（Demo）	47
Display 照光ボタンの色設定（Illumination）	47
ディスプレイの明るさ調整（Dimmer）	47
ディスプレイの明るさレベルを調整する （Dimmer Level）	47
スクロールタイプ設定（Scroll Type）	48
テキストスクロール設定（Text Scroll）	48
フォント設定（Font Select）	48
動画表示の設定（BGV Select）	48
オープニングメッセージの ON/OFF （Opening MSG）	48
Tuner TUNER(FM) 音質設定（FM Tuner Set）	48

IMPRINT（オプション）

IMPRINT 操作.....	49
MultEQ の ON/OFF	49
サブウーハー／バス／トレブル／フェダー／バラ ンス／BLACK OUT／ディフーフト／音量を調 整する	49

MX モードの設定.....	50
サウンド調整（マニュアルモード）	51
サウンド調整項目一覧	52
サブウーハーの接続（Subwoofer）	52
サブウーハーの設定（SUBW. System）	52
サブウーハー出力の位相設定 （SUBW. Phase）	52
サブウーハー出力の設定（SUBW. Channel）	52
イコライザー特性（メーカー設定）を選ぶ （Factory's EQ）	53
ツイーター設定（TW Setup）	53
フィルタータイプの設定（Filter Type）	53
イコライザーモードの設定（EQ Mode）	53
タイムコレクション調整単位の設定 （TCR Parameter）	53
パラメトリック EQ の調整と記憶	54
グラフィック EQ の調整と記憶	55
タイムコレクションの設定と記憶	56
X-OVER（クロスオーバー）の調整と記憶	58
タイムコレクション（時間補正）について.....	60
X-OVER について.....	61
周波数帯域と音質について.....	64

その他

故障かな？と思ったら	75
規格	77
保証について.....	77
お問い合わせ窓口	78
MP3/WMA/AAC について	79
用語説明.....	79
索引	80
五十音順.....	80
アルファベット	81

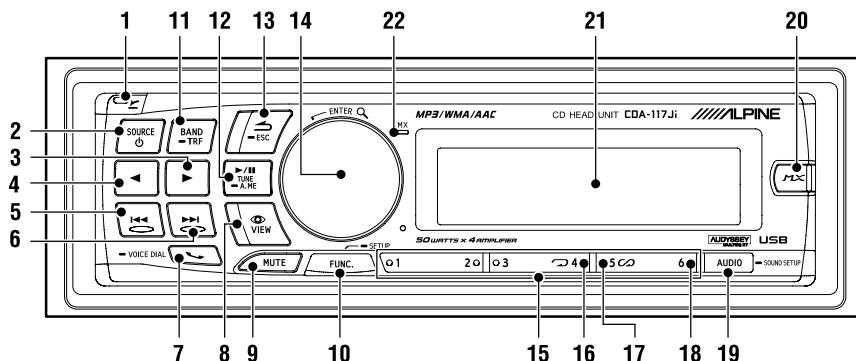
リモコン

リモコン操作.....	65
使用時のご注意	65
電池を入れる	65
基本操作.....	65
CD/MP3/WMA/AAC/iPhone/iPod/ チェンジャー操作	65
ラジオ操作	66
オーディオプロセッサ操作.....	66

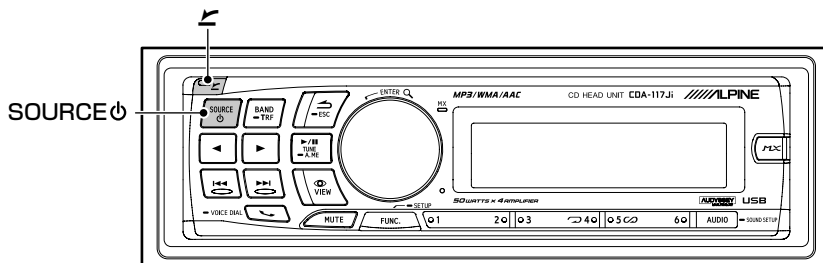
取り付けと接続

取り付けと接続.....	67
1. 正しい作業のコツ	67
2. 準備	67
3. 接続する	67
4. 取り付ける	68
5. 確認する	68
スイッチ切りかえについて.....	69
基本接続図.....	70
システムアップの例	71

ボタン名称



- 1 **⏏ ボタン**
フロントパネルを開くときに押します。
- 2 **SOURCE (POWER) ボタン**
電源を ON/OFF (2 秒以上押す) します。
音楽モードを切りかえます。
- 3 **▶ ボタン**
MP3/WMA/AAC : 次のフォルダに進みます。
iPhone/iPod : 次の Playlist/Artist/Album/
Genre/Composer/Episode
に切りかえます。
- 4 **◀ ボタン**
MP3/WMA/AAC : 前のフォルダに戻ります。
iPhone/iPod : 前の Playlist/Artist/Album/
Genre/Composer/Episode
に切りかえます。
- 5 **⏮ ボタン**
ラジオ : 周波数がダウンします。
iPhone/iPod、USB メモリ、ポータブルオーディオプレーヤー、チェンジャー :
再生している曲の頭に戻ります。
iPhone/iPod、USB メモリ、チェンジャー :
押し続けると早戻しします。
- 6 **⏭ ボタン**
ラジオ : 周波数がアップします。
iPhone/iPod、USB メモリ、ポータブルオーディオプレーヤー、チェンジャー :
次の曲に進みます。
iPhone/iPod、USB メモリ、チェンジャー :
押し続けると早送りします。
- 7 **📶・VOICE DIAL ボタン**
BLUETOOTH INTERFACE (KCE-400BT) (別売)
接続時に使用します。
- 8 **VIEW ボタン**
テキスト表示を切りかえます。
- 9 **MUTE ボタン**
ミュートがかかります。
- 10 **FUNC.・SETUP ボタン**
ファンクションモード/セットアップモードを呼び出します。
- 11 **BAND・TRF ボタン**
ラジオ : ラジオバンドを切りかえます。
2 秒以上押すと交通情報を受信します。
- 12 **▶/|| ボタン**
ディスク、USB メモリ、ポータブルオーディオプレーヤー、チェンジャー、iPhone/iPod
: 再生/一時停止を切りかえます。
TUNE・A. ME ボタン
チューニングモードを選びます。
2 秒以上押すと、放送局が自動的に記憶されます。
- 13 **⏪・ESC ボタン**
セットアップモード/サーチモード/サウンドモード
時に 1 つ前の項目に戻ります。
セットアップモード/サーチモード/サウンド調整
モード中に 2 秒以上押すと、各モードを解除します。
- 14 **ロータリーエンコーダーボタン**
サブウーハー/バランス/フェーダー/バックライト/
ディフューズ/音量を調整します。
サーチモード/セットアップモード時の項目を選択します。
ENTER Q ボタン
サーチモードを呼び出します。
セットアップモード/サーチモードを確認します。
CD、USB メモリ、MP3/WMA/AAC、iPhone/iPod
: 2 秒以上押すと、クイックサーチモードを呼び出します。
ラジオ : 2 秒以上押すと周波数サーチモードを呼び出します。
- 15 **1 ~ 6 ボタン**
ラジオ : 記憶した放送局を呼び出します。
チェンジャー : ディスクを切りかえます。
- 16 **🔄 (REPEAT) ボタン**
ディスク、USB メモリ、ポータブルオーディオプレーヤー、チェンジャー、iPhone/iPod
: 曲を繰り返し再生します。
- 17 **🔁 (M.I.X.) ボタン**
ディスク、USB メモリ、ポータブルオーディオプレーヤー、チェンジャー、iPhone/iPod
: 曲が順不同に再生します。
- 18 **M.I.X. ALL ボタン**
iPhone/iPod 内の全曲を順不同に再生します。
- 19 **AUDIO・SOUND SETUP**
サウンド調整モードを呼び出します。
2 秒以上押すと、サウンド設定モードを呼び出します。
別売の IMPRINT オーディオプロセッサ (PXA-H100)
接続時のサウンド調整モードを呼び出します。
- 20 **MX ボタン**
MX (Media Xpander) の ON/OFF を切りかえます。
- 21 **ディスプレイ**
- 22 **MX (Media Xpander) 機能が有効時に点灯。**



リセットする

初めて使うときや、チェンジャーなどを取り付けたり車のバッテリーを交換したときは、リセットしましょう。

■Memo

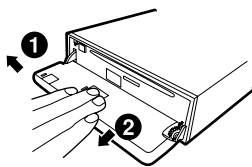
- リセットは電源が切れている状態で行なってください。

1 を押す

フロントパネルが開きます。

2 フロントパネルを外す

フロントパネルを左方向 ① にスライドさせ、手前方向 ② に引いて外します。

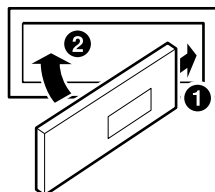


3 「リセットスイッチ」をペン先などで押す



4 フロントパネルを取り付ける

フロントパネルを右角 ① へ合わせ、左端 ② をゆっくり力チッと音がするまで押し込みます。



■Memo

- リセットすると、ラジオの放送局など記憶した内容が消去されます。再度、登録し直してください。
- リセットすると、セットアップ (SETUP) の一部項目で設定した内容が消去されます。再度、設定し直してください。詳しくは、「セットアップ (SETUP) する」(42 ページ) を参照してください。
- フロントパネルを外す時に必要以上の力を加えないでください。故障の原因となります。
- 取り外したパネル (特に裏側端子部) が暖かくなっていても故障ではありません。
- 取り外したパネルを取り付ける前にコネクター端子に汚れやほこりがないこと、取り外したパネルとメインユニットの間に異物がないことを確認してください。
- フロントパネルを開いた状態で放置したり車の運転をしないでください。事故・故障の原因になります。

電源の ON/OFF

● 電源を入れる

イグニッションキー (エンジンキー) を ACC または ON にしてから操作してください。

を押す

電源が入ります。

■Memo

- [] 以外のどのボタンを押しても電源が入ります。また、CD を挿入しても自動的に電源が入ります。
- 電源を切る前のモードで立ち上がります。
- 製品を長い時間使用していると、製品は徐々に熱くなつてきます。温度上昇は異常ではありませんが、煙が出たり変な臭いが出た場合は直ちに使用を中止し、お買い上げ店または、サービスセンターにご相談ください。

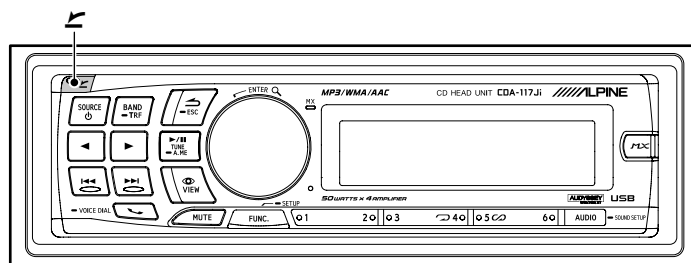
● 電源を切る

を 2 秒以上押す

電源が切れます。

■Memo

- イグニッションキーを OFF にすると本機の電源も切れます。
- 本機と接続されている iPhone/iPod の電源は連動していますが、本機の電源が OFF になっても iPhone/iPod の電源が OFF になるまで、数分がかかる場合があります。

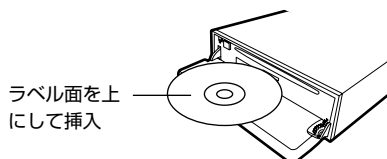


ディスクを挿入する

1 を押す

フロントパネルが開きます。

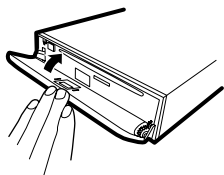
2 ディスクを挿入する



ディスクを挿入すると再生を開始します。

3 フロントパネルを閉じる

フロントパネルをカチッと音がするまで持ち上げます。



※ フロントパネルを閉じる時は、上図のようにフロントパネルの左上側部分を押し込んでください。

■Memo

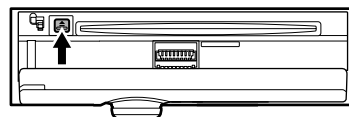
- シングル CD (8cmCD) は使用できません。アダプターを使用した場合も使用できません。
- 再生されるまで時間がかかる場合があります。
- フロントパネルが開いた状態では走行しないでください。事故・故障の原因になります。

● ディスクを取り出す

1 を押す

フロントパネルが開きます。

2 を押す



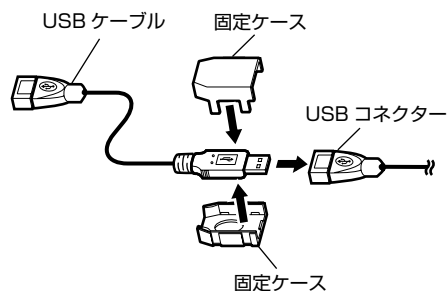
3 フロントパネルを閉じる

■Memo

- ディスクは必ず取り出してください。
- フロントパネルが開いた状態では走行しないでください。事故・故障の原因になります。

USB ケーブルを接続する

USB コネクターを接続し、上下固定ケースで接続部を固定する。



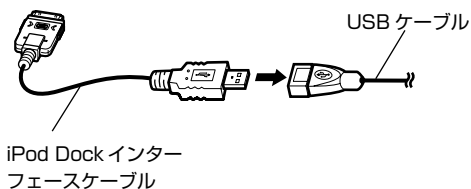
■Memo

- 本機付属の USB ケーブルを使用してください。付属以外のケーブルを使用すると動作しない場合があります。

iPhone/iPod を接続する(オプション)

● iPhone/iPod を接続する

1 USB ケーブルに iPod Dock インターフェースケーブルを接続する



2 iPod Dock インターフェースケーブルと iPhone/iPod を接続する



■ Memo

- 運転中は iPhone/iPod を接続しないでください。事故・ケガの原因になります。
- 運転中は iPhone/iPod のイヤホンを使用しないでください。事故・ケガの原因になります。
- 再生中の iPhone/iPod を本機に接続して USB iPod モードにすると、今まで聞いていた曲の続きから再生を行います。
- 本機付属の USB ケーブルを使用してください。付属品以外のケーブルを使用すると動作しない場合があります。
- iPhone/iPod のバッテリーが空の場合でも本機に接続すると、iPhone/iPod を認識できます。同時に充電を行います。充電状態によっては再生まで時間がかかる場合があります。
- 本機は iPod FULL SPEED 接続に対応していません。そのため別売 BLUETOOTH INTERFACE (KCE-400BT) に FULL SPEED Connection Cable (KCE-433iV) を使用して iPhone/iPod を接続しても、iPhone/iPod を操作することはできません。

● iPhone/iPod を外す

iPod Dock インターフェースケーブルから iPhone/iPod を外す

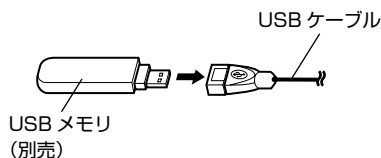


■ Memo

- 運転中は iPhone/iPod を外さないでください。事故・ケガの原因になります。
- USB iPod モード以外のソースに切りかえてから iPhone/iPod を取り外してください。USB iPod モード中に取り外すとデータが破損する場合があります。
- iPhone/iPod のディスプレイに「接続を解除できます」の表示が出ていれば、いつでも取り外しは可能です。

USB メモリを接続する

USB ケーブルに USB メモリを接続する

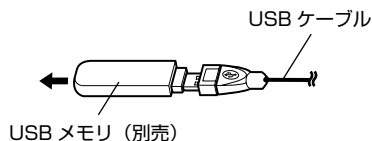


■ Memo

- 運転中は USB メモリを接続しないでください。事故・ケガの原因になります。
- USB メモリを接続しても音が出ないときや USB メモリを認識しない場合は、一度 USB メモリを外して再接続してください。

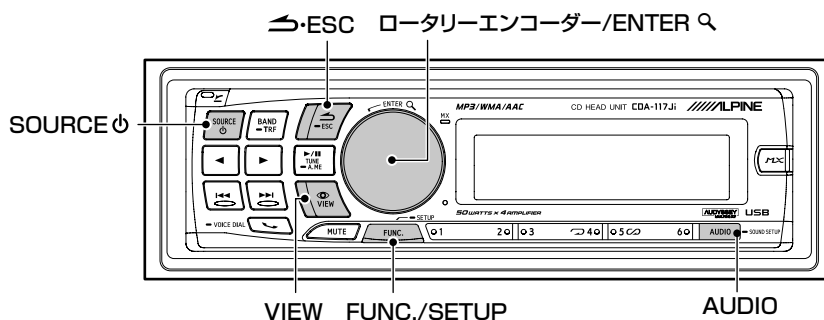
● USB メモリを外す

USB ケーブルから USB メモリを外す



■ Memo

- 運転中は USB メモリを外さないでください。事故・ケガの原因になります。
- USB メモリを取り外す時には、USB メモリを真っ直ぐ引き抜いてください。
- USB メモリモード以外のソースに切りかえるか、一時停止 (PAUSE) 状態で USB メモリを取り外してください。USB メモリモード中に取り外すとデータが破損する場合があります。



ポータブルオーディオプレーヤーを接続する

- 1 USB ケーブルに、ポータブルオーディオプレーヤー付属のケーブルを接続する
- 2 ポータブルオーディオプレーヤーと、プレーヤー付属のケーブルを接続する

● ポータブルオーディオプレーヤーを外す

ポータブルオーディオプレーヤー付属のケーブルから、プレーヤーを外す

■ Memo

- 運転中はポータブルオーディオプレーヤーを接続 / 取外しをしないでください。事故・ケガの原因になります。
- 本機付属の USB ケーブルを使用してください。付属品以外のケーブルを使用すると動作しない場合があります。
- ポータブルオーディオプレーヤーの取扱説明書も参照してください。

音楽モードを切りかえる

SOURCE を繰り返し押す

音楽モードを選びます。

モード表示	モード名
TUNER	ラジオ
DISC ※1	CD、MP3/WMA/AAC
USB	USB メモリ / ポータブルオーディオプレーヤー
USB iPod ※2	iPhone/iPod
CHANGER ※3	CD チェンジャー

- ※ 1 ディスクを挿入すると自動的に DISC モードになります。
- ※ 2 USB 端子に iPhone/iPod を接続した場合は、< USB iPod >と表示されます。
- ※ 3 チェンジャーを接続していないときはモード選択できません。

■ Memo

- iPhone/iPod、USB メモリ、ポータブルオーディオプレーヤー、CD チェンジャーは別売です。
- USB 端子に何も接続されていない場合は、モード名は < No USB Unit >と表示されます。
- ラジオモードにすると、車両のアンテナが伸びます。(パワーアンテナ装着車のみ)

カレンダー／時計を調整する (Clock Adjust)

1  **SETUP** を 2 秒以上押す

SETUP モードになります。

2  を廻す

< General > を選びます。



3  を押す

4  を廻す

< Clock Adjust > を選びます。



5  を押す

6  を廻す

「年」を調整します。



7  を押す

8 手順 6 と 7 を繰り返し行い、「月」、
「日」、「時」、「分」を調整する

■ Memo

- 時報に合わせたいときは「時」設定後に「ENTER」を 2 秒以上押すと、「分」の表示が <00> になります。30 分を超えているときは「時」の表示が繰り上がり「分」の表示が <00> になります。

9  **SETUP** を 2 秒以上押す

時計の調整が終了し、元のモードに戻ります。

■ Memo

- セットアップ中に「ESC」を押すと、1 つ前の項目に戻ります。

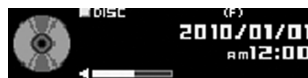
カレンダー／時計を表示する



を繰り返し押す

押すたびに表示モードが変わります。カレンダー／時計表示を選びます。

■ 表示例 (CD モード時)



■ Memo

- 表示モードの切りかえについて詳しくは、「テキストを表示する」(32 ページ) を参照してください。
- カレンダー／時計を表示している状態でラジオ、CD などを操作すると、行った操作を 5 秒間表示した後、時計表示に戻ります。



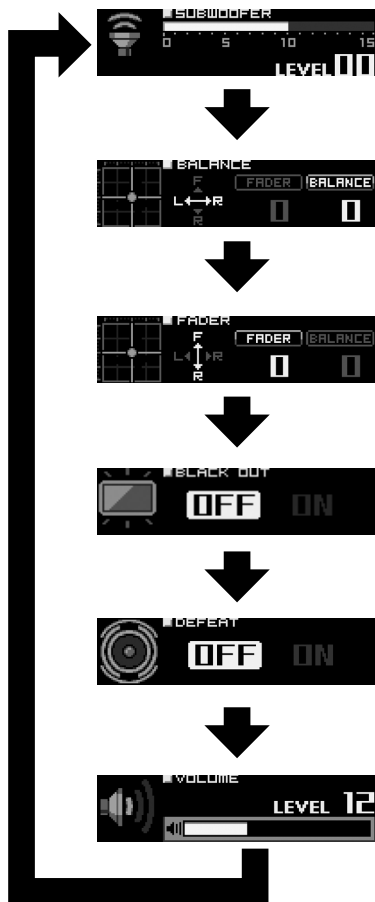
基本操作

5秒以内に操作

サブウーハー／バランス／フェーダー／バックライト／ディフィート／音量を調整する

1 AUDIO を繰り返し押す

調整したいモードを選びます。



2 を廻す

好みのレベルに調整します。

● サブウーハー調整 (SUBWOOFER)

サブウーハー出力を調整します。

設定内容：00 ～ 15（出荷時の設定：00）

■ Memo

- 「サブウーハーの接続 (Subwoofer)」(36 ページ) の設定が OFF に設定されている場合は、調整できません。

● バランス調整 (BALANCE)

左右のスピーカー音量を調整します。

設定内容：- 15 (L) ～ 15 (R)（出荷時の設定：センター）

● フェーダー調整 (FADER)

前後のスピーカー音量を調整します。

設定内容：- 15 (R) ～ 15 (F)（出荷時の設定：センター）

■ Memo

- 別売の IMPRINT オーディオプロセッサー (PXA-H100) 側の X-OVER 切りかえスイッチ「FRONT/REAR/SUBW. / 3WAY」が 3WAY に設定している場合、フェーダー調整はできません。

● バックライトを OFF にする (BLACK OUT)

照光ボタンおよびディスプレイ表示部のバックライトを消灯することで、より良い高音質を実現させることができます。

設定内容：ON/OFF（出荷時の設定：OFF）

■ Memo

- ディスプレイ表示部が消灯しているときにほかのスイッチ操作を行った場合、ディスプレイ表示部を 5 秒間だけ点灯させ、再び消灯させます。

● ディフィート設定 (DEFEAT)

ON に設定すると MX を OFF、EQ を初期値に戻します。

設定内容：ON/OFF（出荷時の設定：OFF）

● 音量調整 (VOLUME)

音量を調整できます。

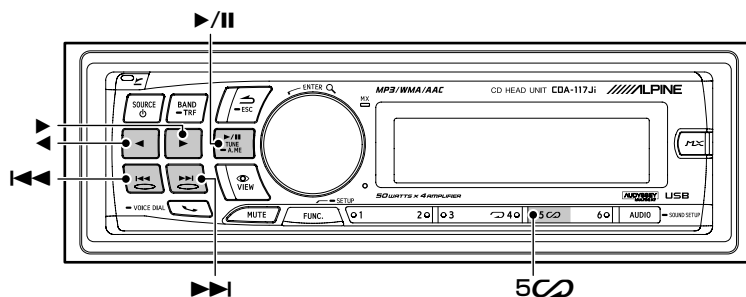
設定内容：00 ～ 35（出荷時の設定：12）

■ Memo

- 車外の音が聞こえる音量でお使いください。事故・故障、または聴力障害の原因になります。

○ お知らせ

- 音量調整 (VOLUME) は、VOLUME モードを選択せずにロータリーエンコーダーを廻すだけで調整することができます。



聴きたいフォルダを選ぶ (MP3/WMA/AAC)



を押す

前のフォルダに戻ります。



を押す

次のフォルダに進みます。

選択したフォルダの1つ目のファイルが再生されます。

Memo

- 「◀」または「▶」を押し続けると、フォルダが連続で切りかわります。

聴きたい曲 (ファイル) を選ぶ



を押す

再生中の曲 (ファイル) の頭に戻ります。続けて押すと前の曲 (ファイル) の頭出しをします。



を押す

次の曲 (ファイル) に進みます。

早送り／早戻しをする



を押し続ける

早戻しします。指を離すと通常再生に戻ります。

Memo

- 一時停止中に早戻しすると先頭で自動的に再生となります。



を押し続ける

早送りします。指を離すと通常再生に戻ります。

一時停止する



を押す

< ||/PAUSE > を表示し、再生が一時停止します。再度押すと再生を開始します。

曲順を変えて聴く M.I.X. (ミックス)

曲 (ファイル) を順不同に再生させることができます。音楽モードによってミックス再生の種類が異なります。それぞれのミックス再生モードは下表を参照してください。

音楽モード	ミックス再生モード <インジケータ表示>	
CD	M.I.X. One <MIX>	—
MP3/WMA/AAC	M.I.X. Folder <MIX ■>	M.I.X. Disc <MIX ☆>

● CD/MP3/WMA/AAC



を繰り返し押す

<M.I.X. One>、<M.I.X. Folder> または <M.I.X. Disc> 表示し、<MIX>、<MIX ■> または <MIX ☆> インジケータ点灯します。

M.I.X. One/M.I.X. DISC :

ディスク内の曲を順不同に再生します。

M.I.X. FOLDER :

フォルダ内のファイルを順不同に再生します。

■表示例 (MP3/WMA/AAC : M.I.X. FOLDER)

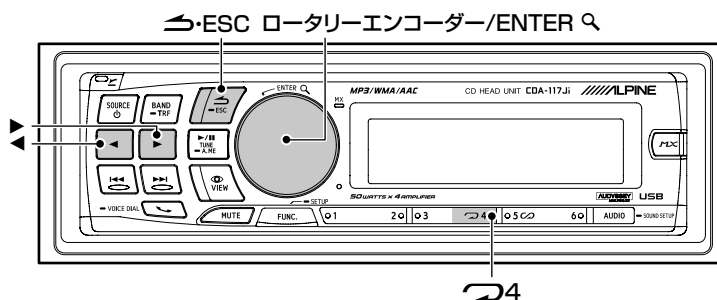


● 解除するには



を繰り返し押す

<M.I.X. Off> 表示し、通常の再生に戻ります。



繰り返し聴く REPEAT (リピート)

曲（ファイル）を繰り返し再生させることができます。音楽モードによってリピート再生の種類が異なります。それぞれのリピート再生モードは下表を参照してください。

音楽モード	リピート再生モード <インジケータ表示>	
CD	Repeat One <RPT>	—
MP3/WMA/ AAC	Repeat One <RPT>	Repeat Folder <RPT■>

● CD/MP3/WMA/AAC

④ を繰り返し押す

<Repeat One> または <Repeat Folder> 表示し、<RPT> または <RPT■> インジケータが点灯します。

REPEAT ONE :

再生中の曲（ファイル）を繰り返し再生します。

REPEAT FOLDER :

フォルダ内のファイルを繰り返し再生します。

■表示例（MP3/WMA/AAC : REPEAT FOLDER）



● 解除するには

④ を繰り返し押す

<Repeat Off> 表示し、通常の再生に戻ります。

60秒以内に操作

聴きたいフォルダまたはファイルを探す（MP3/WMA/AAC）

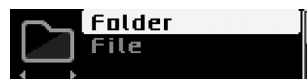
ディスク内のフォルダまたはファイルを検索し再生することができます。

1 ④ を押す

サーチ選択モードになり、前回サーチしたモード名が表示されます。

2 ④ を廻す

< Folder > または < File > を選びます。

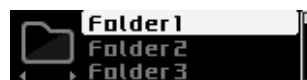


Folder : フォルダサーチ ⇒ 手順3へ

File : ファイルサーチ ⇒ 手順5へ

3 ④ を押す

フォルダサーチモードになり、フォルダ名が表示されます。

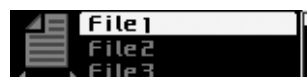


4 ④ を廻す

希望のフォルダを選びます。

5 ④ を押す

ファイルサーチモードになり、ファイル名が表示されます。



■ Memo

- 「ENTER」を2秒以上押すと、選択したフォルダのすべてのファイルを再生することができます。

10秒以内に操作

6 を廻す

希望のファイルを選びます。

7 を押す

選択したファイルを再生します。

■Memo

- サーチモード中に「・ESC」を押すと、1 つ前の項目に戻ります。サーチ選択モード中は「・ESC」を2秒以上押すとサーチ選択モードは解除されます。
- M.I.X. 再生中にフォルダ／ファイルサーチを行うと M.I.X. モードは解除されます。
- 本機で対応していない文字情報の場合、<NO SUPPORT> と表示されます。
- ルートフォルダは < \ROOT > 表示になります。
- フォルダサーチモードで選んだファイルに「」または「」を押すと、前後のフォルダを選ぶことができます。

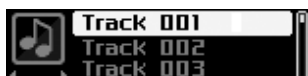
60秒以内に操作

CD テキストから曲を探す (CD)

CD テキストから曲 (トラック) を検索し再生することができます。

1 を押す

サーチモードになり、現在のテキスト No. が表示されます。



2 を廻す

希望の曲を選びます。

3 を押す

選択した曲を再生します。

■Memo

- サーチモード中に「・ESC」を押すと、サーチモードは解除されます。
- M.I.X. 再生中にテキストサーチを行うと M.I.X. モードは解除されます。

クイックサーチ

素早く簡単に曲 (ファイル) を選択することができます。

1 を2秒以上押す

クイックサーチモードになります。

■表示例 (CD モード時)



2 を廻す

希望の曲 (ファイル) を選びます。選択した曲 (ファイル) が再生されます。

■Memo

- サーチモード中に「・ESC」を押すと、サーチモードは解除されます。

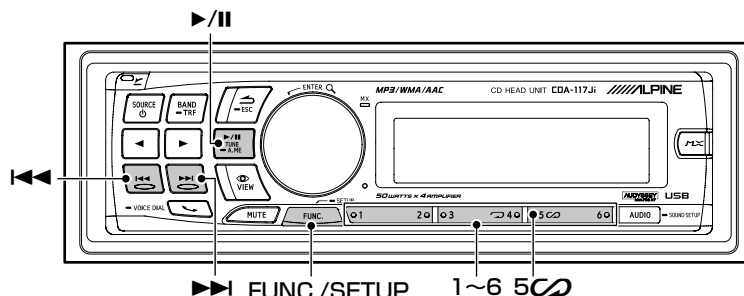
サーチポジションメモリー

再生時、サーチモードで最後に曲を決定した階層にすぐに戻ることができます。

を押す

サーチモードで最後に曲を決定した階層が表示されます。

USB メモリ / ポータブルオーディオプレーヤー / チェンジャー操作



Bank 機能 (USB メモリ / ポータブルオーディオプレーヤー)

本機は、USB メモリ / ポータブルオーディオプレーヤー内の曲を、自動的に 1,000 曲毎に分割する Bank 機能があります。Bank とは、USB メモリ / ポータブルオーディオプレーヤー内の 1,000 曲分の音楽ファイルをスキャンし、タグ情報を製品内部にライブラリ化します。USB メモリ接続時は、1Bank 内の総ファイル数 1000 曲は以下の条件で書き込まれている場合の保証値であり、条件が違ふ場合は 1000 曲以下となる場合があります。

条件 (以下の構成での試算値)

Playlist : 32 文字 (64Byte) × 20 個
Genre : 32 文字 (64Byte) × 10 種類
Composer : 32 文字 (64Byte) × 30 種類
Artist : 32 文字 (64Byte) × 30 種類
Album : 32 文字 (64Byte) × 100 種類
Title : 32 文字 (64Byte) × 1000 種類
Folder : 32 文字 (64Byte) × 100 種類
File : 32 文字 (64Byte) × 1000 種類
File Path : 128 文字 (256Byte) × 1000 種類

1 つの Bank に最大 1,000 曲格納され、最大 20Bank (20,000 曲) まで認識します。この 1,000 曲単位でライブラリ化されたものを Bank と呼び、Bank 構築中の動作を Banking と呼びます。初期設定では 1 ~ 1,000 曲までが格納される Bank 1 内での操作になるため、1,001 曲 (Bank2) 以降を選択する場合は、下記の Bank 切り替え操作を行ってください。

Bank No.	曲 数
Bank1	1 ~ 1,000
Bank2	1,001 ~ 2,000
⋮	⋮
Bank20	19,001 ~ 20,000

■ Memo

• Bank 内に登録される順番は、USB メモリ / ポータブルオーディオプレーヤーに書き込まれた順番となるため、パソコン上 (エクスプローラーなど) で表示される順番と異なる場合があります。そのため同じフォルダ内のファイルであっても、次の Bank に分れる場合があります。

• Banking 中は "Banking" と表示され、電源 ON 時や車両 ACC ON 時、または USB メモリ接続時、他の Bank 選択時に Banking が開始されます。Banking が終了する時間は数秒から数分程度かかる場合もありますが、USB メモリ / ポータブルオーディオプレーヤー内のファイル数やフォルダ数により異なります。

■ Banking 中の操作について

- Banking 中 (Bank 構築中) はサーチや「VIEW」操作でのタグ情報表示切りかえは正しく動作しません。
- 通常の早送りや次の曲を選ぶなどの操作は可能です。
- Banking 中に再生される曲順は、USB メモリ / ポータブルオーディオプレーヤー内の曲順と異なる場合があります。
- Banking 中は、サーチ動作を行わないようにしてください。データベース構築中のため動作が異常となる場合があります。

聴きたい曲 (ファイル) を選ぶ



を押す

再生中の曲 (ファイル) の頭に戻ります。続けて押すと前の曲 (ファイル) の頭出しをします。



を押す

次の曲 (ファイル) に進みます。

■ Memo

- USB メモリ時、VBR (Variable Bit Rate) で記録されたファイルを再生したとき、正確な再生時間を表示できない場合があります。

早送り / 早戻しをする (USB メモリ / チェンジャー)



を押し続ける

早戻しします。指を離すと通常再生に戻ります。

■ Memo

- USB メモリ接続時は、一時停止中に早戻しすると先頭で自動的に再生となります。



を押し続ける

早送りします。指を離すと通常再生に戻ります。

■ Memo

- 接続するポータブルオーディオプレーヤーによっては、早送り / 早戻しを行うことができない場合があります。

一時停止する



を押す

< II / PAUSE > を表示し、再生が一時停止します。再度押すと再生を開始します。

10秒以内に操作

聴きたいディスクを選ぶ (チェンジャー)

● 6 連奏チェンジャー

ディスク No. 1 ～ 6 は「1」～「6」を押して選びます。

○1 ○2 、 ○3 〽4○ 、

○5∞ ○6 のいずれかを押す

選択したディスクの最初の曲が再生されます。

● 12 連奏チェンジャー

1  SETUP を繰り返し押す

ディスク選択モードを選びます。

■ ディスク選択モード (ディスク No.1 ～ 6)
ディスク No. 1 ～ 6 は「1」～「6」を押して選びます。

■ ディスク選択モード (ディスク No.7 ～ 12) *
ディスク No. 7 ～ 12 は「1」～「6」を押して選びます。
※ 12 連奏チェンジャーを接続していないときは表示されません。

2 ○1 ○2 、 ○3 〽4○ 、

○5∞ ○6 のいずれかを押す

選択したディスクの最初の曲が再生されます。

■ Memo

- 12 連奏チェンジャー (CHA-1214) は現在発売されていません。
- 別売の DVD チェンジャーを接続した場合、CD チェンジャー同様に本機から操作することができ、DVD チェンジャーによっては、一部の機能制限があります。詳しい操作については、DVD チェンジャー側の取扱説明書をご覧ください。

曲順を変えて聴く M.I.X.(ミックス)

曲 (ファイル) を順不同に再生させることができます。音楽モードによってミックス再生の種類が異なります。それぞれのミックス再生モードは下表を参照してください。

音楽モード	ミックス再生モード <インジケータ表示>	
USB メモリ / ポータブルオーディオプレーヤー ^{※1}	M.I.X. Song <miX>	M.I.X. All <miX ALL>
CD チェンジャー ^{※2}	M.I.X. One <miX>	M.I.X. All <miX 〇>
MP3 チェンジャー ^{※2}	M.I.X. Folder <miX ■>	M.I.X. Disc <miX 〇>

※ 1 M.I.X. 時には Repeat One 操作を行った後、トラック No. にズレがあります。

※ 2 RPT ALL 演奏中に M.I.X. を ON にすると、そのディスク内の M.I.X. 演奏になります。

● USB メモリ / ポータブルオーディオプレーヤー

○5∞ を繰り返し押す

<M.I.X Song> または <M.I.X All> 表示し、<miX> または <miX ALL> インジケータが点灯します。

5秒以内に操作

● チェンジャー

1  SETUP を押す

<{F}> インジケータが点灯します。

2 ○5∞ を繰り返し押す

<M.I.X One>、<M.I.X Folder> または <M.I.X All> 表示し、<miX>、<miX ■> または <miX 〇> インジケータ点灯します。

M.I.X. ONE :

1 枚のディスクの全曲を順不同に再生し、次のディスクに移動します。

M.I.X. SONG :

サーチモードで曲を選択した場合に、選択したモード内の曲を全曲、順不同に再生します。

M.I.X. FOLDER :

フォルダ内のファイルを順不同に再生します。

M.I.X. All :

- USB メモリ / ポータブルオーディオプレーヤー内の全曲を順不同に再生します。
- USB モードでの M.I.X. ALL 再生は、次の曲を USB メモリすべての曲からランダムに選択するため、同じ曲が続けて再生される場合もあります。
- すべてのディスクの全曲を順不同に再生します。(M.I.X. All 対応チェンジャーのみ)

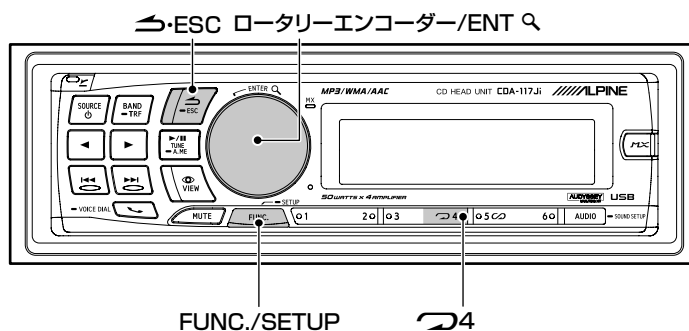
● 解除するには

チェンジャーの場合は、「FUNC./・SETUP」を押して M.I.X./RPT 選択モードにしてから操作してください。

○5∞ を繰り返し押す

<M.I.X Off> 表示し、通常の再生に戻ります。

USB メモリ / ポータブルオーディオプレーヤー / チェンジャー操作



繰り返し聴く REPEAT (リピート)

曲（ファイル）を繰り返し再生させることができます。音楽モードによってリピート再生の種類が異なります。それぞれのリピート再生モードは下表を参照してください。

音楽モード	リピート再生モード ＜インジケータ表示＞		
	Repeat One ＜RPT＞	Repeat Artist ＜RPT 人＞	Repeat Album ＜RPT 盤＞
USB メモリ / ポータブルオーディオプレーヤー	Repeat One ＜RPT＞	Repeat Artist ＜RPT 人＞	Repeat Album ＜RPT 盤＞
CD チェンジャー	Repeat One ＜RPT＞	Repeat All ＜RPT 全＞	—
MP3 チェンジャー	Repeat One ＜RPT＞	Repeat Folder ＜RPT 目＞	Repeat All ＜RPT 全＞

● USB メモリ / ポータブルオーディオプレーヤー

4 を繰り返し押す

＜Repeat One＞、＜Repeat Artist＞または＜Repeat Album＞表示し、＜RPT＞、＜RPT 人＞または＜RPT 盤＞インジケータが点灯します。

● チェンジャー

1 FUNC. を押す

＜(F)＞インジケータが点灯します。

2 4 を繰り返し押す

Repeat 再生モードを選びます。

REPEAT ONE :

再生中の曲（ファイル）を繰り返し再生します。

REPEAT FOLDER :

フォルダ内のファイルを繰り返し再生します。

REPEAT ALL :

ディスク内の曲（ファイル）を繰り返し再生します。

REPEAT ARTIST :

現在 Bank 内で再生しているアーティストのプレイリストを作成し、そのアルバムを繰り返し再生します。

REPEAT ALBUM :

現在 Bank 内で再生しているアルバムのプレイリストを作成し、そのアーティストを繰り返し再生します。

● 解除するには

チェンジャーの場合は、「FUNC./・SETUP」を押して M.I.X./RPT 選択モードにしてから操作してください。

4 を繰り返し押す

＜Repeat Off＞表示し、通常の再生に戻ります。

聴きたい曲／タイトルを探す (USB メモリ / ポータブルオーディオプレーヤー)

本機ではサーチ機能を使用して様々な検索を行うことができます。

検索には大きく 8 つのサーチモードがあります。それぞれのサーチモードには下表のように階層があり、より絞り込んだ検索ができます。

第 1 階層	第 2 階層	第 3 階層	第 4 階層	第 5 階層
Bank	Playlist * 1	Song	—	—
Bank	Artist	Album	Song	—
Bank	Album	Song	—	—
Bank	Genre	Artist	Album	Song
Bank	Composer	Album	Song	—
Bank	Song	—	—	—
Bank	Folder * 2	File	—	—
Bank	File	—	—	—

※ 1 ポータブルオーディオプレーヤー接続時は、Playlist を選択することができません。

※ 2 ルートフォルダは < \ROOT > 表示になります。

ここでは、アーティストサーチを例に説明します。ほかのサーチモードの場合でも、検索できる階層は異なりますが、同様の操作で検索ができます。

1 を押す

Bank 選択モードが表示されます。

2 を廻す

希望の Bank を選択します。

3 を押す

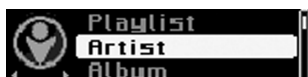
選択された Bank 内で各操作を行うことができます。

Memo

- Bank 構成中 <Banking> と表示する場合があります。

4 を廻す

< Artist > を選びます。



5 を押す

Artist サーチモードになり、アーティスト名がリスト表示されます。



6 を廻す

希望のアーティストを選びます。

7 を押す

選択したアーティストの Album サーチモードになり、アルバム名がリスト表示されます。



Memo

- 「ENTER」を 2 秒以上押すと、選択したアイテムのすべてのファイルを再生することができます。

8 を廻す

希望のアルバムを選びます。

9 を押す

選択したアルバムの Song サーチモードになり、曲名がリスト表示されます。



10 を廻す

希望の曲を選びます。

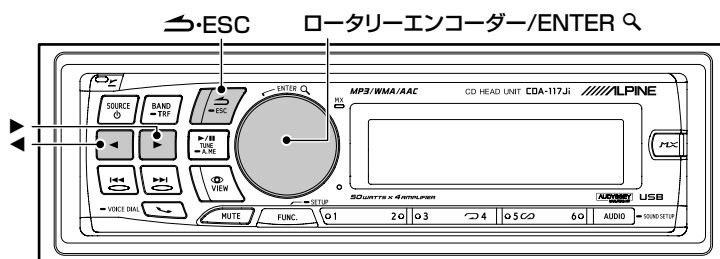
11 を押す

選択した曲が再生されます。

Memo

- リピート再生中に Bank 切りかえ操作を行うと、リピートモードは解除されます。
- M.I.X. 再生中にサーチ機能を使用すると、M.I.X. モードは解除されます。
- サーチモード中に「ESC」を 2 秒以上押すと、サーチモードは解除されます。
- サーチモード中に「ESC」を押すと、1 つ前の項目に戻ります。
- 本機で対応していない文字情報の場合、< NO SUPPORT > と表示されます。
- USB メモリ接続時は、Song、Artist 検索等を行う時に、文字コード混在のファイルがある場合に、表示順番が順不同になることがあります。

USB メモリ / ポータブルオーディオプレーヤー / チェンジャー操作



● アルファベット スキップ機能 (USB メモリ / ポータブルオーディオプレーヤー)

「A → B」、「B → C」のように次のアルファベットにスキップします。または、「B → A」のように逆のアルファベットにスキップすることもできます。

1 ◀ または ▶ を押す

希望のアルファベットにスキップされます。

2 ● を廻す

希望の曲名を選びます。

■ Memo

- アルファベットスキップは UTF-16 の文字コードで記述されたアルファベットのみが選択対象となります。
- サーチ選択モードで Song サーチモードを選択した場合のみ、Song サーチモードでアルファベットスキップ機能を使用することができます。
- アルファベットスキップのリストの並び順は (USB メモリ / ポータブルオーディオプレーヤー) の仕様に依存します。
- タイトルが「A」または「THE」の冠詞で始まるタイトルの場合、「A」または「THE」の次の頭文字がアルファベットスキップ機能の検索対照となります。
例えば、タイトルが「A PLAYER」または「THE PLAYER」の場合、「A」「THE」の次のアルファベット「P」が検索の対照となります。その際、ディスプレイに表示されるタイトルは「A PLAYER」、「THE PLAYER」と表示されます。

ダイレクト UP/DOWN 機能 (USB メモリ / ポータブルオーディオプレーヤー)

「聴きたい曲／タイトルを探す」(23 ページ) で選択したアイテム (Album など) を再生している場合、簡単な操作で聴きたいアイテムに切りかえることができます。例えば、任意の Album に絞り込んでお聴きの場合は、ほかの Album に切りかえることができます。

◀ を押す

前のアイテムに戻ります。

▶ を押す

次のアイテムに進みます。

■ Memo

- サーチを行っていない、または Song/File サーチをした場合は、操作できません。
- タイプの異なるアイテムを選択することはできません。
- M.I.X. 再生しているときは操作できません。

10秒以内に操作

聴きたいフォルダまたはファイルを探す (MP3 チェンジャー)

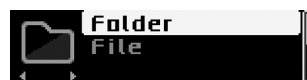
ディスク内のフォルダまたはファイルを検索し再生することができます。

1 ● を押す

サーチ選択モードになり、前回サーチしたモード名が表示されます。

2 ● を廻す

< Folder > または < File > を選びます。

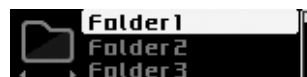


Folder : フォルダサーチ ⇒ 手順3へ

File : ファイルサーチ ⇒ 手順5へ

3 ● を押す

フォルダサーチモードになり、フォルダ名が表示されます。

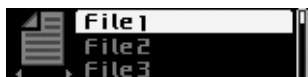


4 〇 を廻す

希望のフォルダを選びます。

5 〇 を押す

ファイル検索モードになり、ファイル名が表示されます。



■ Memo

- 「ENTER 〇」を2秒以上押すと、選択したフォルダのすべてのファイルを再生することができます。

6 〇 を廻す

希望のファイルを選びます。

7 〇 を押す

選択したファイルを再生します。

■ Memo

- サーチモード中に「↵・ESC」を2秒以上押すと、サーチモードは解除されます。
- サーチモード中に「↵・ESC」を押すと、1つ前の項目に戻ります。サーチ選択モード中は「↵・ESC」を2秒以上押すとサーチ選択モードは解除されます。
- M.I.X. 再生中にフォルダ / ファイルサーチを行うとM.I.X. モードは解除されます。
- 本機で対応していない文字情報の場合、<NO SUPPORT>と表示されます。
- MP3 チェンジャー接続時、ルートフォルダは<\ROOT>表示になります。
- フォルダサーチモードで選んだファイルに「◀」または「▶」を押すと、前後のフォルダを選ぶことができます。

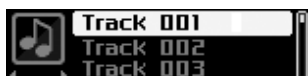
60秒以内に操作

トラック No. から曲を探す(CDチェンジャー)

CD 再生時、トラック No. から曲を検索することができます。

1 〇 を押す

サーチモードになり、現在のトラック No. が表示されます。



2 〇 を廻す

希望の曲を選びます。

3 〇 を押す

選択した曲を再生します。

■ Memo

- サーチモード中に「↵・ESC」を押すと、サーチモードは解除されます。
- M.I.X. 再生中にトラックサーチを行うと、M.I.X. モードは解除されます。

10秒以内に操作

クイックサーチ

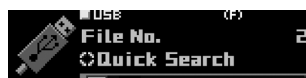
素早く簡単に曲（ファイル）を選択することができます。

1 〇 を2秒以上押す

クイックサーチモードになります。

■ 表示例

(USB メモリ時)



2 〇 を廻す

希望の曲（ファイル）を選びます。選択した曲（ファイル）が再生されます。

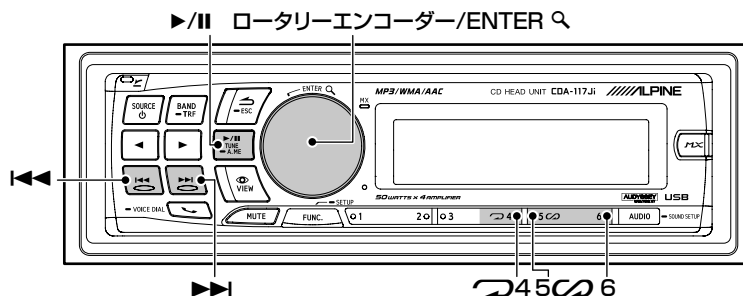
■ Memo

- サーチモード中に「↵・ESC」を押すと、サーチモードは解除されます。

サーチポジションメモリー (USB メモリ / ポータブルオーディオプレーヤー)

〇 を押す

サーチモードで最後に曲を決定した階層が表示されます。



- iPhone を本機に接続すると iPod として使用することができます。iPhone をハンズフリー電話として使用するには、別売の BLUETOOTH INTERFACE (KCE-400BT) が必要です。
- iPhone/iPod touch を本機に接続中でも、電話機能やインターネット機能は iPhone/iPod touch 本体を操作して使用することができます。
- iPhone 3GS, iPod (Ver.3.x) 接続でのソース切り替え、交通情報等の割り込み動作後、iPhone 3GS, iPod (Ver.3.x) に戻る時に、<No USB Unit> となる場合があります。その場合は、iPhone 3GS/iPod 接続を抜き差しすると復帰します。

聴きたい曲 (ファイル) を選ぶ



を押す

再生中の曲 (ファイル) の頭に戻ります。続けて押すと前の曲 (ファイル) の頭出しをします。



を押す

次の曲 (ファイル) に進みます。

Memo

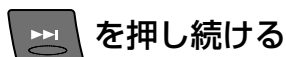
- Podcast of the Episode 及び Audiobook がチャプター対応の場合は、◀◀ または ▶▶ で選択することができます。

早送り／早戻しをする



を押し続ける

早戻しします。指を離すと通常再生に戻ります。



を押し続ける

早送りします。指を離すと通常再生に戻ります。

一時停止する



を押す

< II/PAUSE > を表示し、再生が一時停止します。再度押すと再生を開始します。

曲順を変えて聴く M.I.X. (ミックス)

曲 (ファイル) を順不同に再生させることができます。

音楽モード	ミックス再生モード <インジケータ表示>	
USB iPod	M.I.X. Album <miX.□>	M.I.X. Song <miX.>

を繰り返し押す

< M.I.X. Album > または < M.I.X. Song > 表示し、< miX.□ >、< miX. > インジケータが点灯します。

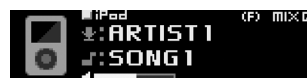
M.I.X. Album (シャッフル・アルバム) :

iPhone/iPod 内のすべてのアルバムを順不同に選択し、選択したアルバム内の曲を曲順通りに再生します。

M.I.X. Song (シャッフル・ソング) :

サーチモードから曲を再生している場合、選択したサーチモード内すべての曲を順不同に再生します。

■表示例 (M.I.X. Album)



■Memo

- Album サーチモードで曲を選んでいる場合、M.I.X. ALBUM (シャッフル・アルバム) 再生はできません。

解除するには

を繰り返し押す

< M.I.X. Off > 表示し、通常の再生に戻ります。

曲順を変えて聴く M.I.X. ALL (シャッフル・ALL)

iPhone/iPod 内の全曲を順不同に再生させることができます。

6 秒を押す

< M.I.X. All > 表示し、< MIX ALL > インジケーターが点灯します。

■表示例



■Memo

- サーチモードから曲を再生している場合、M.I.X. ALL (シャッフル・ALL) を選択すると、サーチで選択した内容は解除されます。

解除するには

6 秒を押す

< M.I.X. Off > 表示し、通常の再生に戻ります。

繰り返し聴く REPEAT (リピート)

曲 (ファイル) を繰り返し再生させることができます。

4 秒を押す

< Repeat One > 表示し、< RPT > インジケーターが点灯します。

解除するには

4 秒を押す

< Repeat Off > 表示し、通常の再生に戻ります。

■Memo

- 接続する iPod によっては、リピート再生中は「◀◀」、「▶▶」を押して他の曲を選ぶことができない場合があります。

60秒以内に操作

聴きたい曲を探す

iPhone/iPod には数百曲・数千曲が入るため聴きたい曲を探し出すのが大変です。そのため、本機ではサーチ機能を使用して様々な検索を行うことができます。

検索には大きく 8 つのサーチモードがあります。それぞれのサーチモードには下表のように階層があり、より絞り込んだ検索ができます。

第 1 階層	第 2 階層	第 3 階層	第 4 階層
Playlist	Song	—	—
Artist	Album	Song	—
Album	Song	—	—
Song	—	—	—
Podcast	Episode	—	—
Genre	Artist	Album	Song
Composer	Album	Song	—
Audiobook	—	—	—

ここでは、アーティストサーチを例に説明します。ほかのサーチモードの場合でも、検索できる階層は異なりますが、同様の操作で検索ができます。

1 6 秒を押す

サーチ選択モードになり、前回サーチしたモード名が表示されます。



2 6 秒を押す

< Artist > を選びます。



3 6 秒を押す

Artist サーチモードになり、アーティスト名がリスト表示されます。



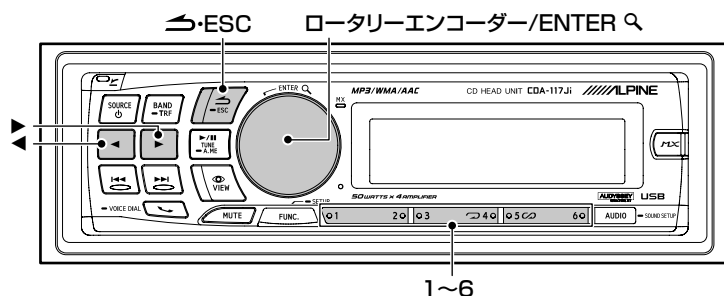
4 6 秒を押す

希望のアーティストを選びます。

■Memo

- ダイレクトサーチ / アルファベット スキップが使えます。詳しくは、「ダイレクトサーチ / アルファベットスキップ機能」(28 ページ) を参照してください。

次ページに続く→



5 [ENTER] を押す

Album サーチモードになり、アルバム名がリスト表示されます。



■Memo

- 「ENTER」を2秒以上押すと、選択したアーティストのすべての曲を再生することができます。

6 [1~6] を廻す

希望のアルバムを選びます。

■Memo

- ダイレクトサーチ / アルファベット スキップが使えます。詳しくは、「ダイレクトサーチ / アルファベット スキップ機能」(28 ページ) を参照してください。

7 [ENTER] を押す

Song サーチモードになり、曲名がリスト表示されます。



■Memo

- 「ENTER」を2秒以上押すと、選択したアルバムのすべての曲を再生することができます。

8 [1~6] を廻す

希望の曲を選びます。

■Memo

- ダイレクトサーチが使えます。詳しくは、「ダイレクトサーチ機能」(28 ページ) を参照してください。

9 [ENTER] を押す

選択した曲が再生されます。

■Memo

- サーチモード中に「ESC」を2秒以上押すと、サーチモードは解除されます。
- サーチモード中に「ESC」を押すと、1つ前の項目に戻ります。
- シャッフル (M.I.X.) 再生中にサーチ機能を使用すると、シャッフル (M.I.X.) モードは解除されます。
- 本機で対応していない文字情報の場合、<NO SUPPORT> と表示されます。
- Playlist (プレイリスト) サーチの場合、iPhone/iPod に登録してある「iPod 名」が表示されます。iPod 名を選択して「ENTER」を押すと、Song サーチモードになり iPhone/iPod 内のすべての曲を検索できます。iPod 名を選択して「ENTER」を2秒以上押すと、iPhone/iPod 内のすべての曲を繰り返し再生します。
- サーチモード中 ALL を選択して「ENTER」を2秒以上押すと、iPhone/iPod または選択したアイテムのすべてのタイトルを繰り返し再生します。
- iPhone/iPod によっては、Podcast サーチができない場合があります。

●ダイレクトサーチ / アルファベット スキップ機能

本機にはより効率よく検索するために、ダイレクトサーチ / アルファベット スキップ機能が用意されています。それぞれのサーチモード時に利用することで、探したいアーティストや曲などをすばやく探し出すことができます。ここでは、Song サーチを例に説明します。

ダイレクトサーチ機能

例えば、iPhone/iPod に 100 曲収録されているとします。この 100 曲が下表のように 6 分割され、本機のプリセットボタン「1」～「6」に割り当てられます。

曲 スイッチ	全 100 曲					
	1 曲目	17 曲目	33 曲目	50 曲目	67 曲目	83 曲目
1 (0%)	1					
2 (17%)		2				
3 (33%)			3			
4 (50%)				4		
5 (67%)					5	
6 (83%)						6

1 2 、 、

のいずれかを押す

指定された場所へジャンプします。

聴きたい曲が 80 曲目ぐらいに収録されていると仮定した場合、**「6」**を押します。

2 を廻す

希望の曲名を選びます。

アルファベット スキップ機能

「A → B」、「B → C」のように次のアルファベットにスキップします。または、「B → A」のように逆のアルファベットにスキップすることもできます。

1 または を押す

希望のアルファベットにスキップされます。

2 を廻す

希望の曲名を選びます。

■Memo

- サーチ選択モードで Song サーチモードを選択した場合のみ、Song サーチモードでアルファベットスキップ機能を使用することができます。
- 同じアルファベットのタイトルが 200 以上連続している場合、200 タイトルずつスキップしアルファベット内でのスキップが終わった後に次のアルファベットへスキップします。
- アルファベットスキップのリストの並び順は iPhone/iPod の仕様に依存します。
- タイトルが「A」または「THE」の冠詞で始まるタイトルの場合、「A」または「THE」の次の頭文字がアルファベットスキップ機能の検索対照となります。
例えば、タイトルが「A PLAYER」または「THE PLAYER」の場合、「A」「THE」の次のアルファベット「P」が検索の対照となります。その際、ディスプレイに表示されるタイトルは「A PLAYER」、「THE PLAYER」と表示されます。

サーチポジションメモリー

再生時、サーチモードで最後に曲を決定した階層にすぐに戻ることができます。

を押す

サーチモードで最後に曲を決定した階層が表示されます。

ダイレクト UP/DOWN 機能

「聴きたい曲を探す」(27 ページ) で選択したアイテム (Album など) を再生している場合、簡単な操作で聴きたいアイテムに切りかえることができます。

例えば、任意の Album に絞り込んでお聴きの場合は、ほかの Album に切りかえることができます。

を押す

前のアイテムに戻ります。

を押す

次のアイテムに進みます。

■Memo

- Playlist/Artist/Album/Podcast/Genre/Composer/Audiobook (Podcast と Audiobook は、エピソードの切りかえになります。) サーチをしていない場合は、操作できません。
- Song サーチをした場合は、操作できません。
- タイプの異なるアイテムを選択することはできません。
- シャッフル (M.I.X.) 再生中は、操作できません。(Podcast と Audiobook の場合は除く。)

10秒以内に操作

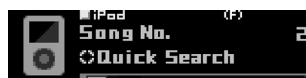
クイックサーチ

素早く簡単に曲 (ファイル) を選択することができます。

1 を 2 秒以上押す

クイックサーチモードになります。

■表示例

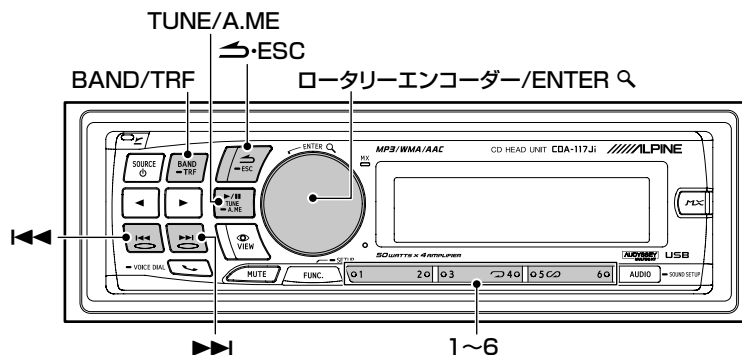


2 を廻す

希望の曲 (ファイル) を選びます。選択した曲 (ファイル) が再生されます。

■Memo

- サーチモード中に「・ESC」を押すと、サーチモードは解除されます。
- ダイレクトサーチが使えます。詳しくは、「ダイレクトサーチ機能」(28 ページ) を参照してください。



バンドを切りかえる

BAND - TRF を繰り返し押す

バンドを選びます。

FM1 → FM2 → AM → FM1...

聴きたい放送局を選ぶ

● 自動で選ぶ

現在受信できる放送局を自動で探索し、受信します。

放送局を自動で選ぶには、2つのモードがあります。

DX (ディスタンスモード) :

受信可能な放送局を自動で受信します。工場出荷時はディスタンスモードに設定されています。

LOCAL (ローカルモード) :

電波の強い放送局だけを自動で受信します。

1 **TUNE A.ME** を繰り返し押す

< DX > または < LOCAL > インジケーターを表示させます。

■ 表示例 (DX モード)



2 **←** または **→** を押す

■ Memo

- 受信電波の弱い地域では、自動選局ができない場合があります。

● 手動で選ぶ (マニュアルモード MANUAL)

1 段階ずつ周波数が変わります。

1 **TUNE A.ME** を繰り返し押す

< MANUAL > を表示させます。



2 **←** を繰り返し押す

周波数がダウンします。

押し続けると連続で周波数がダウンします。

→ を繰り返し押す

周波数がアップします。

押し続けると連続で周波数がアップします。

■ Memo

- FM ラジオは 0.1MHz、AM ラジオは 9kHz ずつ変わります。

● 記憶させた放送局を選ぶ

あらかじめ記憶 (プリセットメモリー) されている放送局を選んで受信します。

1 **2**、**3** **4**、

5 **6** のいずれかを押す

選択した放送局が受信されます。



■ Memo

- 放送局を記憶させる操作については、「放送局を記憶させる」(31 ページ) を参照してください。

放送局を記憶させる

● 手動で記憶させる

1 記憶させたい放送局に周波数を合わせる

2 、 、 のいずれかを 2 秒以上押す

押された No. に放送局が記憶されます。

■ Memo

- 放送局は 18 局まで記憶できます。
FM1…6 局、FM2…6 局、AM…6 局
- すでに記憶されている No. に記憶させると、後から記憶させた放送局が有効になります。

● 自動で記憶させる Auto Memory (オートメモリー)

1 を繰り返し押す

バンドを選びます。

FM1 → FM2 → AM → FM1…

2 を 2 秒以上押す

< AUTO MEMORY >を表示し、自動選局を開始します。

電波の強い順に 6 つの放送局が自動的に受信されて「1」～「6」に記憶されます。記憶が終わると「1」に記憶されている放送局が受信されます。

■ Memo

- 受信電波の弱い地域では、AUTO MEMORY での自動受信ができない場合があります。放送局を 1 つも受信（記憶）できなかったときは、操作の直前に受信していた放送局が受信されます。

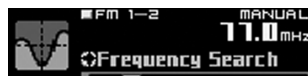
10秒以内に操作

放送局を周波数から探す

放送局を周波数から検索することができます。

1 を 2 秒以上押す

周波数サーチモードになります。



2 廻す

放送局（周波数）を選びます。

3 を押す

選択した周波数の放送局を受信します。

■ Memo

- サートモード中に「ESC」を 2 秒以上押すと、サーチモードは解除されます。

道路交通情報を受信する TRF (トラフィックインフォメーション)

1 を 2 秒以上押す

TRF モードになり、AM 放送の 1620kHz または、1629kHz の交通情報を受信します。



2 または を押す

1620kHz / 1629kHz を切りかえます。

■ Memo

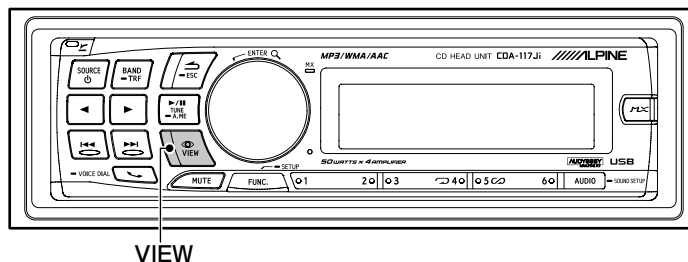
- 交通情報を行っている地域に合わせて周波数を切りかえてください。

3 を 2 秒以上押す

TRF モードを終了し、元のモードに戻ります。

■ Memo

- CD、ラジオなど、全てのモードで交通情報を受信できます。



VIEW

テキスト / スクロールとは

この説明書で使用する「テキスト」、「スクロール」について説明します。

■ テキストとは

あらかじめ CD に入力されている文字の表示ができることを言います。



マークがついているものにはテキストが入っています。

文字を正確に表示できない場合もあります。

■ テキスト入力表示一覧

		入力	表示
テキスト	MP3/WMA/AAC	×	○※1
	CD	×	○※2
対応文字	英数、記号、カタカナ、ひらがな、漢字		

※1 MP3/WMA/AAC ディスクの場合は、フォルダ名／ファイル名／タグ情報の表示ができます。ファイル名／フォルダ名は、ライティングソフトによっては「全角文字」が表示できない場合があります。

※2 チェンジャー内のディスク (MP3 対応チェンジャーを除く) では、「ひらがな」、「漢字」に対応していません。

■ スクロールとは

文字を次々と表示させることを言います。本機では、曲が変わったときなどに一回だけスクロールする「Manual モード」とスクロールを繰り返す「Auto モード」を搭載しています。CD テキストとフォルダ名、ファイル名、タグ表示のみスクロール表示します。

■ Memo

- マニュアルモード時に再スクロールを行う場合、「VIEW」を2秒以上押します。

テキストを表示する

CD テキスト対応の音楽 CD 再生中に、ディスク名／トラック名などを表示させることができます。

MP3/WMA/AAC ファイルを再生中は、フォルダ名、ファイル名、タグ情報の表示ができます。

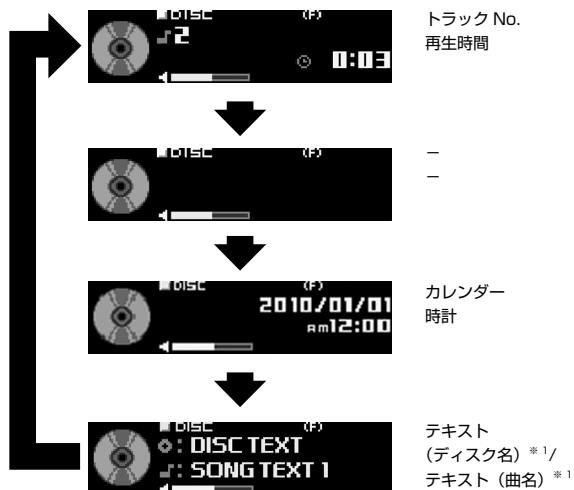
iPhone/iPod の曲を再生中は、タグ情報を表示させることができます。



を繰り返し押す

押すたびに表示モードが変わります。

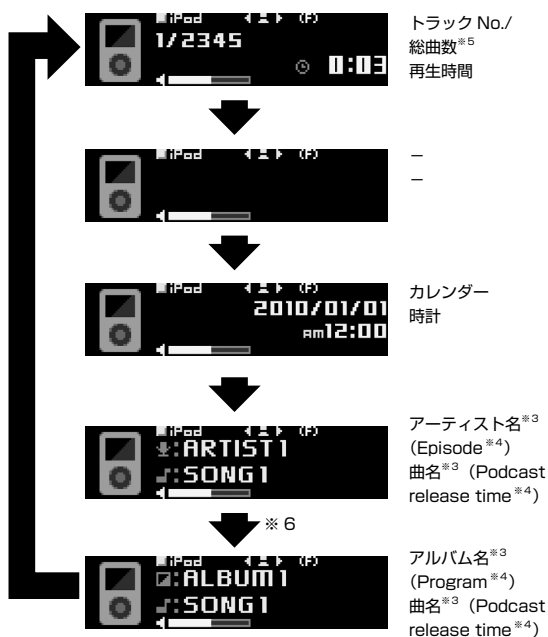
■ CD



■ MP3/WMA/AAC



■ iPhone/iPod



■ ラジオ



※ 1 CD テキストは 64 文字まで (64byte/1byte の場合) 表示できます。

※ 2 MP3/WMA/AAC ファイルにタグ情報が入っていれば、曲名、アルバム名、アーティスト名が表示されます。

MP3/AAC/WMA : 半角 35 文字 / 70byte まで (2byte の場合)
その他の情報や表示可能な文字数を越えた情報は表示されません。

※ 3 タグ表示

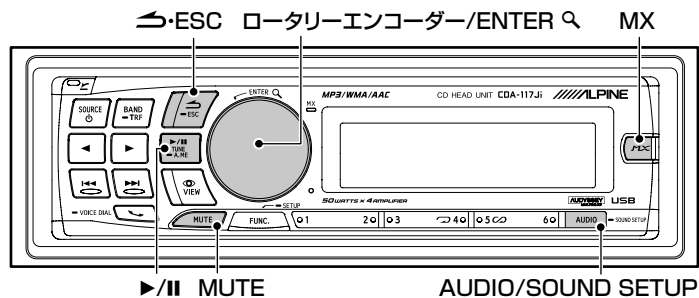
※ 4 Podcast 再生時

※ 5 総曲数はサーチ内容により異なります。

※ 6 「テキストスクロール設定 (Text Scroll)」 (48 ページ) が Auto に設定されている場合は、「VIEW」を押しても切りかわりません。アーティスト名とアルバム名を自動で交互に表示します。

■ Memo

- CD チェンジャーでテキスト表示するのは、CD-TEXT 対応の CD チェンジャーのみです。
- 「タグ」「ルートフォルダ」については「用語説明」(79 ページ) を参照してください。
- 表示可能な文字数を越えた情報は表示されません。
- 本機で表示できない文字情報の場合、<NO SUPPORT> と表示されます。
- CD テキスト/フォルダ名/ファイル名/タグ情報がない場合は、ブランク表示 (表示なし) になります。
- iTunes でアーティスト名、アルバム名、曲名を設定するときに、文字数が多くなると本機接続時に曲が再生されない場合があります。
250 文字以内に設定することをお勧めします。ただし、ヘッドユニットで表示可能な文字数は、128 文字 (128byte/1byte の場合) までとなります。
- 文字を正確に表示できない場合があります。
- プレイリスト名を表示させることはできません。
- ルートフォルダは、ブランク表示 (表示なし) になります。
- USB メモリ、MP3 チェンジャー接続時、ルートフォルダは <\ROOT> 表示になります。



一時的に音量を下げる (ミュート)

MUTE を押す

< Mute On >が表示し、瞬時に音量下がります。



● 解除するには

MUTE を押す

ミュートが解除されます。

60秒以内に操作

MX モードの設定

MX (Media Xpander) モードでは、FM ラジオ/CD/ iPhone/iPod など音楽モードごとにボーカルや各楽器の音を最適化し、走行騒音の多い車内においても音楽をクリアに再生することができます。

1 **MX** を押す

< Media Xpander >を表示させます。



2 **ENTER** を押す

3 **ENTER** を廻す

ON を選びます。



4 **ENTER** を押す

MX ON が決定されます。



5 **ENTER** を廻す

MX Level を選びます。

6 **ENTER** を押す

7 **ENTER** を廻す

現在聴いている音楽モードの MX レベルを選びます。

■ FM : Non Effect、MX レベル 1 ~ 3

こもりがちな中高域の音をよりクリアにし、全帯域にバランスのとれた音を再生します。

■ CD : Non Effect、MX レベル 1 ~ 3

情報量豊富な CD。その情報量を活かしたメリハリのある音を再生します。

■ CPM (MP3/WMA/AAC/iPhone/iPod) :

Non Effect、MX レベル 1 ~ 3

圧縮時に欠落された情報を補正し、原音に近いバランスのとれた音を再生します。

■ DVD (Video CD) : Non Effect、MOVIE (MX レベル 1 ~ 2)、DVD MUSIC

・ MOVIE (MX レベル 1 ~ 2) : 映画ディスクのセリフ部分をより鮮明に再生します。

・ DVD MUSIC : ミュージッククリップなどのディスクに対し、メリハリのある音を再生します。

■ AUX : Non Effect、CMPM、MOVIE、MUSIC

接続するメディアに対応した MX モード (CMPM、MUSIC、MOVIE) が選べます。

■ Memo

- ・ MX レベルで Non Effect を選んだ場合は、現在の音楽モードの MX 効果が OFF になります。
- ・ AM ラジオは MX を設定できません。
- ・ MX レベルは 1 → 3 の順に効果が大きくなります。

8 を押す

MX レベルが確定されます。

9 を 2 秒以上押す

通常モードに戻ります。

■ Memo

- ・ 「ディフェイト設定 (DEFEAT)」 (16 ページ) が ON のときは、操作を受け付けません。
- ・ MX モード設定中に「・ESC」を押すと、1 つ前の項目に戻ります。
- ・ MP3/WMA/CD-DA 混在ディスク再生時 MP3/WMA/AAC → CD-DA]、[CD-DA → MP3/WMA/AAC」に曲が切りかわったときは、MX モードの切りかえ処理のため、曲の演奏までに多少時間がかかることがあります。
- ・ MX 連動機能を持つオーディオプロセッサー製品 (PXA-H701 など) と組み合わせた場合、オーディオプロセッサー側の MX 内容と連動させることができます。その場合オーディオプロセッサー側での設定が必要になります。詳しくは、オーディオプロセッサー側の説明書をご覧ください。その他のオーディオプロセッサーと組み合わせた場合は、連動できません。

サウンド設定

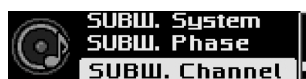
サウンドの設定項目からさまざまな設定を行い自分好みのサウンドを創り出すことができます。

1 - SOUND SETUP を 2 秒以上押す

サウンド設定モードになります。

2 を廻す

変更する設定項目を表示させます。



3 を押す

4 を廻す

変更する設定項目を表示させます。



設定項目 設定内容

5 を 2 秒以上押す

通常モードに戻ります。

● サウンド設定項目一覧

設定項目	初期設定 (出荷時の設定)	参照ページ
HPF ^{*1, 4}	OFF	36 ページ
Subwoofer	ON	36 ページ
SUBW. System ^{*2}	SYSTEM 1	36 ページ
SUBW. Phase ^{*2}	0°	36 ページ
SUBW. Channel ^{*2}	STEREO	36 ページ
EQ Mode ^{*4}	Parametric EQ	36 ページ
TCR Parameter	cm	36 ページ
Sound Field ^{*3}	—	37 ページ
Parametric EQ ^{*3, 4}	—	37 ページ
Graphic EQ ^{*3, 4}	—	38 ページ
T.Correction	—	39 ページ

※ 1 外部オーディオプロセッサー接続している場合は設定できません。

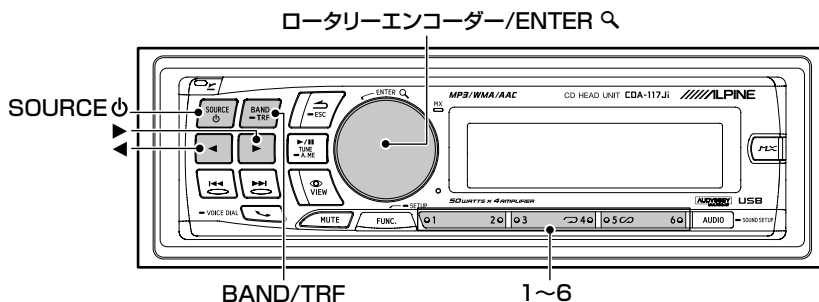
※ 2 Subwoofer の設定が OFF のときは設定できません。

※ 3 EQ Mode の設定によって調整内容が異なります。

※ 4 「ディフェイト設定 (DEFEAT)」 (16 ページ) が ON のときは設定できません。

■ Memo

- ・ 「・ESC」を押すと、1 つ前の項目に戻ります。



● HPF の設定

サブウーハーと組み合わせたとき、設定した周波数から下の音域をカットすることでサブウーハーとの音のつながりを調整することができます。

設定項目：HPF

設定内容：OFF（出荷時の設定） / 60 Hz / 80 Hz / 100 Hz

● サブウーハーの接続 (Subwoofer)

別売のサブウーハーを接続したときに設定します。

設定項目：Subwoofer

設定内容：ON（出荷時の設定） / OFF

ON : サブウーハー接続時に設定します。

OFF : サブウーハー未接続時に設定します。

● サブウーハーの設定 (SUBW. System)

別売のサブウーハーの効果を設定することができます。

設定項目：SUBW. System

設定内容：SYSTEM 1（出荷時の設定） / SYSTEM 2

SYSTEM 1：音量と連動してサブウーハー効果が得られます。

SYSTEM 2：音量が低くてもサブウーハー効果が得られます。

● サブウーハー出力の位相設定 (SUBW. Phase)

サブウーハー出力の位相（0° / 180°）を切りかえます。お好みの音が得られる方を選んでください。

設定項目：SUBW. Phase

設定内容：0°（出荷時の設定） / 180°

● サブウーハー出力の設定 (SUBW. Channel)

本機のサブウーハー出力をステレオ出力またはモノラル出力に設定することができます。組み合わせるサブウーハーに合わせて設定してください。

設定項目：SUBW. Channel

設定内容：STEREO（出荷時の設定） / MONO

STEREO：サブウーハー出力をステレオ（L / R）で出力します。

MONO : サブウーハー出力をモノラルで出力します。

● イコライザーモードの設定 (EQ Mode)

イコライザーモードを7バンドグラフィックイコライザーにするか5バンドパラメトリックイコライザーにするかを設定することができます。

設定項目：EQ Mode

設定内容：Parametric EQ（出荷時の設定） / Graphic EQ

Parametric EQ：5Band パラメトリックイコライザーが使えます。

Graphic EQ : 7Band グラフィックイコライザーが使えます。

● タイムコレクション調整単位の設定 (TCR Parameter)

タイムコレクションの時間補正值の単位を cm または inch に変更することができます。

設定項目：TCR Parameter

設定内容：cm（出荷時の設定） / inch

cm : タイムコレクションの時間補正值の単位が「cm」になります。

inch : タイムコレクションの時間補正值の単位が「inch」になります。

● パラメトリック EQ の調整と記憶

グラフィック EQ では隣接する帯域まで変化するため、ピーク（山）やディップ（谷）での急峻な特性の乱れをスポット的に補正するには限界があります。パラメトリック EQ は、中心周波数、Q（帯域幅）、レベルをそれぞれ調整できるので、狙った帯域だけを微妙に調整することができます。高度で本格的な補正、音創りを行うことができます。パラメトリック EQ を調整するには、イコライザーモードの設定（EQ Mode）を Parametric EQ にしてください。詳しくは「イコライザーモードの設定（EQ Mode）」（36 ページ）を参照してください。

設定項目：Sound Field → Parametric EQ

設定内容：バンド選択／レベル調整／周波数設定／バンド幅（Q）設定／調整内容の記憶／記憶内容の呼び出し

バンド選択

 を繰り返し押す

バンド（Band）を選びます。

設定内容：Band 1/Band 2/Band 3/Band 4/Band 5

レベル調整

 を廻す

各バンドのレベル（Level）を調整します。

設定内容：- 6 ~ +6

周波数設定

 または  を繰り返し押す

周波数（Freq）を選びます。

設定内容：Band 1 63Hz ~ 200Hz
Band 2 160Hz ~ 1KHz
Band 3 630Hz ~ 4kHz
Band 4 1.6kHz ~ 10kHz
Band 5 10kHz ~ 17.5kHz

■ Memo

- 調整する中バンドの周波数の最大値は、次バンドの設定値以上に設定することはできない、最小値は、前バンドの設定値以内に設定することはできません。

バンド幅（Q）設定

 を繰り返し押す

バンド幅（Q）を設定します。

設定内容：1/2/3/4

調整内容の記憶

すべてのバンドの調整が終了したら、調整した内容をプリセットボタンに記憶することができます。

1   、   、
  のいずれかを 2 秒以上
押す

< Protect >または< Replace >が表示されます。

Protect : 初めて記憶する場合または前回記憶したときに< Protect >で NO を選んで記憶させたプリセットボタンを選んだときに表示されます。

Replace : 前回記憶したとき< Protect >で YES を選んで記憶させたプリセットボタンを選んだときに表示されます。

2  を廻す

< YES >または< NO >を表示させます。

Protect の場合

YES : 設定を記憶します。記憶した内容にプロテクトがかかり、すでに記憶されている No. に記憶しようとするときと変更するかどうかを確認するために手順 1 で< Replace >が表示されます。

NO : 設定を記憶します。記憶した内容にプロテクトはかかりません。

Replace の場合

YES : すでに記憶されている内容を書きかえて記憶します。

NO : すでに記憶されている内容を書きかえません。

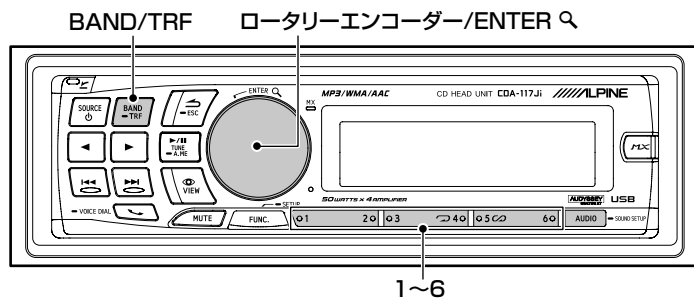


3  を押す

押された No. に調整した内容が記憶されます。

■ Memo

- 「ディフェート設定（DEFEAT）」（16 ページ）が ON のときは、操作を受け付けません。
- 調整は、接続したスピーカーの再生周波数帯域を考慮してください。



記憶した内容の呼び出し



のいずれかを押す

選択したプリセット No. を呼び出します。



● グラフィック EQ の調整と記憶

7 つに分割された帯域範囲内で、思いどおりのきめ細かいレベル調整が可能です。
グラフィック EQ を調整するには、イコライザーモードの設定 (EQ Mode) を Graphic EQ にしてください。詳しくは「イコライザーモードの設定 (EQ Mode)」(36 ページ) を参照してください。

設定項目：Sound Field → Graphic EQ

設定内容：バンド選択／レベル調整／調整内容の記憶／記憶した内容の呼び出し

バンド選択



バンド (Band) を選びます。

設定内容：Band 1(80Hz) / Band 2(250Hz) /
Band 3(500Hz) / Band 4(1kHz) /
Band 5(4kHz) / Band 6(8kHz) /
Band 7(16kHz)

レベル調整

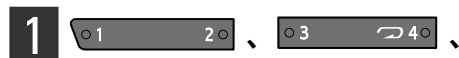


各バンドのレベル (Level) を調整します。

設定内容：- 6dB ~ +6dB

調整内容の記憶

すべてのバンドの調整が終了したら、調整した内容をプリセットボタンに記憶することができます。



のいずれかを 2 秒以上

押す

< Protect > または < Replace > が表示されます。

Protect : 初めて記憶する場合または前回記憶したときに < Protect > で NO を選んで記憶させたプリセットボタンを選んだときに表示されます。

Replace : 前回記憶したとき < Protect > で YES を選んで記憶させたプリセットボタンを選んだときに表示されます。



< YES > または < NO > を表示させます。

Protect の場合

YES : 設定を記憶します。記憶した内容にプロテクトがかかり、すでに記憶されている No. に記憶しようとするときに変更するかどうかを確認するために手順 1 で < Replace > が表示されます。

NO : 設定を記憶します。記憶した内容にプロテクトはかかりません。

Replace の場合

YES : すでに記憶されている内容を書きかえて記憶します。

NO : すでに記憶されている内容を書きかえません。



3 を押す

押された No. に調整した内容が記憶されます。

■ Memo

- 「ディフェイト設定 (DEFEAT)」 (16 ページ) が ON のときは、操作を受け付けません。

記憶した内容の呼び出し

、、

 のいずれかを押す

選択したプリセット No. を呼び出します。



● タイムコレクションの設定と記憶

お好みのリスニングポジションへの音の到達時間差を設定します。操作の前に「タイムコレクション (時間補正) について」 (40 ページ) を参照して、各スピーカーの距離を測定して設定します。

設定項目: Sound Field → T. Correction

設定内容: スピーカー選択 / 距離 (時間) 補正 / 調整内容の記憶 / 記憶内容の呼び出し

スピーカー選択

 を繰り返し押す

スピーカーを選びます。

設定内容: F-L (左前スピーカー) / F-R (右前スピーカー) / R-L (左後スピーカー) / R-R (右後スピーカー) / SW-L (サブウーハー左) / SW-R (サブウーハー右)

距離 (時間) 補正

 を廻す

各スピーカーの距離 (時間) 補正值 (0.0 ~ 336.6) を調整します。

設定内容: 0.0cm ~ 336.6cm

■ Memo

- すべてのスピーカーの総距離は、680cm (268.1inch) 以上に調整することはできません。

調整内容の記憶

すべてのスピーカーの調整が終了したら、調整した内容をプリセットボタンに記憶することができます。

1 、、

 のいずれかを 2 秒以上押す

< Protect > または < Replace > が表示されます。

Protect : 初めて記憶する場合または前回記憶したときに < Protect > で NO を選んで記憶させたプリセットボタンを選んだときに表示されます。

Replace : 前回記憶したとき < Protect > で YES を選んで記憶させたプリセットボタンを選んだときに表示されます。

2  を廻す

< YES > または < NO > を表示させます。

Protect の場合

YES : 設定を記憶します。記憶した内容にプロテクトがかかり、すでに記憶されている No. に記憶しようとするときに変更するかどうかを確認するために手順 1 で < Replace > が表示されます。

NO : 設定を記憶します。記憶した内容にプロテクトはかかりません。

Replace の場合

YES : すでに記憶されている内容を書きかえて記憶します。

NO : すでに記憶されている内容を書きかえません。



3  を押す

押された No. に調整した内容が記憶されます。

記憶内容の呼び出し

、、

 のいずれかを押す

選択したプリセット No. を呼び出します。



タイムコレクション (時間補正) について

車という特殊な条件下であるため、リスニングポジションとそれぞれのスピーカーの距離に大きなばらつきがあります。リスニングポジションでの時間差を取り除くときにこの機能を使います。ここでは、時間補正値の算出方法について説明します。

1 リスニングポジション（運転席など）に座り、頭の位置と各スピーカーの距離（m）を測定する。

2 一番遠いスピーカーの距離とその他のスピーカーの距離の差を算出する。

$L = (\text{一番遠いスピーカーの距離}) - (\text{それぞれのスピーカーの距離})$

■具体例

右記イラストのフロント右側スピーカーの時間補正値を算出する。

(条件)：

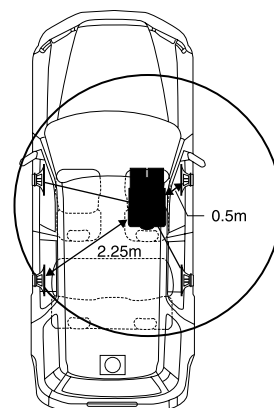
一番遠いスピーカー～リスニングポジション：2.25m

フロント右側スピーカー～リスニングポジション：0.5m

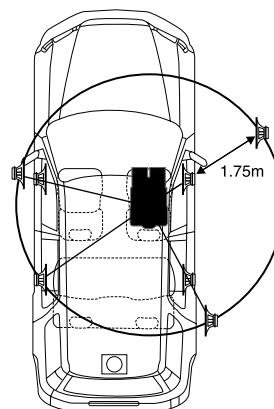
(算出)：

$L = 2.25\text{m} - 0.5\text{m} = 1.75\text{m}$

つまり、フロント右側スピーカーへ見かけの距離を持たせることで、一番遠いスピーカーと距離を一致させる。



リスニングポジションと各スピーカーまでの距離が違うために偏った音になる。右前スピーカーと左後スピーカーでは 1.75m の差がある。



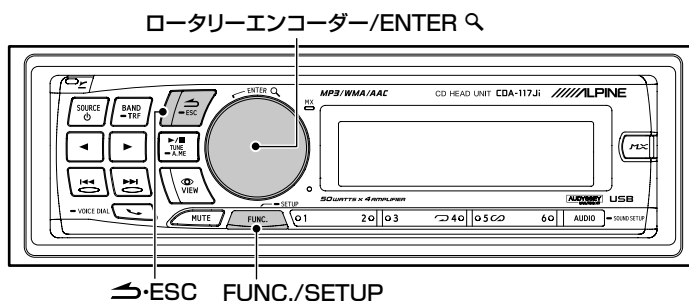
時間補正により到達時間差が解消される。

右前スピーカーに 1.75m の距離（時間）補正を行い、リスニングポイントとスピーカーまでの距離の整合をとることができる。

■時間差表

STEP 数	時間補正 (ms)	距離 (cm)	距離 (inch)	STEP 数	時間補正 (ms)	距離 (cm)	距離 (inch)
0	0.0	0.0	0.0	50	5.0	170.0	67.0
1	0.1	3.4	1.3	51	5.1	173.4	68.3
2	0.2	6.8	2.7	52	5.2	176.8	69.7
3	0.3	10.2	4.0	53	5.3	180.2	71.0
4	0.4	13.6	5.4	54	5.4	183.6	72.4
5	0.5	17.0	6.7	55	5.5	187.0	73.7
6	0.6	20.4	8.0	56	5.6	190.4	75.0
7	0.7	23.8	9.4	57	5.7	193.8	76.4
8	0.8	27.2	10.7	58	5.8	197.2	77.7
9	0.9	30.6	12.1	59	5.9	200.6	79.1
10	1.0	34.0	13.4	60	6.0	204.0	80.4
11	1.1	37.4	14.7	61	6.1	207.4	81.7
12	1.2	40.8	16.1	62	6.2	210.8	83.1
13	1.3	44.2	17.4	63	6.3	214.2	84.4
14	1.4	47.6	18.8	64	6.4	217.6	85.8
15	1.5	51.0	20.1	65	6.5	221.0	87.1
16	1.6	54.4	21.4	66	6.6	224.4	88.4
17	1.7	57.8	22.8	67	6.7	227.8	89.8
18	1.8	61.2	24.1	68	6.8	231.2	91.1
19	1.9	64.6	25.5	69	6.9	234.6	92.5
20	2.0	68.0	26.8	70	7.0	238.0	93.8
21	2.1	71.4	28.1	71	7.1	241.4	95.1
22	2.2	74.8	29.5	72	7.2	244.8	96.5
23	2.3	78.2	30.8	73	7.3	248.2	97.8
24	2.4	81.6	32.2	74	7.4	251.6	99.2
25	2.5	85.0	33.5	75	7.5	255.0	100.5
26	2.6	88.4	34.8	76	7.6	258.4	101.8
27	2.7	91.8	36.2	77	7.7	261.8	103.2
28	2.8	95.2	37.5	78	7.8	265.2	104.5
29	2.9	98.6	38.9	79	7.9	268.6	105.9
30	3.0	102.0	40.2	80	8.0	272.0	107.2
31	3.1	105.4	41.5	81	8.1	275.4	108.5
32	3.2	108.8	42.9	82	8.2	278.8	109.9
33	3.3	112.2	44.2	83	8.3	282.2	111.2
34	3.4	115.6	45.6	84	8.4	285.6	112.6
35	3.5	119.0	46.9	85	8.5	289.0	113.9
36	3.6	122.4	48.2	86	8.6	292.4	115.2
37	3.7	125.8	49.6	87	8.7	295.8	116.6
38	3.8	129.2	50.9	88	8.8	299.2	117.9
39	3.9	132.6	52.3	89	8.9	302.6	119.3
40	4.0	136.0	53.6	90	9.0	306.0	120.6
41	4.1	139.4	54.9	91	9.1	309.4	121.9
42	4.2	142.8	56.3	92	9.2	312.8	123.3
43	4.3	146.2	57.6	93	9.3	316.2	124.6
44	4.4	149.6	59.0	94	9.4	319.6	126.0
45	4.5	153.0	60.3	95	9.5	323.0	127.3
46	4.6	156.4	61.6	96	9.6	326.4	128.6
47	4.7	159.8	63.0	97	9.7	329.8	130.0
48	4.8	163.2	64.3	98	9.8	333.2	131.3
49	4.9	166.6	65.7	99	9.9	336.6	132.7

SETUP (セッアップ)



60秒以内に操作

セッアップ (SETUP) する

本機には、さまざまなセッアップ (SETUP) 機能が用意されています。自分好みの設定に変更してお使いください。

1  を 2 秒以上押す

SETUP モードになります。

2  を廻す

変更する設定項目を選びます。
Bluetooth / General / Display / Tuner



3  を押す

4  を廻す

変更する設定項目を表示させます。



5  を押す

6  を廻す

変更する設定項目を表示させます。



設定項目 設定内容

7  を 2 秒以上押す

元のモードに戻ります。

● 設定項目一覧

設定項目	初期設定値（出荷時の設定）	参照ページ
Bluetooth		
Bluetooth IN ^{*1}	OFF	43 ページ
General		
Birthday Set	01（月）／01（日）	43 ページ
Clock Mode	AM 12:00（12HOUR）	44 ページ
Clock Adjust ^{*2}	2009（年）／11（月）／01（日）／AM12（時）／00（分）	15 ページ
Calendar	yyyy/mm/dd	44 ページ
Play Mode	CD-DA	44 ページ
Beep	ON	44 ページ
INT Mute ^{*3}	OFF	45 ページ
AUX+ Setup	OFF	45 ページ
AUX IN GAIN ^{*4}	Low	45 ページ
Digital AUX	OFF	45 ページ
AUX IN	OFF	46 ページ
Power IC	ON	47 ページ
Demo	OFF	47 ページ
Display		
Illumination	TYPE1	47 ページ
Dimmer	Auto	47 ページ
Dimmer Level	Lev1	47 ページ
Scroll Type	TYPE1	48 ページ
Text Scroll	Manual	48 ページ
Font Select	TYPE1	48 ページ
BGV Select	OFF	48 ページ
Opening MSG	OFF	48 ページ
Tuner		
FM Tuner Set	Normal	48 ページ

- ※ 1 INT Mute 設定が ON のときは設定できません。
Bluetooth 設定について、詳しくは別売の BLUETOOTH INTERFACE (KCE-400BT) の説明書を参照してください。
- ※ 2 Clock Adjust については、「カレンダー／時計を調整する (Clock Adjust)」(15 ページ) を参照してください。
- ※ 3 Bluetooth IN 設定が ADAPTER の時は設定できません。
- ※ 4 AUX+ Setup が ON 時のみ調整することができます。

■ Memo

- セッアップ中に「・ESC」を押すと、1 つ前の項目に戻ります。
- リセットしたときやバッテリー電源コードをはずした場合、一部の項目で設定した内容が初期設定値（出荷時の設定）に戻ります。

BLUETOOTH

● BLUETOOTH 接続設定 (Bluetooth IN)

別売の BLUETOOTH INTERFACE (KCE-400BT) と組み合わせると、BLUETOOTH 搭載携帯電話でハンズフリー通話ができます。

この設定は、別売の BLUETOOTH INTERFACE (KCE-400BT) を接続して BLUETOOTH 機能を使用するときに設定します。BLUETOOTH 操作について、詳しくは別売の BLUETOOTH INTERFACE (KCE-400BT) の説明書を参照してください。

設定項目：Bluetooth IN

設定内容：ADAPTER/ OFF（出荷時の設定）

ADAPTER ：BLUETOOTH 機能が使用できます。
OFF ：BLUETOOTH 機能は使用できません。

■ Memo

- INT Mute が ON に設定されていると BLUETOOTH 設定を行うことはできません。別売の BLUETOOTH INTERFACE (KCE-400BT) 接続時は、INT Mute を OFF に設定してください。（「外部割り込みモードの設定 (INT Mute)」45 ページ参照）。

General

● 誕生日のオープニングメッセージ設定 (Birthday Set)

お客様の誕生日を設定するとその日がオープニングメッセージとして設定されます。

設定項目：Birthday Set

< Birthday Set > を選択した後、続いて以下の操作で誕生日の月日を設定してください。

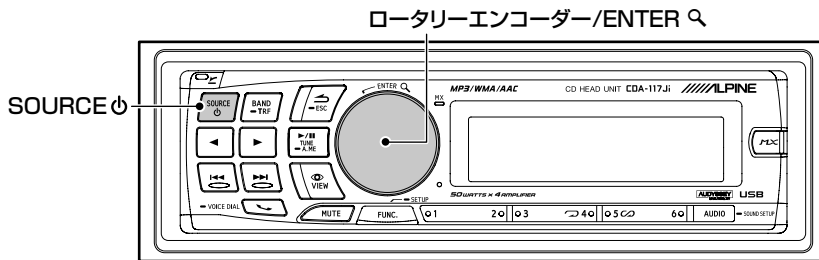
1 を廻す

「月」を調整します。



次ページに続く→

SETUP (セッアップ)



2 を押す

「月」が確定し、<日>の表示が点滅します。



3 を廻す

「日」を調整します。

■ Memo

- ここで設定した誕生日は、「オープニングメッセージの ON/OFF (Opening MSG)」(48 ページ) を ON に設定した場合に表示されます。

● 時刻表示の設定 (Clock Mode)

時刻表示のタイプを設定することができます。

設定項目: Clock Mode

設定内容: AM 12:00 (12HOUR) (出荷時の設定) / 00:00 (24HOUR)

AM 12:00 (例): 12 時間表示になります。

00:00 (例): 24 時間表示になります。

● カレンダー表示パターンの設定 (Calendar)

カレンダーの表示パターンをお好みに合わせ切りかえることができます。

カレンダー日付設定については「カレンダー／時計を調整する (Clock Adjust)」(15 ページ) を参照してください。

設定項目: Calendar

設定内容: dd/mm/yyyy
yyyy/mm/dd (出荷時の設定)
mm/dd/yyyy

dd/mm/yyyy : 日 / 月 / 年の順で表示されます。

yyyy/mm/dd : 年 / 月 / 日の順で表示されます。

mm/dd/yyyy : 月 / 日 / 年の順で表示されます。

● MP3/WMA/AAC 再生データ設定 (Play Mode)

Enhanced CD (CD Extra) 形式で作成されたディスク (同じディスクにオーディオデータ (CD-DA) と MP3/WMA/AAC データが混在するディスク) の場合、オーディオデータのみを再生するか、オーディオデータと MP3/WMA/AAC の両方とも再生するかを設定することができます。

■ Memo

- この設定は、ディスクを挿入する前に行ってください。既にディスクが挿入されているときは、ディスクを取り出してから設定してください。(MP3 チェンジャーの場合、ディスクチェンジを行ってください。)

設定項目: Play Mode

設定内容: CD-DA (出荷時の設定) / CDDA&MP3/WMA

CD-DA : オーディオデータのみを再生できます。

CDDA&MP3/WMA : オーディオデータと MP3/WMA/AAC 両方を再生できます。

● 操作音設定 (Beep)

ボタンを押したときに操作音を鳴らして、操作を受け付けたことを伝えます。

設定項目: Beep

設定内容: ON (出荷時の設定) / OFF

ON : ボタンを押したときに操作音が鳴ります。

OFF : ボタンを押したときに操作音が鳴りません。

● 外部割り込みモードの設定 (INT Mute)

別売の Ai 割り込み BOX (NVE-K200) /Versatile Link Terminal (KCA-410C) /Ai-RCA 変換ケーブル (KCA-121B) などと組み合わせると、音楽 CD 再生対応ナビゲーションでの CD 音声やテレビの音声を本機に割り込ませることができます。組み合わせる製品によっては、利用できない場合があります。詳しくは組み合わせる製品の説明書を参照してください。

設定項目: INT Mute

設定内容: ON/OFF (出荷時の設定)

- 音声認識対応のナビゲーションなどのミュートコードと接続した際に ON に設定します。(本機の音量がミュートします。)
- BLUETOOTH INTERFACE (KCE-400BT) と組み合わせる場合、設定は OFF (出荷時の設定) となりますので、設定変更の必要はありません。

■ Memo

- 組み合わせる製品によっては、利用できない場合があります。詳しくは、組み合わせる製品の説明書を参照してください。
- Bluetooth IN が ADAPTER に設定されていると、本設定を行うことはできません。(「BLUETOOTH 接続設定 (Bluetooth IN)」43 ページ参照)

● 外部入力の設定 (AUX+ Setup)

別売の KCE-237B (3.5 φミニジャック変換ケーブル) を BLUETOOTH インターフェイス接続コネクタへ接続することで、ポータブルプレーヤーなどを本機に入力させることができます。

設定項目: AUX+ Setup

設定内容: OFF (出荷時の設定) /ON

■ Memo

- ON に設定後、「SOURCE」を押して、AUX+ モードを選び、音量などを調整します。
- OFF に設定後、AUX+ モードを選ぶできません。

AUX+ Setup を ON に設定した場合は、続いて以下の操作で外部入力製品名の表示名を選択してください。

1 ● を廻す

< AUX+ Name > を選びます。



2 ● を押す

3 ● を廻す

外部入力製品の表示名を「Auxiliary」、「TV」、「DVD」、「Portable」、「Game」から選びます。

● 外部入力音声レベルの調整 (AUX IN GAIN)

AUX+ Setup を ON に設定した場合に外部入力音声レベルの調整を行うことができます。

外部入力音声が歪む場合には LOW に設定してください。

設定項目: AUX IN GAIN

設定内容: High/Low (出荷時の設定)

High : 外部入力の音声レベルを大きめに設定する。

Low : 外部入力の音声レベルを小さめに設定する。

● 光デジタル対応オーディオプロセッサと Ai-NET 非対応 DVD プレーヤーの接続 (Digital AUX)

Ai-NET 非対応 DVD プレーヤー (DVE-5207 など) と Ai-NET 対応デジタルオーディオプロセッサ (PXA-H701 など) を接続した場合に設定します。ON に設定すると 5.1ch ドルビーデジタル音声で再生することができます。

設定項目: Digital AUX

設定内容: ON/OFF (出荷時の設定)

Digital AUX を ON に設定した場合は、続いて以下の操作でデジタル外部入力製品名の表示を選択してください。

1 ● を廻す

「D.AUX Name」を選びます。



2 ● を押す

3 ● を廻す

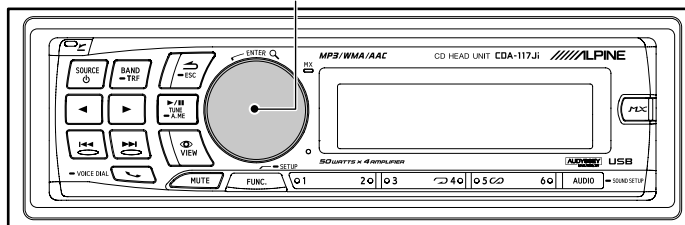
外部入力製品の表示名を「Auxiliary」、「TV」、「DVD」、「Portable」、「Game」から選びます。

■ Memo

- 設定終了後、一度イグニッションキーを OFF にしてから再度 ACC または ON にしてください。光デジタル入力切りかえの設定が確定されます。
- 接続する外部オーディオプロセッサによっては、他のソースに切りかえても DVD プレーヤーの音が出たままになります。その場合は DVD プレーヤーの電源を OFF にしてください。
- ON に設定後、「SOURCE」を押して、D.AUX (デジタル外部入力) モードを選び、音量などを調整します。

SETUP (セッアップ)

ロータリーエンコーダー/ENTER



● 外部入力の設定 (AUX IN)

別売の Ai-RCA 変換ケーブル (KCA-121B) と組み合わせると、RCA 音声出力を持つテレビやビデオを本機に入力させることができます。

設定項目：AUX IN

設定内容：OFF (出荷時の設定) /ON

AUX IN を ON に設定した場合は、続いて以下の操作で外部入力製品の表示名を選択してください。

1 を廻す

< AUX Name > を選びます。



2 を押す

3 を廻す

外部入力製品の表示名を「Auxiliary」、「TV」、「DVD」、「Portable」、「Game」から選びます。

● 外部入力の設定 (Versatile Link Terminal (KCA-410C) 接続時) (AUX IN)

別売の Versatile Link Terminal (KCA-410C) と組み合わせると、RCA 音声出力を持つテレビやビデオを2台まで本機に音声を入力させることができます。

設定項目：AUX IN

設定内容：OFF (出荷時の設定) /ON

AUX IN を ON に設定した場合は、続いて以下の操作で外部入力製品の表示名を選択してください。

1 を廻す

「AUX1 Name」または「AUX2 Name」を選びます。



2 を押す

3 を廻す

外部入力製品の表示名を「Auxiliary」、「TV」、「DVD」、「Portable」、「Game」から選びます。

● 外部アンプの接続 (Power IC)

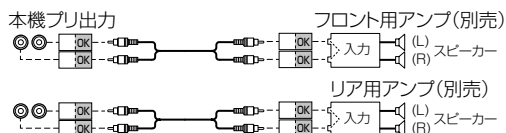
外部アンプを接続するときは、内蔵アンプの供給電源を止めることで、音質を更に高めることができます。そのときは OFF にしてください。

設定項目：Power IC

設定内容：ON (出荷時の設定) /OFF

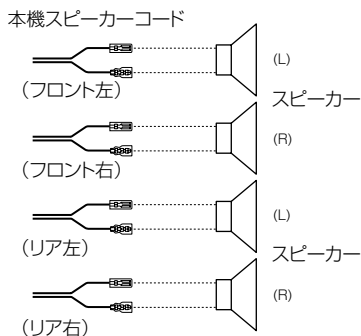
Power IC OFF：

本機のフロント／リア出力と外部アンプをつないで、スピーカーを駆動するときに設定します。このとき、本機のスピーカーコードからは出力されません。



Power IC ON：

内蔵アンプでスピーカーを駆動するときに設定します。



このシステムで OFF に設定すると音は出ません。

■ Memo

- サブウーハー用外部アンプのみ接続する場合は、ON に設定してください。
- 「別売の IMPRINT オーディオプロセッサ (PXA-H100) 接続時、X-OVER 切りかえスイッチ「FRONT/REAR/SUBW. / 3WAY」の設定によって、スピーカーへの接続方法が異なります。詳しくは別売の IMPRINT オーディオプロセッサ (PXA-H100) の取扱説明書を参照してください。

● デモンストレーション機能(Demo)

本機には、表示の演出のみの動作をディスプレイに表示させるデモンストレーション機能が用意されています。

設定項目：Demo

設定内容：ON/OFF (出荷時の設定)

■ Memo

- デモンストレーションをご使用になったら、必ず OFF に設定して解除してください。

Display

● 照光ボタンの色設定 (Illumination)

照光ボタンの色を切りかえることができます。

設定項目：Illumination

設定内容：TYPE1 (出荷時の設定) /TYPE2/TYPE3/TYPE4/TYPE5

TYPE1：青色 (照光ボタン) / 青色 (その他)

TYPE2：緑色 (照光ボタン) / 青色 (その他)

TYPE3：青色 (照光ボタン) / 赤色 (その他)

TYPE4：橙色 (照光ボタン) / 赤色 (その他)

TYPE5：赤色 (照光ボタン) / 赤色 (その他)

● ディスプレイの明るさ調整 (Dimmer)

ヘッドライト点灯に合わせて、ディスプレイの明るさを変更できます。夜間、照光ボタンやディスプレイが明るすぎる場合には Auto にすることをお勧めします。

設定項目：Dimmer

設定内容：Auto (出荷時の設定) /Manual

Auto：ヘッドライトを点灯すると、照光ボタン／ディスプレイが減光します。

Manual：ヘッドライトを点灯しても照光ボタン／ディスプレイは減光しません。

■ Memo

- 本機のイルミネーションコードを接続していない場合は、動作しません。

● ディスプレイの明るさレベルを調整する (Dimmer Level)

本機は、ディスプレイと照光ボタンの明るさを調整することができます。例えば、夜間走行時に画面の明るさを調整するときなどに使います。

Lev1 → Lev3 の順に、ディスプレイとボタンの明るさは暗くなります。

設定項目：Dimmer Level

設定内容：Lev1 (出荷時の設定) /Lev2/Lev3

SETUP (セッアップ)

● スクロールタイプ設定 (Scroll Type)

テキスト情報やタグ情報などを表示させたときのスクロールタイプを設定できます。

設定項目：Scroll Type

設定内容：TYPE1 (出荷時の設定) /TYPE2

TYPE1：ディスプレイ右側から次々と文字が表示され、スクロールする。

TYPE2：ディスプレイ左側から1文字ずつ表示され、1画面分表示されたら左側から1文字ずつスクロールして消える。

● テキストスクロール設定 (Text Scroll)

タイトルやテキスト情報、タグ情報などを表示させたときのスクロールタイプを設定できます。

設定項目：Text Scroll

設定内容：Manual (出荷時の設定) /Auto

Manual：最初の一度だけスクロールします。

Auto：繰り返しスクロールします。

● フォント設定 (Font Select)

ディスプレイに表示する文字のタイプを設定できます。

設定項目：Font Select

設定内容：TYPE1 (出荷時の設定) /TYPE2

● 動画表示の設定 (BGV Select)

ディスプレイの背景に表示される動画表示部分をお好みに合わせ4タイプより選ぶことができます。

設定項目：BGV Select

設定内容：OFF (出荷時の設定) /TYPE1 /TYPE2 /TYPE3 /TYPE4

● オープニングメッセージの ON/OFF (Opening MSG)

本機には、いくつかのオープニングメッセージが用意されています。例えば、オープニングメッセージをONにした場合、本機の日付が12月25日のときに本機の電源をONにすると、クリスマス用のオープニングメッセージが表示されます。

カレンダー日付設定については「カレンダー／時計を調整する (Clock Adjust)」(15 ページ) を参照してください。

設定項目：Opening MSG

設定内容：ON/OFF (出荷時の設定)

Tuner

● TUNER(FM) 音質設定 (FM Tuner Set)

FM ラジオの音質を設定することができます。

設定項目：FM Tuner Set

設定内容：Normal(出荷時の設定)/ HiFi / Stable

Normal：標準設定

HiFi：音質重視設定

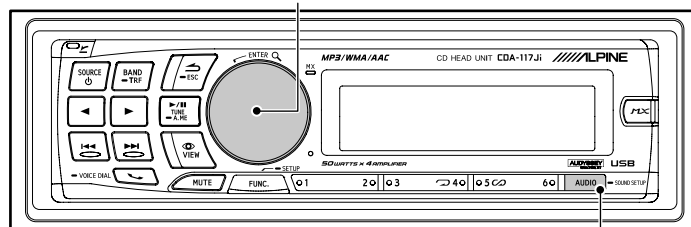
Stable：ノイズを抑えた設定

■ Memo

- HiFi 設定を使用の際、受信状態によってはノイズが目立つ場合があります。この様なときには Normal 設定での使用をお勧めします。

IMPRINT (オプション)

ロータリーエンコーダー/ENTER



AUDIO/SOUND SETUP

IMPRINT 操作

別売の IMPRINT オーディオプロセッサー (PXA-H100) と組み合わせることで、車内の最適音響空間を創り出すことができます。

MultEQ の ON/OFF

MultEQ とは、Audyssey 社が開発した Automatic Room Correction (自動室内音響補正) テクノロジーです。車室内の音響を自動測定したデータをもとに、どの座席においても最適な音響効果を得ることができるシステムです。MultEQ を使用するには、事前に車室内の音響測定が必要になります。詳しくは、お買い上げ店にお問合せください。

1 AUDIO を 2 秒以上押す

サウンド調整モードになります。

2 を廻し、MultEQ Mode を選ぶ

3 を押す

4 を廻す

MultEQ モードを選びます。

Curve 1 / Curve 2 / OFF

(MultEQ ON)

(MANUAL モード)

5 を押す

設定内容が決定されます。

6 を 2 秒以上押す

元のモードになります。

Memo

- MultEQ を ON にすると、MX、X-OVER、タイムコレクション、User's EQ、パラメトリック EQ、グラフィック EQ は自動的に設定され、調整できません。

5秒以内に操作

サブウーハー／バス／トレブル／フェダー／バランス／BLACK OUT／ディフィート／音量を調整する

MultEQ が OFF (MANUAL モード) に設定されているときは調整できません。

1 AUDIO を繰り返し押す

調整したいモードを選びます。

SUBWOOFER LEVEL/BASS LEVEL/TREBLE LEVEL/BALANCE/FADER/BLACK OUT/DEFEAT/VOLUME

2 を廻す

好みのレベルに調整します。

SUBWOOFER LEVEL :

サブウーハー出力を調整します。

設定内容 : 00 ~ 15 (出荷時の設定 : 00)

Memo

- 「サブウーハーの接続 (Subwoofer)」(52 ページ) の設定が OFF に設定されている場合は、調整できません。

BASS LEVEL :

低音域を強めたり、弱めたりします。

設定内容 : - 7 ~ + 7 (出荷時の設定 : 0)

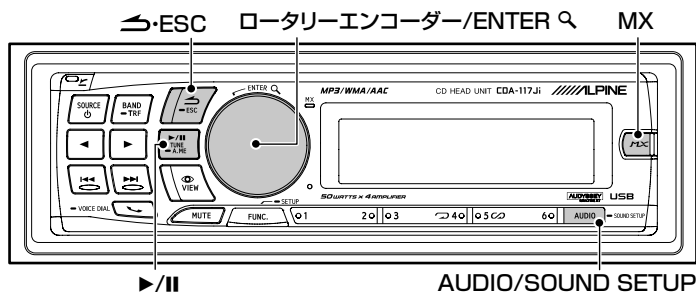
TREBLE LEVEL :

高音域を強めたり、弱めたりします。

設定内容 : - 7 ~ + 7 (出荷時の設定 : 0)

次ページに続く→

IMPRINT (オプション)



FADER :

前後のスピーカー音量を調整します。

設定内容： - 15 (R) ~ 15 (F) (出荷時の設定：0)

Memo

- IMPRINT オーディオプロセッサ (PXA-H100) 側の X-OVER 切り替えスイッチ「FRONT/REAR/SUBW. / 3WAY」が 3WAY に設定している場合、フェダー調整はできません。

BALANCE :

左右のスピーカー音量を調整します。

設定内容： - 15 (L) ~ 15 (R) (出荷時の設定：0)

BLACK OUT :

ディスプレイ表示部を OFF にします。(BLACK OUT 機能)
ディスプレイ表示部を消灯することで、より良い高音質を実現させることができます。

設定内容： ON/OFF (出荷時の設定：OFF)

Memo

- ディスプレイ表示部が消灯しているときに他のスイッチ操作を行った場合、ディスプレイ表示部を 5 秒間だけ点灯させ、再び消灯させます。

DEFEAT :

ON に設定するとバス / トレブル / EQ を初期値、MX を OFF に戻します。

設定内容： ON/OFF (出荷時の設定：OFF)

VOLUME :

音量を調整できます。

設定内容： 00 ~ 35 (出荷の設定：12)

3 を 2 秒以上押す

元のモードに戻ります。

MX モードの設定

60秒以内に操作

MX (Media Xpander) モードでは、FM ラジオ / CD / iPhone/iPod など音楽モードごとにボーカルや各楽器の音を最適化し、走行騒音の多い車内においても音楽をクリアに再生することができます。

1 を押す

< Media Xpander > を表示させます。



2 を押す

3 を廻す

ON を選びます。



4 を押す

MX ON が決定されます。



5 を廻す

MX Level を選びます。

6 を押す

7 を廻す

現在聴いている音楽モードの MX レベルを選びます。

■ FM : Non Effect、MX レベル 1 ~ 3

こもりがちな中高域の音をよりクリアにし、全帯域にバランスのとれた音を再生します。

■ CD : Non Effect、MX レベル 1 ~ 3

情報量豊富な CD。その情報量を活かしたメリハリのある音を再生します。

■ CPM (MP3/WMA/AAC/iPhone/iPod) :

Non Effect、MX レベル 1 ~ 3

圧縮時に欠落された情報を補正し、原音に近いバランスのとれた音を再生します。

■ DVD (Video CD) : Non Effect、MOVIE (MX レベル 1 ~ 2)、DVD MUSIC

・ MOVIE (MX レベル 1 ~ 2) : 映画ディスクのセリフ部分をより鮮明に再生します。

・ DVD MUSIC : ミュージッククリップなどのディスクに対し、メリハリのある音を再生します。

■ AUX : Non Effect、CPM、MOVIE、MUSIC

接続するメディアに対応した MX モード (CPM、MUSIC、MOVIE) が選べます。

■ Memo

- ・ MX レベルで Non Effect を選んだ場合は、現在の音楽モードの MX 効果が OFF になります。
- ・ AM ラジオは MX を設定できません。
- ・ MX レベルは 1 → 3 の順に効果が大きくなります。

8 を押す

MX レベルが確定されます。

9 を 2 秒以上押す

通常モードに戻ります。

■ Memo

- ・ 「ディフィート設定 (DEFEAT)」 (50 ページ) が ON のときは、操作を受け付けません。
- ・ MultEQ が ON の場合は、MX モードの設定はできません。詳しくは、「MultEQ の ON/OFF」 (49 ページ) を参照してください。
- ・ MX モード設定中に「・ESC」を押すと、1 つ前の項目に戻ります。
- ・ MP3/WMA/CD-DA 混在ディスク再生時
MP3/WMA/AAC → CD-DA、「CD-DA → MP3/WMA/AAC」に曲が切りかわったときは、MX モードの切りかえ処理のため、曲の演奏までに多少時間がかかることがあります。
- ・ MX 連動機能を持つオーディオプロセッサ製品 (PXA-H701 など) と組み合わせた場合、オーディオプロセッサ側の MX 内容と連動させることができます。その場合オーディオプロセッサ側での設定が必要になります。詳しくは、オーディオプロセッサ側の説明書をご覧ください。その他のオーディオプロセッサと組み合わせた場合は、連動できません。

サウンド調整 (マニュアルモード)

MultEQ をマニュアルモードに設定した場合、さまざまな設定/調整を行い自分好みのサウンドを創り出すことができます。

MultEQ が ON に設定しているときは調整できません。

1 - SOUND SETUP を 2 秒以上押す

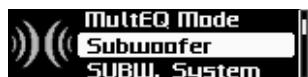
サウンド調整モードになります。

2 を廻す

設定/調整する項目を表示させます。

サウンド調整項目一覧も参照してください。

MultEQ Mode/Subwoofer/SUBW. System/SUBW. Phase/SUBW. Channel/Factory's EQ/TW Setup/Filter Type/EQ Mode/TCR Parameter/Sound Field



3 を押す

■ Memo

- ・ Sound Field を選択した場合は、再度、手順 2、3 を繰り返します。

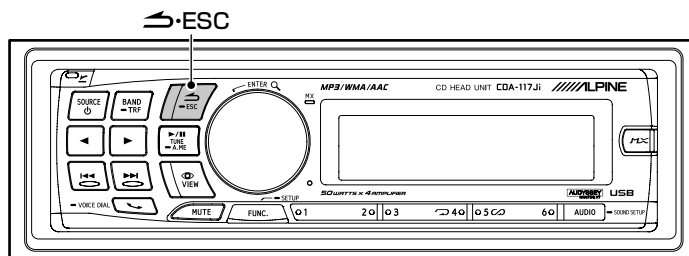
4 を廻す

設定/調整内容の表示がきりかわります。



5 を 2 秒以上押す

元のモードに戻ります。



● サウンド調整項目一覧

設定項目	初期設定 (出荷時の設定)	参照ページ
MultEQ Mode	—	49 ページ
Subwoofer	ON	52 ページ
SUBW. System ^{*1}	System 1	52 ページ
SUBW. Phase ^{*1}	PHASE 0°	52 ページ
SUBW. Channel ^{*1}	STEREO	52 ページ
Factory's EQ ^{*4}	Flat	53 ページ
TW Setup ^{*2}	FACTORY'S	53 ページ
Filter Type	NORMAL	53 ページ
EQ Mode ^{*4}	Parametric EQ	53 ページ
TCR Parameter	cm	53 ページ
Sound Field ^{*3}	—	54 ページ
Parametric EQ ^{*3, 4}	—	54 ページ
Graphic EQ ^{*3, 4}	—	55 ページ
T.Correction	—	56 ページ
X-Over	—	58 ページ

※ 1 Subwoofer の設定が OFF のときは設定できません。

※ 2 IMPRINT オーディオプロセッサー (PXA-H100) 側の X-OVER 切りかえスイッチ「FRONT/REAR/SUBW./3WAY」が 3WAY に設定されている場合のみ、TW Setup モードを選択することができます。

※ 3 EQ Mode の設定によって調整内容が異なります。

※ 4 「ディフェルト設定 (DEFEAT)」(50 ページ) が ON のときは設定できません。

■ Memo

- 「ESC」を押すと、1つ前の項目に戻ります。

● サブウーハーの接続 (Subwoofer)

別売のサブウーハーを接続したときに設定します。

設定項目：Subwoofer

設定内容：ON (出荷時の設定) / OFF

ON : サブウーハー接続時に設定します。

OFF : サブウーハー未接続時に設定します。

● サブウーハーの設定 (SUBW. System)

別売のサブウーハーの効果を設定することができます。

設定項目：SUBW. System

設定内容：System1 (出荷時の設定) / System 2

System 1 : 音量と連動してサブウーハー効果が得られます。

System 2 : 音量が低くてもサブウーハー効果が得られます。

● サブウーハー出力の位相設定 (SUBW. Phase)

サブウーハー出力の位相 (0° / 180°) を切りかえます。お好みの音を得られる方を選んでください。

設定項目：SUBW. Phase

設定内容：PHASE 0° (出荷時の設定) / PHASE 180°

● サブウーハー出力の設定 (SUBW. Channel)

本機のサブウーハー出力をステレオ出力またはモノラル出力に設定することができます。組み合わせるサブウーハーに合わせて設定してください。

設定項目：SUBW. Channel

設定内容：STEREO (出荷時の設定) / MONO

STEREO : サブウーハー出力をステレオ (L / R) で出力します。

MONO : サブウーハー出力をモノラルで出力します。

● イコライザー特性（メーカー設定）を選ぶ（Factory's EQ）

あらかじめ設定されているイコライザー特性を選択し、好みの音質に設定することができます。

設定項目：Factory's EQ

設定内容：Flat（出荷時の設定）/Pops/Rock/News/Jazz&Blues/Electrical Dance/Hip Hop&Rap/Easy Listening/Country/Classical/User1 ～ User6 ※

※ User1 ～ User6 は、「パラメトリック EQ の調整と記憶」（54 ページ）または「グラフィック EQ の調整と記憶」（55 ページ）で記憶したプリセット No. を呼び出します。



● ツィーター設定（TW Setup）

「X-OVER（クロスオーバー）の調整と記憶」（58 ページ）において、3WAY モード時のハイレンジスピーカー（HPF）のスロープ設定を 0（FLAT）に設定できます。ただし、0（FLAT）に設定するとツィーターを破壊する恐れがありますので、利用用途に応じて設定してください。

設定項目：TW Setup

設定内容：FACTORY'S（出荷時の設定）/USER'S

FACTORY'S：ツィーター保護のため、3WAY モード時にハイレンジスピーカーのスロープ設定では 0（FLAT）に設定できません。

USER'S：3WAY モード時にハイレンジスピーカーのスロープ設定を 0（FLAT）に設定できます。設定には細心の注意を払ってください。

■ Memo

- IMPRINT オーディオプロセッサー（PXA-H100）側の X-OVER 切りかえスイッチ「FRONT/REAR/SUBW./3WAY」が 3WAY に設定されている場合のみ、TW Setup モードを選択することができます。
- 3WAY モード時にハイレンジスピーカーのスロープ設定を 0（FLAT）に設定する場合、メッセージが表示されます。

● フィルタータイプの設定（Filter Type）

X-OVER 調整の際に、チャンネル L と R を同じ数値に設定するか個別に設定するかを設定することができます。ここで設定した内容によって「X-OVER（クロスオーバー）の調整と記憶」（58 ページ参照）のバンド設定内容が変わります。

設定項目：Filter Type

設定内容：NORMAL（L=R）（出荷時の設定）/INDIVIDUAL（L/R）

NORMAL：X-OVER 調整でチャンネル L/R が同じ（L=R）調整値に設定されます。

INDIVIDUAL：X-OVER 調整でチャンネル L/R を独立した調整値に設定できます。

● イコライザーモードの設定（EQ Mode）

イコライザーモードを 7 バンドグラフィックイコライザーにするか 5 バンドパラメトリックイコライザーにするかを設定することができます。

設定項目：EQ Mode

設定内容：Parametric EQ（出荷時の設定）/Graphic EQ

Parametric EQ：5Band パラメトリックイコライザーが使えます。

Graphic EQ：7Band グラフィックイコライザーが使えます。

● タイムコレクション調整単位の設定（TCR Parameter）

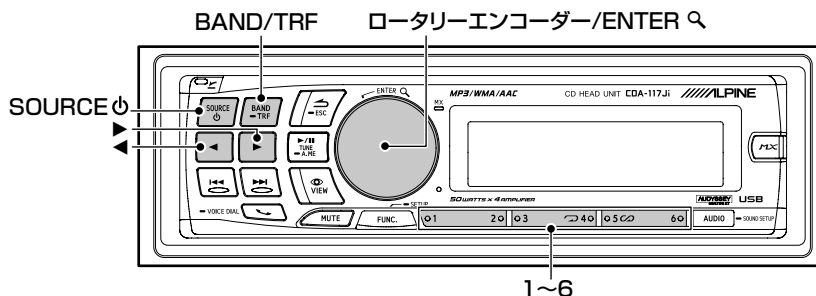
タイムコレクションの時間補正值の単位を cm または inch に変更することができます。

設定項目：TCR Parameter

設定内容：cm（出荷時の設定）/inch

cm：タイムコレクションの時間補正值の単位が「cm」になります。

inch：タイムコレクションの時間補正值の単位が「inch」になります。



● パラメトリック EQ の調整と記憶

グラフィック EQ では隣接する帯域まで変化するため、ピーク（山）やディップ（谷）での急峻な特性の乱れをスポット的に補正するには限界があります。パラメトリック EQ は、中心周波数、Q（帯域幅）、レベルをそれぞれ調整できるので、狙った帯域だけを微妙に調整することができます。高度で本格的な補正、音創りを行うことができます。「周波数帯域と音質について」（64 ページ）も調整の際の参考にしてください。パラメトリック EQ を調整するには、イコライザーモードの設定（EQ Mode）を Parametric EQ にしてください。詳しくは「イコライザーモードの設定（EQ Mode）」（53 ページ）を参照してください。

設定項目：Sound Field → Parametric EQ
設定内容：バンド選択／レベル調整／周波数設定／バンド幅（Q）設定／調整内容の記憶／記憶内容の呼び出し

バンド選択

BAND - TRF を繰り返し押す

バンド（Band）を選びます。

設定内容：Band 1/Band 2/Band 3/Band 4/Band 5

レベル調整

を回す

各バンドのレベル（Level）を調整します。

設定内容：-6 ~ +6

周波数設定

← または → を繰り返し押す

周波数（Freq）を選びます。

設定内容：Band 1 20Hz ~ 80Hz
Band 2 50Hz ~ 200Hz
Band 3 125Hz ~ 3.2kHz
Band 4 315Hz ~ 8kHz
Band 5 800Hz ~ 20kHz

バンド幅（Q）設定

SOURCE を繰り返し押す

バンド幅（Q）を設定します。

設定内容：1/1.5/3

調整内容の記憶

すべてのバンドの調整が終了したら、調整した内容をプリセットボタンに記憶することができます。

1 **01** **2**、**03** **4**、**05** **6** のいずれかを 2 秒以上押す

< Protect >または< Replace >が表示されます。

Protect : 初めて記憶する場合または前回記憶したときに< Protect >で NO を選んで記憶させたプリセットボタンを選んだときに表示されます。
Replace : 前回記憶したとき< Protect >で YES を選んで記憶させたプリセットボタンを選んだときに表示されます。

2 を廻す

< YES >または< NO >を表示させます。

Protect の場合

YES : 設定を記憶します。記憶した内容にプロテクトがかかり、すでに記憶されている No. に記憶しようとするときに変更するかどうかを確認するために手順 1 で < Replace >が表示されます。

NO : 設定を記憶します。記憶した内容にプロテクトはかかりません。

Replace の場合

YES : すでに記憶されている内容を書きかえて記憶します。

NO : すでに記憶されている内容を書きかえません。



3 を押す

押された No. に調整した内容が記憶されます。

Memo

- 「ディフェイト設定 (DEFEAT)」(50 ページ) が ON のときは、操作を受け付けません。
- 隣り合うバンドの周波数は、4 ステップ以内に調整することはできません。
- 調整は、接続したスピーカーの再生周波数帯域を考慮してください。

記憶した内容の呼び出し



のいずれかを押す

選択したプリセット No. を呼び出します。



● グラフィック EQ の調整と記憶

7 つに分割された帯域範囲内で、思いどおりのきめ細かいレベル調整が可能です。

グラフィック EQ を調整するには、イコライザーモードの設定 (EQ Mode) を Graphic EQ にしてください。詳しくは「イコライザーモードの設定 (EQ Mode)」(53 ページ) を参照してください。

設定項目 : Sound Field → Graphic EQ

設定内容 : バンド選択 / レベル調整 / 調整内容の記憶 / 記憶した内容の呼び出し

バンド選択



を繰り返し押す

バンド (Band) を選びます。

設定内容 : Band 1(63Hz) / Band 2(150Hz) /
Band 3(400Hz) / Band 4(1kHz) /
Band 5(2.5kHz) / Band 6(6.3kHz) /
Band 7(17.5kHz)

レベル調整

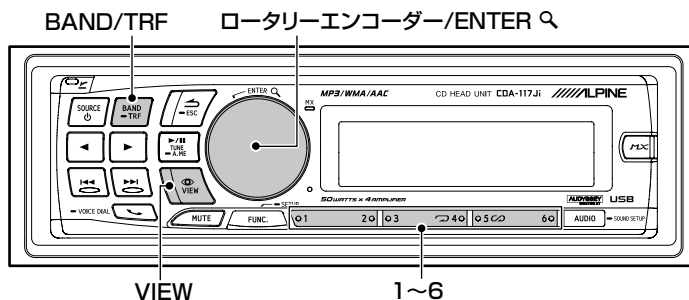


を廻す

各バンドのレベル (Level) を調整します。

設定内容 : - 6dB ~ +6dB

IMPRINT (オプション)



調整内容の記憶

すべてのバンドの調整が終了したら、調整した内容をプリセットボタンに記憶することができます。

1. プリセットボタン 1、2、3、4、5、6 のいずれかを 2 秒以上押す

< Protect > または < Replace > が表示されます。

- Protect** : 初めて記憶する場合または前回記憶したときに < Protect > で NO を選んで記憶させたプリセットボタンを選んだときに表示されます。
- Replace** : 前回記憶したとき < Protect > で YES を選んで記憶させたプリセットボタンを選んだときに表示されます。

2. 回転を押す

< YES > または < NO > を表示させます。

Protect の場合

- YES** : 設定を記憶します。記憶した内容にプロテクトがかかり、すでに記憶されている No. に記憶しようとすると変更するかどうかを確認するために手順 1 で < Replace > が表示されます。
- NO** : 設定を記憶します。記憶した内容にプロテクトはかかりません。

Replace の場合

- YES** : すでに記憶されている内容を書きかえて記憶します。
- NO** : すでに記憶されている内容を書きかえません。



3. 回転を押す

押された No. に調整した内容が記憶されます。

Memo

- 「ディフェイト設定 (DEFEAT)」(50 ページ) が ON のときは、操作を受け付けません。

記憶した内容の呼び出し

1. プリセットボタン 1、2、3、4、5、6 のいずれかを押す
- 選択したプリセット No. を呼び出します。



● タイムコレクションの設定と記憶

お好みのリスニングポジションへの音の到達時間差を設定します。操作の前に「タイムコレクション (時間補正) について」(60 ページ) を参照して、各スピーカーの距離を測定して設定します。

設定項目 : Sound Field → T. Correction

設定内容 : スピーカー選択 / 距離 (時間) 補正 / 調整内容の記憶 / 記憶内容の呼び出し

スピーカー選択

を繰り返し押す

スピーカーを選びます。

IMPRINT オーディオプロセッサー (PXA-H100) 側の X-OVER 切りかえスイッチ「FRONT/REAR/SUBW. / 3WAY」の設定によって、調整するスピーカーが異なります。次の通り、各スピーカーの調整を行ってください。

■ FRONT/REAR/SUBW. システム時

設定内容：F-L (左前スピーカー) / F-R (右前スピーカー) / R-L (左後スピーカー) / R-R (右後スピーカー) / SW-L (サブウーハー左) / SW-R (サブウーハー右)

■ 3WAY システム時

設定内容：F-L (ミッドレンジスピーカー左) / F-R (ミッドレンジスピーカー右) / R-L (ハイレンジスピーカー左) / R-R (ハイレンジスピーカー右) / SW-L (サブウーハー左) / SW-R (サブウーハー右)

距離 (時間) 補正

を廻す

各スピーカーの距離 (時間) 補正值 (0.0 ~ 336.6) を調整します。

設定内容：0.0cm ~ 336.6cm

調整内容の記憶

すべてのスピーカーの調整が終了したら、調整した内容をプリセットボタンに記憶することができます。

1 のいずれかを 2 秒以上 押す

< Protect > または < Replace > が表示されます。

Protect : 初めて記憶する場合または前回記憶したときに < Protect > で NO を選んで記憶させたプリセットボタンを選んだときに表示されます。

Replace : 前回記憶したとき < Protect > で YES を選んで記憶させたプリセットボタンを選んだときに表示されます。

2 を廻す

< YES > または < NO > を表示させます。

Protect の場合

YES : 設定を記憶します。記憶した内容にプロテクトがかかり、すでに記憶されている No. に記憶しようとすると変更するかどうかを確認するために手順 1 で < Replace > が表示されます。

NO : 設定を記憶します。記憶した内容にプロテクトはかかりません。

Replace の場合

YES : すでに記憶されている内容を書きかえて記憶します。

NO : すでに記憶されている内容を書きかえません。



3 を押す

押された No. に調整した内容が記憶されます。

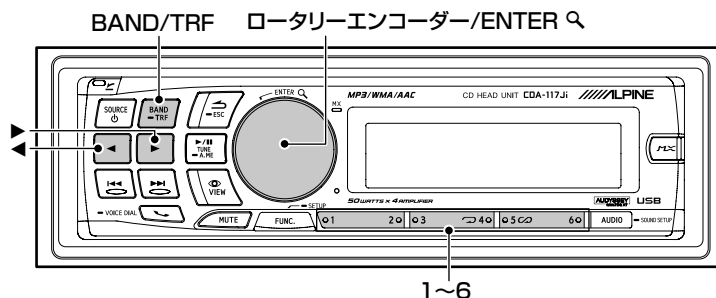
記憶内容の呼び出し



のいずれかを押す

選択したプリセット No. を呼び出します。





● X-OVER (クロスオーバー) の調整と記憶

スピーカー特性に合った最適な音響空間を設定することができます。操作の前に、「X-OVER について」(61 ページ)を参照してください。

設定項目：Sound Field → X-Over

設定内容：バンド選択／レベル調整／周波数選択／スロープ設定／調整内容の記憶／記憶内容の呼び出し

バンド選択

BAND - TRF を繰り返し押す

バンドを選びます。

■ FRONT/REAR/SUBW. システム／フィルタータイプ：NORMAL の設定

設定内容：LOW(SUB-W)/MID(REAR)/HIGH(FRONT)

■ FRONT/REAR/SUBW. システム／フィルタータイプ：INDIVIDUAL の設定

設定内容：LOW(SUB-W)-L/ LOW(SUB-W)-R/
MID(REAR)-L/ MID(REAR)-R /
HIGH(FRONT)-L/ HIGH(FRONT)-R

■ 3WAY システム／フィルタータイプ：NORMAL の設定

設定内容：LOW/MID-L/MID-H/HIGH

■ 3WAY システム／フィルタータイプ：INDIVIDUAL の設定

設定内容：LOW-L/LOW-R/MID-L(LOW)-L/
MID-L(LOW)-R/MID-H(HIGH)-L/
MID-H(HIGH)-R/HIGH-L/HIGH-R

■ Memo

- 現在のシステムによって選択できるバンドの内容が異なります。IMPRINT オーディオプロセッサ (PXA-H100) 側の X-OVER 切りかえスイッチ「FRONT/REAR/SUBW. / 3WAY」、「フィルタータイプの設定 (Filter Type)」(53 ページ) を参照してください。

レベル調整

を廻す

レベル (Level) を調整します。

設定内容：- 12 ~ 0

周波数選択

← または → を繰り返し押す

周波数 (Freq) を選びます。

■ FRONT/REAR/SUBW. システム時

設定内容：20Hz ~ 200Hz

■ 3WAY システム時

設定内容：LOW/MID-L(LOW) 20Hz ~ 200Hz、
MID-H(HIGH) 20Hz ~ 20kHz、
HIGH ※1 1kHz ~ 20kHz
HIGH ※2 20Hz ~ 20kHz

※1 「ツィーター設定 (TW Setup)」(53 ページ) を FACTORY'S に設定した場合。

※2 「ツィーター設定 (TW Setup)」(53 ページ) を USER'S に設定した場合。

■ Memo

- カットオフ周波数は、1/3 オクターブステップで変化します。

スロープ設定



を繰り返し押す

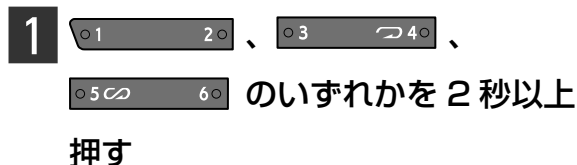
スロープ (Slope) を設定します。

設定内容：FLAT(O)※/6(dB)/12(dB)/18(dB)/24(dB)

※ 3WAY システムでの HIGH の場合は、「ツィーター設定 (TW Setup)」(53 ページ) で USER'S に設定した場合にのみ FLAT 設定が可能になります。ただし、FLAT に設定するとツィーターを破壊する恐れがありますので、利用用途に応じて調整してください。FLAT にセットされる場合、メッセージが表示されず。設定には細心の注意を払ってください。

調整内容の記憶

すべてのバンドの調整が終了したら、調整した内容をプリセットボタンに記憶することができます。



< Protect > または < Replace > が表示されます。

Protect : 初めて記憶する場合または前回記憶したときに < Protect > で NO を選んで記憶させたプリセットボタンを選んだときに表示されます。

Replace : 前回記憶したとき < Protect > で YES を選んで記憶させたプリセットボタンを選んだときに表示されます。

2 を廻す

< YES > または < NO > を表示させます。

Protect の場合

YES : 設定を記憶します。記憶した内容にプロテクトがかかり、すでに記憶されている No. に記憶しようとすると変更するかどうかを確認するために手順 1 で < Replace > が表示されます。

NO : 設定を記憶します。記憶した内容にプロテクトはかかりません。

Replace の場合

YES :すでに記憶されている内容を書きかえて記憶します。

NO :すでに記憶されている内容を書きかえません。



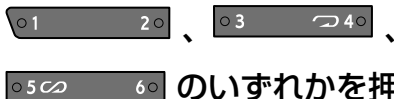
3 を押す

押された No. に調整した内容が記憶されます。

Memo

- 調整は、接続したスピーカーの再生周波数帯域を考慮してください。

記憶内容の呼び出し



選択したプリセット No. を呼び出します。



タイムコレクション (時間補正) について

車という特殊な条件下であるため、リスニングポジションとそれぞれのスピーカーの距離に大きなばらつきがあります。リスニングポジションでの時間差を取り除くときにこの機能を使います。ここでは、時間補正値の算出方法について説明します。

1 リスニングポジション（運転席など）に座り、頭の位置と各スピーカーの距離（m）を測定する。

2 一番遠いスピーカーの距離とその他のスピーカーの距離の差を算出する。

$L = (\text{一番遠いスピーカーの距離}) - (\text{それぞれのスピーカーの距離})$

■具体例

右記イラストのフロント右側スピーカーの時間補正値を算出する。

(条件) :

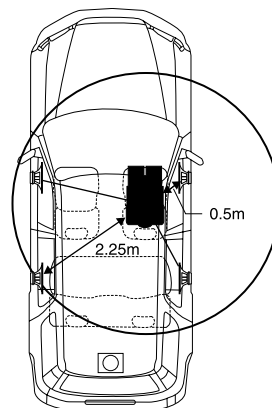
一番遠いスピーカー～リスニングポジション : 2.25m

フロント右側スピーカー～リスニングポジション : 0.5m

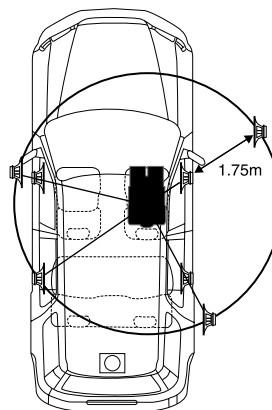
(算出) :

$L = 2.25\text{m} - 0.5\text{m} = 1.75\text{m}$

つまり、フロント右側スピーカーへ見かけの距離を持たせることで、一番遠いスピーカーと距離を一致させる。



リスニングポジションと各スピーカーまでの距離が違うために偏った音になる。右前スピーカーと左後スピーカーでは 1.75m の差がある。



時間補正により到達時間差が解消される。

右前スピーカーに 1.75m の距離（時間）補正を行い、リスニングポイントとスピーカーまでの距離の整合をとることができる。

■時間差表

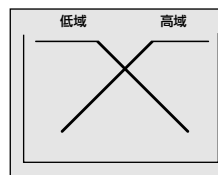
STEP 数	時間補正 (ms)	距離 (cm)	距離 (inch)	STEP 数	時間補正 (ms)	距離 (cm)	距離 (inch)
0	0.0	0.0	0.0	50	5.0	170.0	67.0
1	0.1	3.4	1.3	51	5.1	173.4	68.3
2	0.2	6.8	2.7	52	5.2	176.8	69.7
3	0.3	10.2	4.0	53	5.3	180.2	71.0
4	0.4	13.6	5.4	54	5.4	183.6	72.4
5	0.5	17.0	6.7	55	5.5	187.0	73.7
6	0.6	20.4	8.0	56	5.6	190.4	75.0
7	0.7	23.8	9.4	57	5.7	193.8	76.4
8	0.8	27.2	10.7	58	5.8	197.2	77.7
9	0.9	30.6	12.1	59	5.9	200.6	79.1
10	1.0	34.0	13.4	60	6.0	204.0	80.4
11	1.1	37.4	14.7	61	6.1	207.4	81.7
12	1.2	40.8	16.1	62	6.2	210.8	83.1
13	1.3	44.2	17.4	63	6.3	214.2	84.4
14	1.4	47.6	18.8	64	6.4	217.6	85.8
15	1.5	51.0	20.1	65	6.5	221.0	87.1
16	1.6	54.4	21.4	66	6.6	224.4	88.4
17	1.7	57.8	22.8	67	6.7	227.8	89.8
18	1.8	61.2	24.1	68	6.8	231.2	91.1
19	1.9	64.6	25.5	69	6.9	234.6	92.5
20	2.0	68.0	26.8	70	7.0	238.0	93.8
21	2.1	71.4	28.1	71	7.1	241.4	95.1
22	2.2	74.8	29.5	72	7.2	244.8	96.5
23	2.3	78.2	30.8	73	7.3	248.2	97.8
24	2.4	81.6	32.2	74	7.4	251.6	99.2
25	2.5	85.0	33.5	75	7.5	255.0	100.5
26	2.6	88.4	34.8	76	7.6	258.4	101.8
27	2.7	91.8	36.2	77	7.7	261.8	103.2
28	2.8	95.2	37.5	78	7.8	265.2	104.5
29	2.9	98.6	38.9	79	7.9	268.6	105.9
30	3.0	102.0	40.2	80	8.0	272.0	107.2
31	3.1	105.4	41.5	81	8.1	275.4	108.5
32	3.2	108.8	42.9	82	8.2	278.8	109.9
33	3.3	112.2	44.2	83	8.3	282.2	111.2
34	3.4	115.6	45.6	84	8.4	285.6	112.6
35	3.5	119.0	46.9	85	8.5	289.0	113.9
36	3.6	122.4	48.2	86	8.6	292.4	115.2
37	3.7	125.8	49.6	87	8.7	295.8	116.6
38	3.8	129.2	50.9	88	8.8	299.2	117.9
39	3.9	132.6	52.3	89	8.9	302.6	119.3
40	4.0	136.0	53.6	90	9.0	306.0	120.6
41	4.1	139.4	54.9	91	9.1	309.4	121.9
42	4.2	142.8	56.3	92	9.2	312.8	123.3
43	4.3	146.2	57.6	93	9.3	316.2	124.6
44	4.4	149.6	59.0	94	9.4	319.6	126.0
45	4.5	153.0	60.3	95	9.5	323.0	127.3
46	4.6	156.4	61.6	96	9.6	326.4	128.6
47	4.7	159.8	63.0	97	9.7	329.8	130.0
48	4.8	163.2	64.3	98	9.8	333.2	131.3
49	4.9	166.6	65.7	99	9.9	336.6	132.7

X-OVER について

本機は、パワーアンプで増幅される前の帯域分割が可能なアクティブ デバイディング ネットワークを搭載しています。そのため、スピーカーとアンプの間に置かれたパッシブネットワークは不要となり、各アンプは完全に独立した動作が可能です。干渉問題がなくなり、スピーカーの能力に見合った再生周波数を分割することで最適な音響空間を再現します。

各バンドの HPF (ハイパスフィルター) LPF (ローパスフィルター) の調整、スロープ (フィルター特性の減衰の傾き)、レベルを設定します。
接続しているスピーカーの再生周波数帯域や特性に合わせて調整してください。

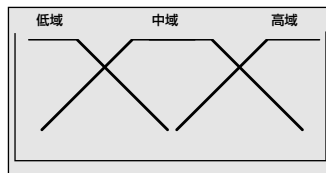
FRONT/REAR/ SUBW. モード	カットオフ周波数帯域 (1/3 オクターブステップ)		スロープ調整		レベル調整幅
	HPF	LPF	HPF	LPF	
ローレンジ スピーカー	—	20Hz ~ 200Hz	—	FLAT(OFF).6, 12, 18, 24dB/oct.	0 ~ -12dB
リアハイレンジ スピーカー	20Hz ~ 200Hz	—	FLAT(OFF).6, 12, 18, 24dB/oct.	—	0 ~ -12dB
フロントハイレ レンジ スピーカー	20Hz ~ 200Hz	—	FLAT(OFF).6, 12, 18, 24dB/oct.	—	0 ~ -12dB



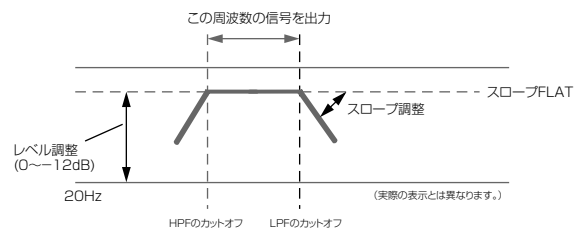
(実際の表示とは異なります。)

3WAY モード	カットオフ周波数帯域 (1/3 オクターブステップ)		スロープ調整		レベル調整幅
	HPF	LPF	HPF	LPF	
ローレンジ スピーカー	—	20Hz ~ 200Hz	—	FLAT(OFF).6, 12, 18, 24dB/oct.	0 ~ -12dB
ミッドレンジ スピーカー	20Hz ~ 200Hz	20Hz ~ 20kHz	FLAT(OFF).6, 12, 18, 24dB/oct.	FLAT(OFF).6, 12, 18, 24dB/oct.	0 ~ -12dB
ハイレンジ スピーカー	1kHz ~ 20kHz (20Hz ~ 20kHz)*	—	FLAT(OFF)*.6, 12, 18, 24dB/oct.	—	0 ~ -12dB

※ 「ツイーター設定 (TW Setup)」 (53 ページ) を USER'S に設定した場合のみ。



(実際の表示とは異なります。)



次ページに続く→

■ Memo

- HPF (ハイパスフィルター) はある周波数より下の音域 (低域) をカットして、高域の成分を通すフィルターです。
- LPF (ローパスフィルター) はある周波数より上の音域 (高域) をカットして、低域の成分を通すフィルターです。
- スロープとは周波数が 1 オクターブ高くまたは低くなったとき、信号が何 dB 減衰するかを表す値です。
- スロープの数値が大きいほど傾きは急になります。
- スロープを FLAT (OFF) にすると、信号がフィルターを通過しないため効果はなくなります。ツイーターは低域信号入力によって、故障の原因になる危険性があります。
- 同じチャンネル内で HPF と LPF の周波数を重ねる調整は行わないでください。また、HPF と LPF の周波数を超える調整はできません。

X-OVER (クロスオーバーネットワーク) はなぜ必要か？

スピーカーは一つの振動板で可聴帯域すべてをフラットに再生することが理想です。しかし、耳で聞こえる音の周波数は 20Hz ~ 20kHz 位と言われ、一つのスピーカーでは、この幅広い周波数を再生することは困難です。そこでクロスオーバーを使用しスピーカーを各周波数帯域 (低域、中域、高域など) に別けて各スピーカーの能力に見合った再生周波数に分割します。クロスオーバーには低音域を再生するための「ローパスフィルター (LPF)」と高音域を再生するための「ハイパスフィルター (HPF)」があります。中域は、ローパスフィルターとハイパスフィルターを組み合わせで利用します。この LPF/HPF を利用することで信号に対して忠実な再生ができるようになります。

スピーカーについて

■ハイレンジスピーカー

シンバルなど、主に高音域を出力するスピーカー。

■ミッドレンジスピーカー

ボーカルの声 / メロディ音など、主に中音域を出力するスピーカー。ローレンジ (サブウーハー) が用意されない場合は、このミッドレンジが低音域まで再生することになります。

■ローレンジスピーカー (サブウーハー)

ベースやドラムの音など、主に低音域を出力するスピーカー。人間の耳は 80Hz 以下の音に方向性を感じにくいので、LPF の設定は 80Hz 以下にするのが一般的です。80Hz 以上の音がローレンジスピーカー (サブウーハー) からなってしまうと、前方定位が崩れてしまう場合があります。

スロープ調整について

- 例えば、HPF を調整した場合、その周波数より低い周波数をまったく再生しないわけではありません。スロープを設定することで、特定の周波数より低くなればなるほど、出力 (音量) が低くなっていくという減衰特性を調整します。
- フィルターのスロープ特性は 6dB、12dB、18dB、24dB/oct. を内蔵しており、スロープの数値が大きいほど、傾きが急となり隣の帯域からの音の混ざりもなく、狙った帯域だけを再生できますが、各スピーカー間のつながりが悪くなる場合や歪みが発生する場合もありますので、各スピーカー間の音を聴きながら調整してください。
- フルレンジスピーカーを使用している場合、スロープ設定は FLAT にします。

調整のコツ

注意：接続しているスピーカーの推奨クロスオーバー周波数にあわせて調整してください。スピーカーの推奨クロスオーバーを必ず確認してください。推奨クロスオーバー範囲外の調整は、スピーカー破損の原因となります。弊社製品のクロスオーバー周波数推奨値については、スピーカーの説明書を参照してください。

クロスオーバー推奨値以外のご使用により製品の破損 / 故障等が生じても、責任は負いかねますのでご注意ください。

■ 3WAY の場合

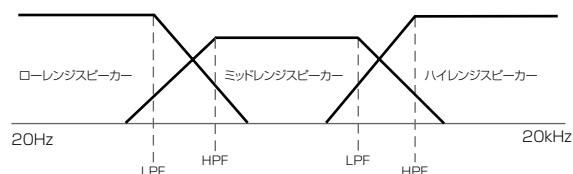
使用するスピーカーの再生可能な周波数特性にもよりますが、まずは、3 つに分割してみます。

例えば、

- ・ローレンジスピーカー：20Hz ~ 80Hz
- ・ミッドレンジスピーカー：80Hz ~ 4kHz
- ・ハイレンジスピーカー：4kHz ~ 20kHz

とします。

このときの本機側の調整は、ローレンジスピーカーの LPF を 63Hz または 80Hz、ミッドレンジスピーカーの HPF を 80Hz または 100Hz、LPF を 2kHz ~ 4kHz、ハイレンジスピーカーの HPF は 4kHz を目安とし、次にスロープを設定、そしてスピーカー全体の音のバランスを聴きながら出力レベルの調整を行います。後は、実際に試聴しながら、繰り返し周波数やスロープの調整などをお好みに合わせて行い最も最適な調整を探します。



■ FRONT/REAR/SUBW. の場合

FRONT/REAR/SUBW. の場合は、2 つに分割してみます。

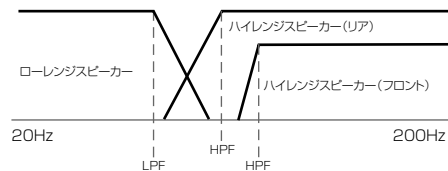
例えば、

- ・ ローレンジスピーカー：20Hz ～ 80Hz
- ・ ハイレンジスピーカー：80Hz 以上

(フロント / リア)

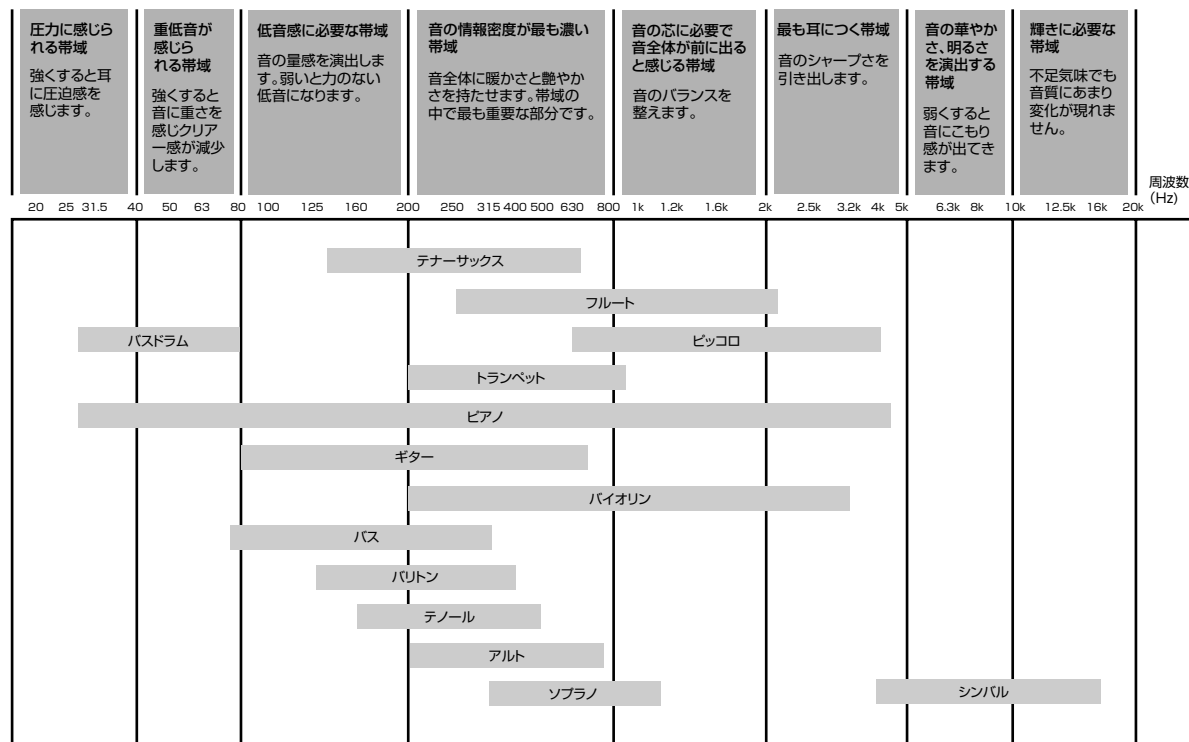
とします。

本機側の調整は、ローレンジスピーカーの LPF を 63Hz または 80Hz、ハイレンジスピーカーの HPF はフロント / リアそれぞれ 80Hz または 100Hz を目安とし、上記 3WAY と同じようにスロープを設定、出力レベルの調整を行います。



周波数帯域と音質について

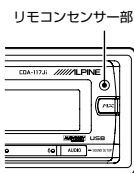
一般的に周波数には次のような音質の特徴があり、各帯域を強調／減衰することによりさまざまな音質が楽しめます。調整の際の参考にしてください。



リモコン操作

● 使用時のご注意

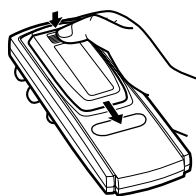
- リモコンは、リモコン送信部をリモコンセンサーに向け 2 メートル以内でお使いください。
- リモコンセンサーに直射日光が当たっていると、操作できない場合があります。
- リモコンは小型軽量の精密機械です。破損、電池の早期消耗、誤動作や操作感の悪化の原因にならないよう、次の点に注意してお使いください。
衝撃を加えない・ズボンのポケットに入れない・飲み物をかけない・湿気やホコリを避ける・直射日光の当たる場所に置かないでください。



● 電池を入れる

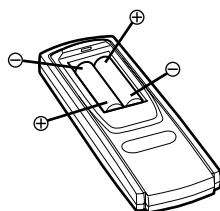
1 フタを開ける

フタを少し強めに押しながら矢印の方向へ押す。



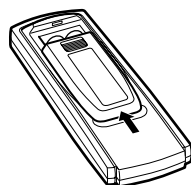
2 電池を入れる

リモコン本体の⊕、⊖表示通り入れる。



3 フタを閉める

“カチッ”と音がして固定される。



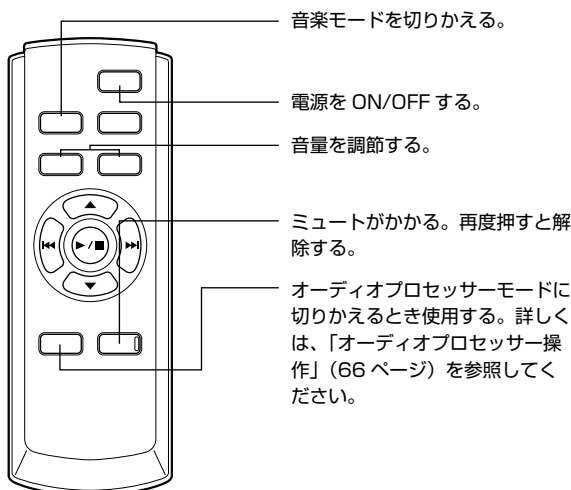
■ Memo

- 電池は単 4 乾電池 (UM-4) × 2 をご使用ください。

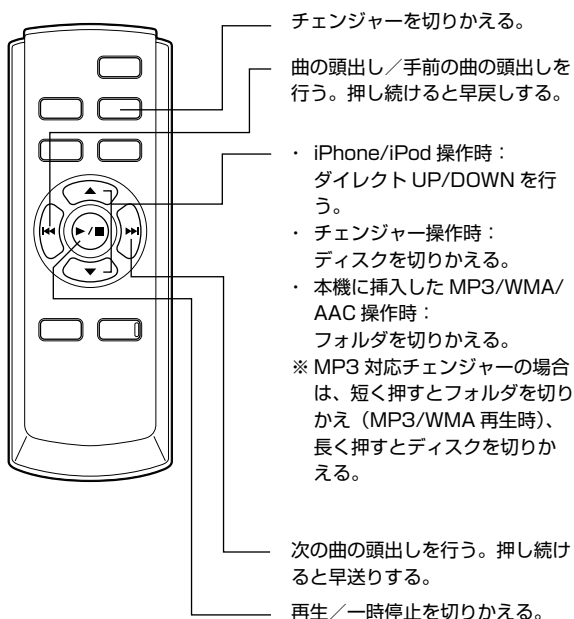
⚠ 警告

運転中は操作をしたり、画面を見たりしないでください。事故・ケガの原因になります。操作や画面を見る場合には、安全な場所に停車してください。

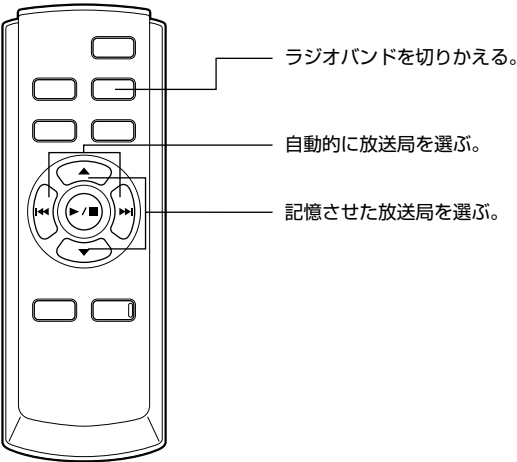
● 基本操作



● CD/MP3/WMA/AAC/iPhone/iPod/チェンジャー操作



● ラジオ操作



● オーディオプロセッサ操作

手順			記憶した時間補正 値の呼び出し	記憶した X-OVER の呼び 出し
1	「A.PROC」 を押して、 モードを 選ぶ	→ 通常モード →	タイムコレク ションモード	X-OVER モード
2	「▲」 また は「▼」を 押して、 モードを 選ぶ		↓ メモリー 1 ↑ メモリー 2 ↑↓ メモリー 3 ↑↓ メモリー 4 ↑↓ メモリー 5 ↑↓ メモリー 6 ↑	↓ メモリー 1 ↑ メモリー 2 ↑↓ メモリー 3 ↑↓ メモリー 4 ↑↓ メモリー 5 ↑↓ メモリー 6 ↑



取り付けと接続

取り付けや接続の作業を行う前には、必ず3～4ページをよくお読みの上、正しい作業をしてください。説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。

1. 正しい作業のコツ

- ここからの説明は、専門技術と経験のある方を対象にしています。
- 車のインパネなどの「取り付け取り外し情報」を販売店から入手してください。
- 動作確認の際に本機の操作を行いますので、本説明書の操作説明部も必ずお読みください。
- 組み合わせる製品の説明書も合わせてご覧ください。
- コンピューターが装着されている車は、バッテリーのマイナス端子を外すとメモリーが消えてしまうことがあります。
- 一部の車種（外国車など）では、バッテリーのマイナス端子を外すと、電装系に不具合が生じる場合があります。詳しくは、ディーラーへお問い合わせください。
- 接続の際は、コードに付いているラベルや本説明書を確認しながら、注意して行ってください。
- 音声出力ケーブルを接続するときは、コード端子の色とターミナルの色を合わせてください。

・ RCA コード、ピンコード

家庭用機器の信号の受け渡しに利用される RCA 考案のコネクター付きコードをいいます。カーオーディオはもちろん家庭のステレオ／ビデオ／テレビ等に幅広く採用されています。白がオーディオの左チャンネル、赤が右チャンネル、黄色がビデオ信号です。

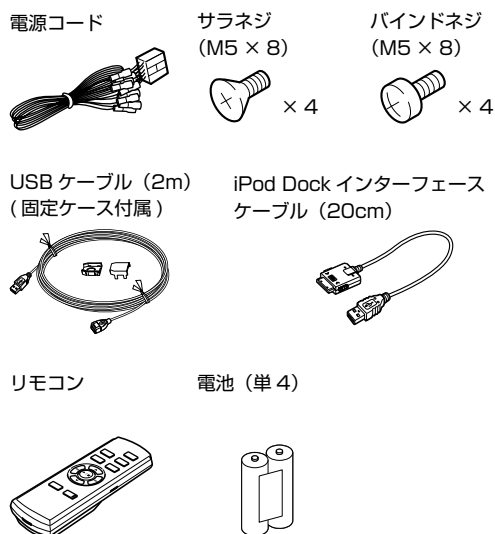
- 9) スピーカーの接続
 - 純正のスピーカー用コードを使う場合、左右のコードのマイナス側が共通になっているものには使用できません。
 - スピーカーは、インピーダンスが $3.2 \sim 8 \Omega$ のものをお使いください。
- 10) 接続しないコードは、コードの端にビニールテープを巻いてください。
- 11) 取り付け場所について

ディスクの出し入れの際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ、取り付け場所を設定してください。
- 12) 水平に対して 35 度以内に付けてください。
- 13) 不明な点はお買い上げ店／インフォメーションセンターにお問い合わせください。

2. 準備

- 車を平坦で安全な場所に停める。さらに、パーキングブレーキをかけ、イグニッションキーを抜く。

- 付属部品を確認し、工具／取り付け情報をそろえる。



3. バッテリーのマイナス端子を外す。
4. 灰皿、小物入れなどを外し、パネル（インパネ）を外す。
5. 車から取り付けブラケットごとカーオーディオを外す。
6. オーディオに付いているケーブルを外し、ブラケットからオーディオを外す。
(ブラケットは、4. 取り付けの手順2で利用します。)

3. 接続する

- 70 ページの基本接続図を参照して接続する。
 - 他の製品と組み合わせた接続例も記載しています。御希望の組み合わせを確認しながら作業を進めてください。
 - 誤接続を防ぐために、接続するごとに✓点をつけてください。
- ヘッドユニットに電源コードを接続する。
「カチッ」と音がするまで差し込む。
- 正しく接続されているか、✓点があるところはないか確認する。
- バッテリーマイナス端子を接続する。
- イグニッションキーを ON にして本機電源を入れ、音が正しく出ているかなどを確認する。
 - 固定する前に動作確認しておけば安心です。正しい動作をしない場合は、もう一度接続を確認してください。
- 本機の電源を切る。
- イグニッションキーを抜いて、バッテリーマイナス端子を外す。

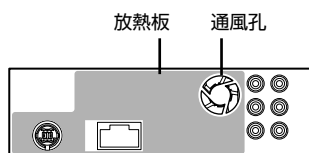


4. 取り付ける



注意

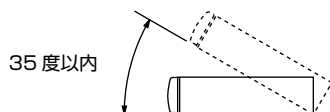
通風孔や放熱板をふさがない。
通風孔・放熱板をふさがないでください。通風孔・放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因になります。



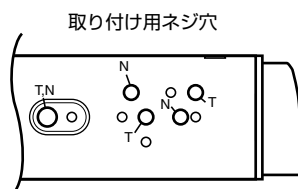
<本機裏側>

取り付けの際は必ず、フロントパネルを付けた状態で行ってください。フロントパネルを外した状態で取り付けると故障の原因となります。

1. CD の出し入れの際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ、取り付け場所を決める。

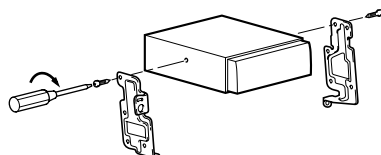


2. 本機にブラケットを付属のネジでしっかり取り付ける。



N 穴→ニッサン車専用

T 穴→トヨタ・ミツビシ車専用



ブラケット

3. 「ブラケットと一体になった本機」を車両にしっかり取り付ける。
4. インパネを取り付ける。
5. コード類を固定する。
シートレールなどの可動部に挟み込んだり、突起部に当たったりして、コードを傷めないように注意して固定する。

6. バッテリーマイナス端子を接続する。

Memo

- 車両雑音から守るために
 - アースコードを車体の金属部分に確実につなぐ。
 - 本機や本機からのコードを車両配線から離す。
 - バッテリー電源コードと PIN コードは離す。
 - ノイズサプレッサーを使う場合は、できるだけ本機から離す。

5. 確認する

1. イグニッションキーを ON にして、本説明書を参考に本機の動作が正しいことを確認する。
2. ホーン（クラクション）、ストップランプなどの車両電装品が正しく動作することを確認する。

Memo

IN-INT の接続について

IN-INT コードは次の組み合わせ時に使用します。

- 音声認識対応のナビゲーションと組み合わせる。
音声認識対応のナビゲーションのミュートコードに接続します。
音声認識操作のとき本機の音量をミュートさせます。
詳しくはナビゲーション側の説明書を参照してください。
- 別売の BLUETOOTH INTERFACE (KCE-400BT) と組み合わせる。
BLUETOOTH INTERFACE (KCE-400BT) の MUTE コードに接続します。
携帯電話の音声などを本機に割り込ませます。
詳しくは BLUETOOTH INTERFACE (KCE-400BT) の取扱説明書を参照してください。
- OUT-INT 対応の製品と組み合わせる
Ai 割り込み BOX (NVE-K200)、または Ai-RCA 変換ケーブル (KCA-121B) などと OUT-INT 対応の TV (TVE-T038 など) を組み合わせ使用するとき接続します。
TV の音声の本機に割り込ませます。
詳しくは組み合わせる製品の説明書を参照してください。

● スイッチ切りかえについて

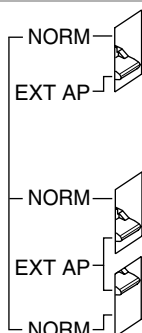
取り付け前やシステムアップを行うとき、スイッチの切りかえが必要になる場合があります。

切りかえは次の手順で行ってください。

- 1) 電源コードを抜く。
- 2) 棒状のものをスイッチに対して垂直に挿入する。
- 3) 指定のポジションに切りかえる。
- 4) 電源コードを接続する。

システムスイッチ（本機の底面部）

本機に Ai-NET 対応のイコライザーやオーディオプロセッサ等を接続するときは、「EXT AP」側に切りかえます。



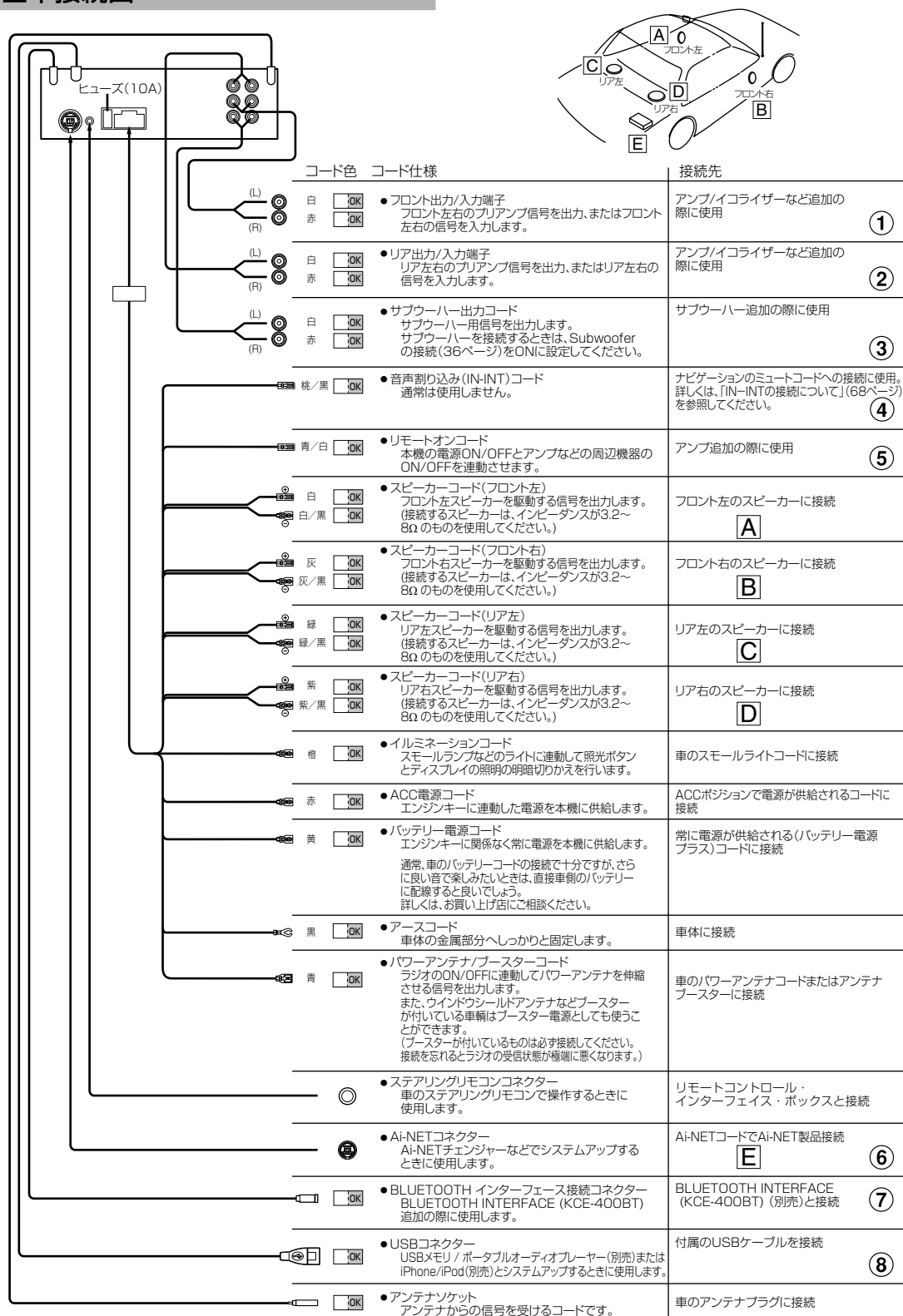
■ Memo

- チェンジャーのみを接続する（Ai-NET 対応イコライザーを使わない）場合、システムスイッチは「NORM」に設定してください。
- システムスイッチ 3 箇所は、必ず「NORM」または「EXT AP」に統一して設定してください。
- 出荷時の設定は「NORM」に設定されています。



取り付けと接続

基本接続図



Memo

- 上記接続先の丸番号は、**6. システムアップの例**で使用します。

● システムアップの例

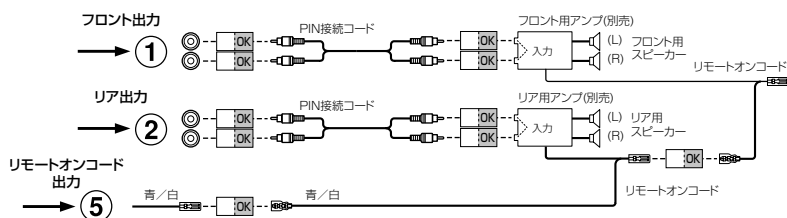
重要

- オーディオプロセッサ（PXA-H100、PXA-H701 など）と組み合わせる場合は、「システムスイッチ（本機の底面部 3 箇所）」を「EXT AP」側に切りかえてください。正しく切りかえないと、爆音など、不具合が発生します。
- 「3WAY システム」をご使用の場合は、スピーカー出力の接続にご注意ください。フロントはミッドレンジスピーカー、リアはハイレンジスピーカーへ接続してください。
- 詳しくは、「スイッチ切りかえについて」（69 ページ）を参照してください。
- **DHA-S690 を接続する場合の注意：**
DHA-S690 側の「製品セットアップ」（MODEL SETUP）を「CD CHG」に設定してください。



1) 外部アンプを接続する

システムスイッチ	NORM
----------	------

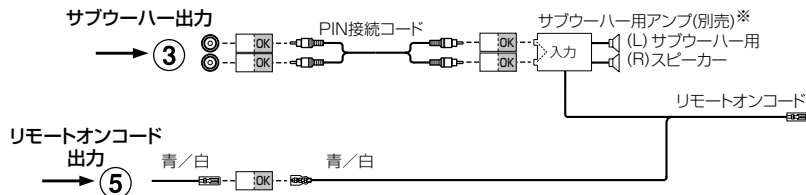


■ Memo

- 外部アンプを接続するときは、内蔵アンプの供給電源を止めることで、音質を更に高めることができます。詳しくは「外部アンプの接続（Power IC）」（47 ページ）を参照してください。

2) サブウーハーアンプを接続する

システムスイッチ	NORM
----------	------



※ 必要に応じて、ローパスフィルター内蔵のアンプを使用してください。

■ Memo

- 「サブウーハーの接続（Subwoofer）」（36 ページ）を参照してください。

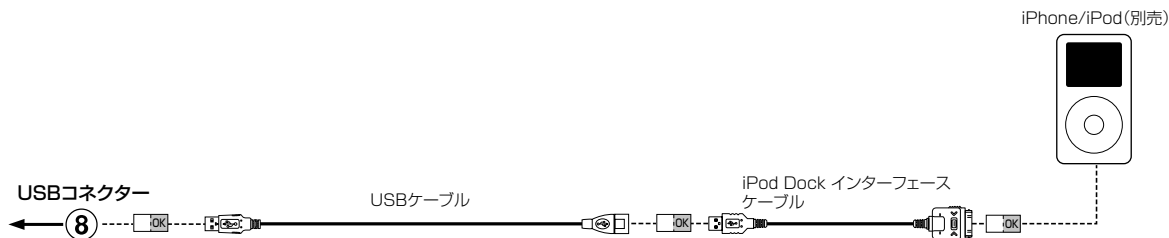
次ページに続く→



取り付けと接続

3) 「iPhone/iPod」をUSB 接続する

システムスイッチ NORM

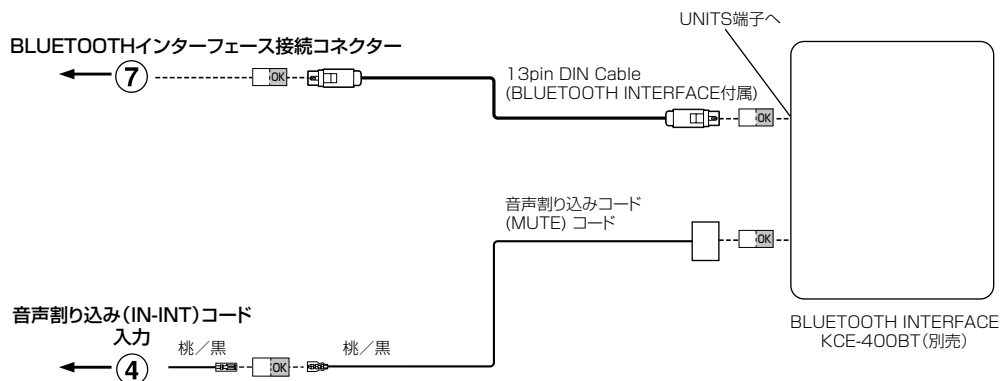


Memo

- 付属の USB ケーブルと iPod Dock インターフェースケーブルをご使用ください。
- 付属の USB ケーブル以外をご使用の場合、動作の保証は致しかねます。

4) BLUETOOTH INTERFACE (KCE-400BT) (別売) を接続する

システムスイッチ NORM

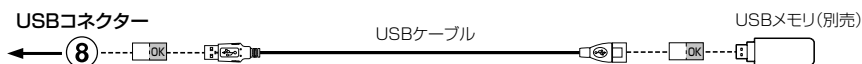


Memo

- 「BLUETOOTH 接続設定 (Bluetooth IN)」 (43 ページ) または別売の BLUETOOTH INTERFACE (KCE-400BT) の説明書を参照してください。

5) 「USB メモリ」 を接続する

システムスイッチ	NORM
----------	------

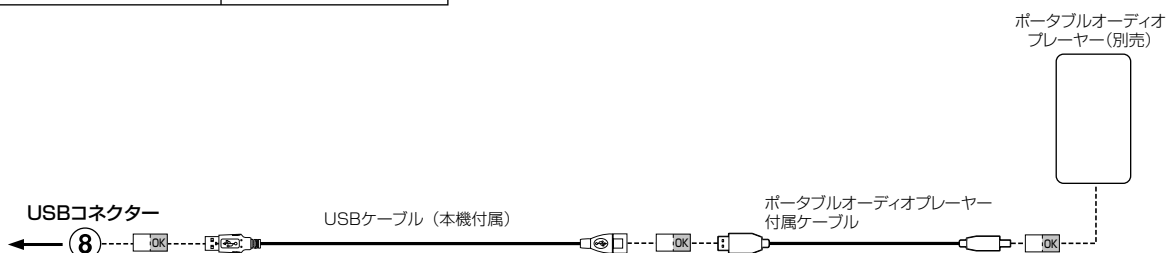


■ Memo

- 本機付属の USB ケーブルをご使用ください。
- 本機付属の USB ケーブル以外をご使用の場合、動作の保証は致しかねます。
- USB ケーブルは他のコード類から離して配線してください。

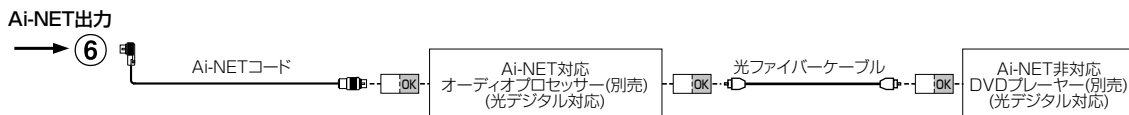
6) ポータブルオーディオプレーヤーを接続する

システムスイッチ	NORM
----------	------



7) 「Ai-NET 対応オーディオプロセッサ (光デジタル対応) (PXA-H701 など)」 + 「Ai-NET 非対応 DVD プレーヤー (光デジタル対応) (DVE-5207 など)」 を接続する

システムスイッチ	EXT AP
----------	--------



■ Memo

- 「光デジタル対応オーディオプロセッサと Ai-NET 非対応 DVD プレーヤーの接続 (Digital AUX)」 (45 ページ) を参照してください。

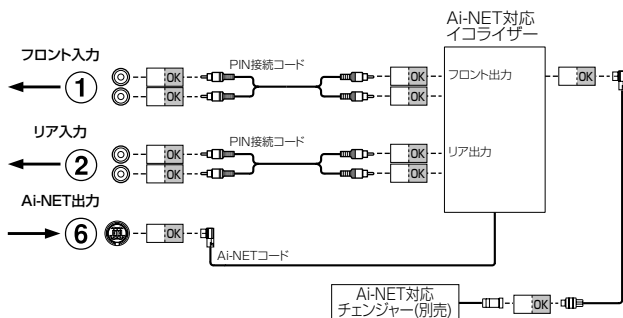
8) 「Ai-NET 対応イコライザー」 + 「チェンジャー」 を接続する (内蔵アンプ使用時)

システムスイッチ	EXT AP
----------	--------

この場合、トーンコントロールは、イコライザー側でのみ行える。

(トーンバイパス機能) **

*** トーンバイパス機能とは：
ヘッドユニットのトーンコントロール回路を使わず、イコライザーのトーンコントロール回路だけで調整することです。



■ Memo

- チェンジャーのみを接続する (Ai-NET 対応イコライザーを使わない) 場合、システムスイッチは NORM に設定してください。

次ページに続く→

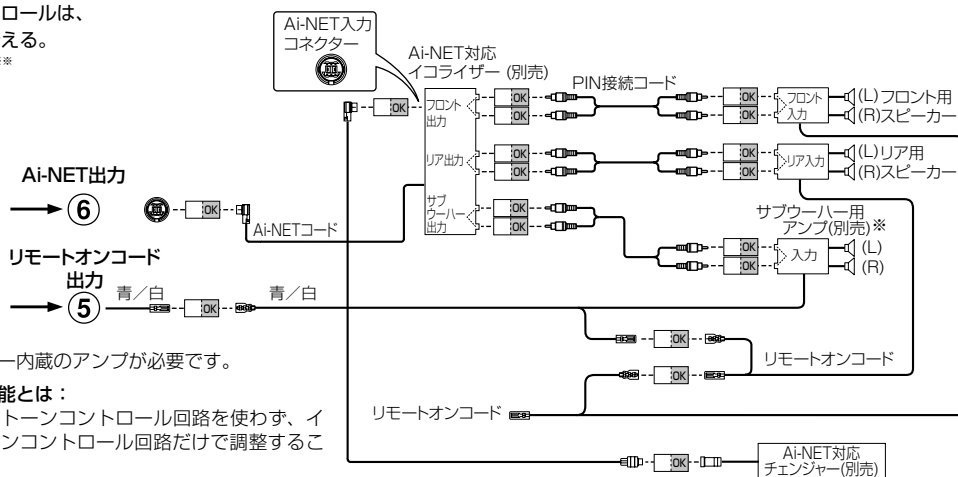


取り付けと接続

9) 「Ai-NET 対応イコライザー」 + 「チェンジャー」を接続する（外部アンプ使用時）

システムスイッチ	EXT AP
----------	--------

この場合、トーンコントロールは、イコライザー側でのみ行える。
（トーンバイパス機能）**



※ ローパスフィルター内蔵のアンプが必要です。

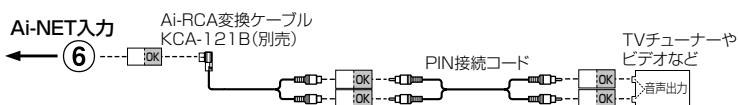
※ ※ **トーンバイパス機能とは：**
ヘッドユニットのトーンコントロール回路を使わず、イコライザーのトーンコントロール回路だけで調整することです。

Memo

- チェンジャーのみを接続する（Ai-NET 対応イコライザーを使わない）場合、システムスイッチは NORM に設定してください。

10) 外部入力にビデオなどを接続する

システムスイッチ	NORM
----------	------



Memo

- 「外部入力の設定（AUX IN）」（46 ページ）を参照してください。

お知らせ

- 組み合わせる製品の説明書も合わせてご覧ください。
- KCA-410C (Versatile Link Terminal) と組み合わせると、チェンジャー 2 台、テレビやビデオなど（外部入力）2 台、計 4 台の製品を接続することができます。詳しくは KCA-410C の説明書を参照してください。

故障かな？と思ったら

操作ミスや勘違いを故障と間違えていませんか？



接続・配線は正しく行われていますか？



下の表をもう一度ご確認ください。



それでも直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのお問い合わせ窓口（P78）にご相談ください。

- 操作中に停止したままになったり正常に動作しなくなった場合は、一度電源を OFF → ON してください。それでも正常に動作しない時は、下表を参照して処置を行なってください。

共通部

動作しない。

ディスプレイに何も表示されない。

- ヒューズが切れている。
 - ・ 規定容量のヒューズと交換する。（→ P70）
- 内部のマイコンが、ノイズなどの原因で誤動作してしまった。
 - ・ リセットスイッチをボールペンの先などで押す。（→ P11）
- BLACK OUT 機能が動作している。（ディスプレイが暗くなっている）
 - ・ BLACK OUT 機能を解除する。（→ P16）

電源が入るが音が出ない。

- 音量レベルが最小になっている。
 - ・ 音量レベルを上げる。（→ P16）
- ミュートが ON になっている。
 - ・ ミュートを解除する。（→ P34）
- フェダーの設定が適切でない。
 - ・ 2 スピーカーで聴くときは、スピーカのバランスを前または後に設定する。（→ P16）

記憶させた内容が消えてしまった。

- リセットスイッチを押した。電源コードまたはバッテリーをはずした。
 - ・ もう一度記憶する。（→ P14、27、42）
- バッテリーコードの接続ミス
 - ・ 接続を確認する。（→ P70）

ディスプレイが暗い。

- 気温が低いときは、電源を入れた後、しばらく暗いことがある。
 - ・ しばらく待つ。

サウンド調整ができない。

- ディフィート設定が ON になっている。
 - ・ ディフィート設定を OFF にする。（→ P16）

サブウーハーの音が出ない。

- サブウーハーの設定が OFF になっている。
 - ・ サブウーハーの設定を ON にする。（→ P36）
- サブウーハー出力の調整を行っていない。
 - ・ サブウーハー出力の調整を行う。（→ P16）

表示が勝手に切りかわる。

- デモストレーション機能が ON になっている。
 - ・ OFF に設定する。（→ P47）

CD 部

ディスクが入らない。

- すでに別のディスクが入っている。
 - ・ ディスクを取り出してから入れ直す。

演奏が始まらない。／音がとぶ。／音が歪む。／早送り／早戻しができない。

- 車内温度が 50℃ 以上ある。
 - ・ 車内温度を常温まで下げてから、演奏させる。
- ディスクに傷が付いている。
 - ・ ディスクがひどく汚れている。録音状態が良くない。音楽用ディスクでない。本機対応のディスクでない。
 - ・ 他のディスクを再生してみる。
- 結露している。
 - ・ しばらく放置してから使う。
- ピックアップレンズが汚れている。
 - ・ メンテナンスをする。（お問い合わせ窓口へ）（→ P78）
 - ・ ご自分でメンテナンスをする場合は、必ずアルパイン専用の「KAE-125C」（別売）のレンズクリーナーを使用してください。

ディスクが勝手にイジェクトする。

- ディスクの側面／センターホールにバリがある。
 - ・ ボールペンなどで外側の縁をなぞって突起箇所を取り除く。



CD-R/CD-RW が再生できない。

- クローズセッション（ファイナライズ処理）を行っていない。
 - ・ クローズセッション（ファイナライズ処理）を行い、再度、試してみる。

MP3/WMA/AAC が演奏されない。

- 書き込みに失敗している／対応フォーマット以外で書き込まれている。
 - ・ 書き込みに失敗していないか確認する。または、「MP3/WMA/AAC について」を参照し本機対応のフォーマットで書き込みを行う。（→ P79）
- 作成したライティングソフトによっては再生できない場合がある。
 - ・ 他のソフトで試してみる。

iPhone/iPod 部

iPhone/iPod が再生しない。／ iPhone/iPod の音が出ない。／ USB iPod モード時、本機表示が < Searching > になったまま再生できない。

- iPod が認識されない。
 - ・ 本機と iPod をリセットする。（→ P13）
 - ・ iPod のリセットについては、iPod ユーザーガイドを参照してください。

ラジオ部

受信できない。

雑音が入る。

- アンテナが接続されていない。
 - ・ アンテナが確実に接続されているか確認する。
- アンテナが伸びていない。
 - ・ アンテナを伸ばす。
 - ・ パワーアンテナ / ブースターコードが接続されているか確認する。
- 放送局の周波数が合っていない。
 - ・ 周波数を正しく合わせる。（→ P31）
- 周りに障害物などがあり、受信状態が良くない。
 - ・ 見通しが良いところに移動する。
- アースコードが接続されていない、ゆるんでいる。
 - ・ アースコードが接続されているか確認する。または、接続場所を変更する。

自動的に放送局が選べない。

- 電波の弱い地域にいる。
 - ・ ディスタンスモードまたはマニュアルモードで受信する。（→ P30）

メッセージが表れたら… (CD 部)

No Disc	● ディスクが入っていない。 ・ ディスクを入れる。 ● ディスクは入っているが、<No Disc>と表示され、演奏または、イジェクトができない。 ・ 次の方法でディスクを取り出す。 ① 「▲」を押す。 可動ディスプレイが開く。 ② 可動ディスプレイが開いた状態で「▲」を2秒以上押す。
Error	● ディスク傷、ディスク汚れ。／録音状態が良くない。／音楽用ディスクでない。 ・ 「▲」を押して、ディスクを交換する。 ● メカニズムエラー。 ① 「▲」を押して、ディスクを取り出す。 イジェクトできないときは修理ご相談窓口へ。 ② ディスクを取り出してもエラー表示が消えない場合は、もう一度「▲」を押す。 ③ 何度押してもエラー表示が消えない場合は修理ご相談窓口へ。
PROTECT	● コピープロテクト（著作権保護）されているWMAファイルを演奏した。 ・ コピープロテクトされていないファイルを演奏する。
UNSUPPORTED	● 本機指定のMP3/WMA/AACフォーマットで書き込みされていない。 ・ 本機指定のフォーマットで書き込みを行う。

メッセージが表れたら… (チェンジャー部 (オプション))

No Magazine	● マガジンがCDチェンジャーにセットされていない。 ・ マガジンをCDチェンジャーにセットする。
No Disc	● ディスクが入っていない。 ・ ディスクを入れる。
High Temperature	● 車内温度が高すぎる。 ・ 車内温度を常温まで下げる。
Error 01	● ディスクがマガジンに戻っていない。 ① 「▲」を押す。 ② 空のマガジンを入れ、もう一度「▲」を押してディスクを回収する。 ● メカニズムエラー。 ① 「▲」を押す。 ② 表示が消えたら、ディスクを入れ直したマガジンを再度挿入する。 ③ それでも復旧しない…修理ご相談窓口へ。
Error 02	● ディスクがマガジンに戻っていない。 ① 「▲」を押す。 ② 空のマガジンを入れ、もう一度「▲」を押してディスクを回収する。

メッセージが表れたら… (iPhone/iPod 部 (オプション))

No USB Unit	● iPhone/iPodが接続されていない。 ・ iPhone/iPodが正しく接続されているか確認する。また、コードが極端に折れ曲がっていないか確認する。
NO SONG	● iPhone/iPodに曲（ファイル）が入っていない。 ・ iPhone/iPodに曲（ファイル）を転送してから接続する。

Error 01	● データベースエラーまたはデコーダーエラー。 ・ 別の音楽モードを切りかえる。
Error 02	● 通信エラーまたはフートエラーなど。 ・ 一度本機からiPhone/iPodを外し、再接続する。 ・ 別の音楽モードを切りかえる。
Error 03	● iPhone/iPodが認証されていない。 ・ 一度本機からiPhone/iPodを外し、再接続する。
Current Error	● USB端子接続機器に異常な電流が流れている（本機動作対象外のUSB機器を接続すると表示される可能性があります）。 ・ 別の音楽モードを切りかえる。
Device Error	● 本機対象外のUSB製品が接続されている。 ・ 本機対象のUSBメモリを接続する。
NO SUPPORT	● 本機で対応していない文字情報が入力されている。 ・ 本機で対応している文字情報が入力されたiPhone/iPodを使用する。

メッセージが表れたら… (USBメモリ / ポータブルオーディオプレーヤー部)

Current Error	● USB端子接続機器に異常な電流が流れている（本機動作対象外のUSB機器を接続すると表示される可能性があります）。 ・ 別の音楽モードを切りかえる。
Device Error	● 本機対象外のUSB製品 / ポータブルオーディオプレーヤーが接続されている。 ・ 本機対象のUSBメモリ / ポータブルオーディオプレーヤーを接続する。
No USB Unit	● USBメモリ / ポータブルオーディオプレーヤーが接続されていない。 ・ USBメモリ / ポータブルオーディオプレーヤーが正しく接続されているか確認する。また、コードが極端に折れ曲がっていないか確認する。
NO FILE	● USBメモリ / ポータブルオーディオプレーヤーに曲（ファイル）が入っていない。 ・ USBメモリ / ポータブルオーディオプレーヤーに曲（ファイル）を書き込んでから接続する。
UNSUPPORTED	● 本機指定のMP3/WMA/AACフォーマットで書き込みされていない。 ・ 本機指定のフォーマットで書き込みを行う。
PROTECT	● コピープロテクト（著作権保護）されているWMAファイルを演奏した。 ・ コピープロテクトされていないファイルを演奏する。
NO SUPPORT	● 本機で対応していない文字情報が入力されている。 ・ 本機で対応している文字情報が入力されたUSBメモリ / ポータブルオーディオプレーヤーを使用する。
Error 01	● データベースエラーまたはデコーダーエラー。 ・ 別の音楽モードを切りかえる。
Error 02	● 通信エラーまたはフートエラーなど。 ・ 一度本機からUSBメモリ / ポータブルオーディオプレーヤーを外し、再接続する。 ・ 別の音楽モードを切りかえる。
Error 03	● ポータブルオーディオプレーヤーが認証されていない。 ・ 一度本機からUSBメモリ / ポータブルオーディオプレーヤーを外し、再接続する。

規格

チューナー部

受信周波数	AM : 522 ~ 1,629kHz FM : 76.0 ~ 90.0MHz
実用感度	AM : 22.5 μ V FM : 0.8 μ V (75 Ω) :9.3dBf (新 IHF)
ステレオセパレーション	FM : 35dB 以上
SN 比	FM : 65dB 以上
イメージ妨害比	FM : 80dB 以上
IF 妨害比	FM : 80dB 以上

CD 部

方式	光学式 (コンパクトディスク方式)
チャンネル数	2 チャンネル (ステレオ)
周波数特性	5Hz ~ 20kHz ($\pm$ 1dB)
ダイナミックレンジ	95dB (1kHz) 以上
SN 比	105dB (1kHz) 以上
高周波歪率	0.008% (1kHz) 以下
チャンネルセパレーション	85dB (1kHz) 以上
ワウフラッター	測定限界以下

USB 部

USB 規格	USB 1.1 / 2.0
最大供給電流	500mA
USB クラス	マストレージクラス対応
ファイルシステム	FAT 12/16/32
MP3 デコード	MPEG-1/2 AUDIO Layer-3 準拠
WMA デコード	Windows MediaTM Audio 準拠
AAC デコード	AAC-LC 形式 ".m4a" ファイル
チャンネル数	2 チャンネル (ステレオ)
周波数特性 ^{*1}	5Hz ~ 20kHz ($\pm$ 1dB)
ダイナミックレンジ	95dB (1kHz) 以上
SN 比	105dB (1kHz) 以上
高周波歪率	0.008% (1kHz) 以下
チャンネルセパレーション	85dB (1kHz) 以上

*1 周波数特性はエンコーダソフト/ビットレートにより異なる場合があります。

一般

使用電源	DC14.4V (動作範囲 : 11 ~ 16V)
アース方式	マイナスアース
最大出力	50W $\times$ 4
音声出力レベル	ブリアウト : 4V / 10K Ω (最大) (フロント/リア/サブウーハー)
外形寸法	178 (幅) $\times$ 50 (高さ) $\times$ 160 (奥行) mm
重量	1.5 kg

Windows Media および Windows は、米国及びその他の国で登録されている Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

iPod は米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。

「Made for iPod」とは、iPod 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。

「Works with iPhone」とは、iPhone 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。

アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

MPEG Layer-3 オーディオコーディング技術は、Fraunhofer IIS および Thomson から実施許諾されています。

本製品の供給は、収益を発生する放送システム、ストリーミングアプリケーション、その他のコンテンツ配信システム、または物理的媒体で、本製品で創作されたコンテンツを配信する権利を暗示するものでもありません。当該使用には、独立したライセンスが必要です。詳細に関しては、<http://mp3licensing.com> にアクセスしてください。

Audyssey MultEQ XT は Audyssey Laboratories Inc. の登録商標です。

BLUETOOTH ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、アルパイン株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。

- 製品の規格および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。
- 本説明書のイラストは、印刷条件により、印象が異なる場合があります。
- 本書の一部または全部を無断で転載しないでください。

保証について

保証書について

- この製品には保証書が添付されています。お買上げの際、お受け取りください。
- 必ず「販売店印・お買い上げ日」が記入されていることをご確認ください。
- 保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。

アフターサービスについて

- **調子が悪いとき**
まず、この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- **それでも調子が悪いとき**
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。お買い上げ店、または 78 ページの「お問い合わせ窓口」にあるお近くの修理ご相談窓口にて、修理を依頼してください。
- **保証期間中の修理**
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。
- **保証期間経過後の修理**
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。
- **補修用性能部品**
製造打ち切り後、最低 6 年間保有しています。
- アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点はお買い上げ店、または 78 ページの「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。
- 一部の付属部品は補修部品も用意しています。部品を無くしたり壊したりしたときは、お買い上げ店にお問い合わせください。

(AV/NAVI/MD/3D)

(平成 21 年 6 月 1 日現在)

お問い合わせ窓口

- 製品に関するご相談／お問い合わせは、お買い上げ店または下記の「製品ご相談窓口」をご利用ください。
- 修理に関するお問い合わせは、下記「修理ご相談窓口」をご利用ください。
- ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。



製品ご相談窓口

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

- インフォメーションセンター

< 一般回線ご利用のお客様用 >

TEL : 0570-006636

※全国どこからでも市内通話料金で

ご利用頂けます。

(一部回線でつながらない場合があります。)

< 携帯電話、IP 電話、光電話等をご利用のお客様用 >

TEL : 048-662-6636



- 電話受付時間 9:30 ~ 12:00 13:00 ~ 17:30
(土日、祝日、弊社休業日を除く)

- 電話は混雑が予想されます。FAX でのお問い合わせをおすすめします。

FAX : 048-662-6676

- アルパイン ホームページ <http://www.alpine.co.jp>

営業所・販社名	電話番号	住所	担当 都道府県
北海道エリア 札幌オフィス	011-621-4485	〒060-0005 北海道札幌市中央区北 5 条西 24 丁目 3 番 1 号 カレラ円山 3F	北海道全域
東北エリア 仙台オフィス	022-239-5331	〒983-0039 宮城県仙台市宮城野区新田東 3 丁目 3 番 3 号	宮城県 / 福島県 / 山形県 / 秋田県 / 岩手県 / 青森県
北関東エリア 北関東オフィス 松本オフィス 新潟オフィス	048-664-7701 0263-26-0783 025-385-1360	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町 2 丁目 7 番 2 号 〒390-0847 長野県松本市笹部 1 丁目 3 番 7 号 オフィス GB 205 号 〒950-0208 新潟県新潟市江南区横越中央 1 丁目 9 番 17 号 103 号室	東京都北・西部 / 埼玉県 / 群馬県 / 栃木県 長野県 / 山梨県 新潟県
東関東エリア 東関東オフィス	03-5666-5226	〒133-0061 東京都江戸川区篠崎町 2-406-1 クサナギビル 2F	東京都東部 / 千葉県 / 茨城県
南関東エリア 南関東オフィス	045-541-7261	〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町 1767 番地 アルプス電気横浜事業所内 5F	東京都中・南部 / 神奈川県 / 静岡県 (大井川以东)
中部圏エリア 中部オフィス	052-779-5655	〒465-0021 愛知県名古屋市中区猪子石 3 丁目 108	愛知県 / 三重県 / 岐阜県 / 静岡県 (大井川以西) / 石川県 / 富山県 / 福井県
近畿圏エリア 大阪オフィス	06-6386-4136	〒564-0041 大阪府吹田市泉町 3 丁目 18 番 14 号	大阪府 / 奈良県 / 和歌山県 / 京都府 / 滋賀県 / 兵庫県
南日本エリア 中国オフィス 福岡オフィス	082-846-1175 092-627-4111	〒731-0137 広島県広島市安佐南区山本 4 丁目 6 番 5 号 〒812-0853 福岡県福岡市博多区東平尾 2 丁目 2 番 48 号	広島県 / 岡山県 / 山口県 / 島根県 / 鳥取県 / 徳島県 / 香川県 / 愛媛県 / 高知県 福岡県 / 大分県 / 佐賀県 / 熊本県 / 鹿児島県 / 宮崎県 / 長崎県 / 沖縄県

修理ご相談窓口

問い合わせ窓口	電話番号	住所	管轄エリア
アルパインカスタマーズサービス (株) 東日本サービスセンター	048-664-9711	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町 2-7-2	北海道 / 青森県 / 岩手県 / 秋田県 / 山形県 / 宮城県 / 福島県 / 栃木県 / 茨城県 / 群馬県 / 東京都 / 神奈川県 / 埼玉県 / 千葉県 / 新潟県 / 長野県 / 山梨県
アルパインカスタマーズサービス (株) 西日本サービスセンター	06-6386-4130	〒564-0041 大阪府吹田市泉町 3 丁目 18 番 14 号	静岡県 / 愛知県 / 三重県 / 岐阜県 / 福井県 / 富山県 / 石川県 / 滋賀県 / 京都府 / 大阪府 / 和歌山県 / 奈良県 / 兵庫県 / 岡山県 / 島根県 / 鳥取県 / 広島県 / 山口県 / 香川県 / 愛媛県 / 徳島県 / 高知県 / 福岡県 / 大分県 / 熊本県 / 長崎県 / 鹿児島県 / 宮崎県 / 沖縄県

MP3/WMA/AAC について

注意： 個人で楽しむ以外は、オーディオデータ（MP3/WMA/AAC データ含む）を著作権者に無断で複製し、有料無料を問わず配布、転送、転載することは著作権法や国際協定で固く禁じられています。

MP3 とは？

正式には「MPEG-1 Audio Layer3」といい、国際標準化団体の ISO と IEC の共同活動機関である MPEG が定めた圧縮規格です。MP3 は音声データを圧縮した音声ファイルで、サウンドデータを非常に高い圧縮率で圧縮することができます。

また、CD クオリティに近い音質を実現しても約 1/10 の圧縮率を得ることができます。

(サンプリング周波数 44.1kHz、ビットレート 128kbps の場合)

このような高圧縮率を実現している MP3 フォーマットは、人には聴き取れない音を消すことなどにより高圧縮を実現しています。

WMA とは？

WMA または「Windows Media™ Audio」は、圧縮されたオーディオデータです。

WMA は MP3 オーディオデータと同様に小さいファイルサイズで CD 同等の音質を実現しています。

AAC とは？

AAC とは「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG2、MPEG4 で使用される音声圧縮の基本フォーマットです。

MP3/WMA/AAC へ圧縮する方法

MP3/WMA/AAC 専用ソフトを使い圧縮します。詳しくは専用ソフトの説明書を参照してください。

また、本機で再生可能な MP3/WMA/AAC ファイルの拡張子は「mp3」/「wma」/「m4a」です。(WMA は Ver.7、8、9 に対応)

■注意

- AAC ファイルを作成したソフトによってはファイル形式と拡張子が異なります。本機では、iTunes を使用してエンコードされた AAC ファイルのみの再生に対応しています。

再生可能なサンプリングレート・ビットレート

サンプリングレート

MP3/AAC : 8kHz、11.025kHz、12kHz、16kHz、22.05kHz、24kHz、32kHz、44.1kHz、48kHz

WMA : 32kHz、44.1kHz、48kHz

ビットレート

MP3 : 8kbps ~ 320kbps、WMA: 48kbps ~ 192kbps

AAC : 16kbps ~ 320kbps

ただし、サンプリングレートとビットレートの組み合わせによっては再生されない場合があります。

USB メモリ時、VBR (Variable Bit Rate) で記録されたファイルを再生したとき、正確な再生時間を表示できない場合があります。

上記記載以外は動作を保証致しかねます。

ID3 タグ/ WMA タグについて

ID3 タグは、ID3 Tag v1、v2 に対応しています。

MP3/WMA/AAC ファイルにタグ情報が入っていれば、タイトル (曲名)、アーティスト名、アルバム名のタグ情報を表示できます。

対応文字以外の場合、<NO SUPPORT> と表示されます。

また、ID3 タグ情報に文字以外の情報が含まれている場合、その音楽ファイルは再生できない場合があります。

MP3/WMA/AAC を作成するには

MP3/WMA/AAC ファイルを用意し、USB メモリまたは CD-R ライティングソフトを利用して、CD-R・CD-RW メディアに書き込みます。

ディスクの場合、ファイル/フォルダ数 (ルートフォルダを含めて) は、合わせて 510 個まで、最大フォルダ数は 255 個です。

USB メモリ/ポータブルオーディオプレーヤーの場合、最大 Bank 数は 20 個 (1Bank1000 個曲) までです。また、1 ファイルの再生時間が 1 時間を越えるファイルは作成しないでください。

上記の制限以外で書き込まれた USB メモリ/ポータブルオーディオプレーヤーまたはディスクは、再生できない場合があります。

MP3 作成ソフトの 1 部にはライティングソフトが同梱されているものもあります。このようなソフトを使用した場合、本機で再生ができないことがあります。このような場合は他のライティングソフトを使用して MP3 フォルダ (ファイル) のみを記録してください。

対応メディア

再生できるメディアは、USB メモリ/ポータブルオーディオプレーヤー、CD-ROM、CD-R、CD-RW です。

対応ファイルシステム

ISO9660 レベル 1、レベル 2 でフォーマットされたディスクに対応しています。

ISO9660 規格では、フォルダのディレクトリ階層 (最大 8 階層) やフォルダ/ファイル名の文字数、フォルダ/ファイル名で利用できる文字 (A ~ Z、0 ~ 9、_ (アンダーバー)) などの制限があります。

また、Romeo、Joliet などの ISO9660 準拠であれば、再生は可能です。ただし、ファイル名/フォルダ名などは正しく表示されない場合があります。

USB メモリは、FAT 12/16/32 に対応しています。

対応フォーマット

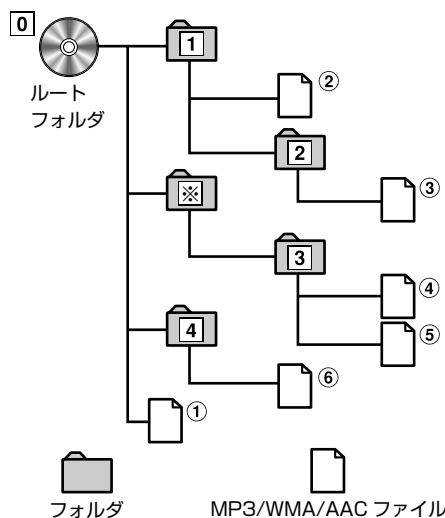
CD-ROM、CD-ROM XA、Mixed Mode CD、Enhanced CD (CD-Extra)、及びマルチセッションに対応しています。

但し、Track At Once やパケットライトで作成された CD の場合、正常に再生できません。

演奏される順番

演奏される順番はライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため、記録しようとした順番と再生される順番が一致しないことがあります。

下図のようなフォルダ・ファイル階層のメディアでの演奏順は次の通りです。(実際に表示される番号ではありません)



※ ファイルが入っていない空のフォルダは、フォルダ No./フォルダ名は表示されません。

用語説明

ビットレート

エンコードするときに指定する「音」の圧縮率で、ビットレートが高いほど高音質になるが、ファイルサイズも大きくなる。

サンプリングレート

データを 1 秒間に何回サンプリング (記録) するかを示す値のことで、たとえば、音楽 CD は 44.1kHz で、1 秒間にデータを 4 万 4100 回サンプリング (記録) していることになります。高ければ高いほど音質は向上しますが、それだけデータ量も増えます。

エンコード

音楽 CD や WAVE ファイルなどの音声ファイルを、特定の音声圧縮フォーマットに変換すること。

タグ

曲名やアルバム名、アーティスト名など、MP3/WMA/AAC ファイルに書き込まれた楽曲情報。

ルートフォルダ

ファイルシステムの最上階層のフォルダ。すべてのフォルダ/ファイルはルートフォルダに含まれています。

索引

● 五十音順

あ 行

エンコード	79
オートメモリー	31
お問い合わせ窓口	78
音量調整	16

か 行

各部の名称	10
カレンダー／時計を調整する	15
規格	77
クイックサーチ	19、25、29
グラフィック EQ	38、55
故障かな？と思ったら	75

さ 行

サブウーハー調整	16
サンプリングレート	79
システムアップの例	71
シャッフル	26、27
スクロール	32
セットアップ	42

た 行

タイムコレクション	39、56
ダイレクトサーチ / アルファベット	
スキップ機能	28
ダイレクト UP/DOWN 機能	24、29
タグ	79
チェンジャー	21、22
デフォルト設定	16
テキスト	19、32
電源の ON/OFF	11
道路交通情報	31
取り扱い上のご注意	3、4
取り付けと接続	67
トラブル調整	49

は 行

バス調整	49
パラメトリック EQ	37、54
バランス調整	16
ビットレート	79
ファイルサーチ	18
フェダー調整	16
フォルダサーチ	18
BLUETOOTH 接続設定	43
保証について	77
ボタン名称	10
本書の見方	6

ま 行

ミックス	17、21、26
ミュート	34

や 行

用語説明	79
------------	----

ら 行

ラジオ	30
リセット	11
リピート	18、22、27
リモコン操作	65
ルートフォルダ	79

● アルファベット

A to Z

AAC.....	17、79	INT Mute.....	45
Album サーチ.....	27	iPhone/iPod.....	26
Artist サーチ.....	27	M.I.X.	21、26
Audiobook サーチ.....	27	MP3.....	17、79
AUTO MEMORY.....	31	MP3/WMA/AAC について.....	79
AUX IN.....	46	MultEQ.....	49
AUX IN GAIN.....	45	Opening MSG.....	48
AUX+ Setup.....	45	Playlist サーチ.....	27
BALANCE.....	16、50	Play Mode.....	44
BASS.....	49	Podcast サーチ.....	27
Beep.....	44	Power IC.....	47
BGV Select.....	48	REPEAT.....	18、27
BLACK OUT 機能.....	50	Scroll Type.....	48
Bluetooth.....	43	SETUP.....	42
Calendar.....	44	SUBWOOFER/Subwoofer.....	16、35
CD.....	17	SUBW. Channel.....	52
CD テキストサーチ.....	19	SUBW. Phase.....	52
Clock Adjust.....	15	SUBW. System.....	52
Clock Mode.....	44	TCR Parameter.....	53
Composer サーチ.....	27	Text Scroll.....	48
DEFEAT.....	16、50	TREBLE.....	49
Demo.....	47	TRF.....	31
Digital AUX.....	45	TW Setup.....	53
Dimmer.....	47	USB メモリ.....	13、20
EQ Mode.....	36、53	VOLUME.....	16、50
Factory's EQ.....	53	WMA.....	17、79
FADER.....	16、50	X-OVER.....	58
Filter Type.....	53		
Font Select.....	48		
Genre サーチ.....	27		
Illumination.....	47		
IMPRINT.....	49		

[illegible]

[illegible]

お客様へ



このたびは、アルパイン製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

充実したサポートとサービスのためには是非お客様登録をお願いします。

アルパイン製品をご購入いただいたお客様を対象にしたサポート・サービスをはじめ、アルパインサイトの様々なオンラインサービスをご利用いただけます。

詳しくは以下のサイトまで！

https://secure.alpine.co.jp/cras/reg_top.html

◆アルパイン個人情報保護方針◆

1. 個人情報の利用目的

お客様の個人情報は、以下のような目的で利用されます。

- ・ 郵送及び電子メールによるお知らせやアンケートの発信。
- ・ アンケートのご回答やプレゼント応募に対する景品・商品等の発送。
- ・ お問合せに対する連絡・確認。

2. 個人情報の開示について

当社は、お客様からご提供を頂いた個人情報を適切に管理します。当社は、以下のいずれかに該当する場合を除いて、お客様の個人情報を第三者に開示することは原則としていたしません。

- ・ お客様の同意がある場合。
- ・ お客様に明示した目的を実施するために、当社の業務委託先に開示する必要がある場合。尚、その場合当社は業務委託先に対して機密保持契約を締結する等の方法により、その業務委託先からの漏洩、再提供の防止を図ります。
- ・ お客様を識別することができない状態で開示する場合。

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

● インフォメーションセンター

＜一般回線ご利用のお客様用＞

TEL：0570-006636

※全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。

（一部回線でつながらない場合があります。）

＜携帯電話、IP 電話、光電話等をご利用のお客様用＞

TEL：048-662-6636

● 電話受付時間 9：30～12：00、13：00～17：30（土日、祝日、弊社休業日を除く）

● 電話は混雑が予想されます。FAX でのお問い合わせをおすすめします。

FAX：048-662-6676

● アルパイン ホームページ <http://www.alpine.co.jp>

FAQ（よくあるご質問） <http://www.alpine.co.jp/support/faq/>

アルパイン製品に関して、お客様からよくあるご質問と回答をご紹介します。



アルパイン株式会社

Designed by ALPINE Japan

Printed in China (Y-707)

68-14470Z53-C